

ORACLE®

PEOPLESOFT

PeopleSoft HCM 9.2: グローバル ペイ ロール (日本)

February 2016

ORACLE®

ライセンス制約の保証と結果的に生じる損害の免責

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

保証免責

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクルまでご連絡ください。

制限付権利

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS: Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

危険な用途への使用について

このソフトウェアまたはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアまたはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する場合、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことにより起因して損害が発生しても、Oracle Corporationおよびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

商標と登録商標について

OracleおよびJavaはオラクルおよびその関連会社の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

Intel, Intel Xeonは、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARCの商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMDロゴ、AMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

第三者のコンテンツ、製品、サービスに対する免責

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に別段の定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

ドキュメントのアクセシビリティについて

オラクルのアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility ProgramのWeb サイト(<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=docacc>)を参照してください。

Oracle Supportへのアクセス

サポートをご契約のお客様には、My Oracle Supportを通して電子支援サービスを提供しています。詳細情報は(<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info>)か、聴覚に障害のあるお客様は(<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs>)を参照してください。

目次

はじめに.....	xv
PeopleSoft オンライン ヘルプおよび PeopleBook について.....	xv
PeopleSoft ホスト オンライン ヘルプ.....	xv
ローカルにインストールされたヘルプ.....	xv
ダウンロード可能な PeopleBook のPDF ファイル.....	xvi
共通のヘルプ ドキュメント.....	xvi
フィールドおよびコントロールの定義.....	xvi
表記規則.....	xvi
ISO の国コードおよび通貨コード.....	xvii
地域および業種の識別子.....	xvii
翻訳および埋込みヘルプ.....	xviii
PeopleSoft オンライン ヘルプの使用および管理.....	xviii
PeopleSoft HCM の関連リンク.....	xviii
連絡先.....	xix
フォロー.....	xix
第1章: グローバル ペイロール (日本) - はじめに.....	21
グローバル ペイロール (日本) の概要.....	21
グローバル ペイロール (日本) のビジネス プロセス.....	21
グローバル ペイロール (日本) の統合.....	22
グローバル ペイロール (日本) の導入.....	22
第2章: グローバル ペイロール (日本) について.....	23
グローバル ペイロール (日本).....	23
グローバル ペイロール (日本) のビジネス プロセス.....	23
グローバル ペイロール (日本) の統合.....	25
配布エレメント.....	25
配布エレメントの作成.....	26
エレメントの所有者および管理者.....	26
エレメントの名称指定規則.....	28
日本用の機能分野コード.....	29
エレメント タイプ コード (PIN_TYPE).....	30
日本用エレメント名の省略形.....	31
日本用サフィックス.....	33
産業および地域機能.....	33
グローバル ペイロール (日本) のデータのアーカイブ.....	33
エレメント用のクエリー.....	33
第3章: 国データの定義.....	35
グローバル ペイロール (日本) システムの設定について.....	35
基本給およびその他の HR データの使い方.....	35
支給元の定義.....	36
支給タイプの設定.....	36

カレンダー グループ ID の設定.....	36
遡及支払い計算について.....	37
配布された書込み可能アレイの使い方.....	38
支給エレメントの属性の設定 (給与).....	39
支給エレメントの属性の設定 (賞与).....	40
時間管理用変数の設定.....	40
ファイル ハンドルの設定.....	41
ファイル ハンドルの設定に使用するページ.....	41
「ファイル ハンドル JPN」ページ.....	42
第4章: 保険、税および給与明細書の設定.....	43
配布エレメントの表示.....	43
納付元事業所と保険事業所の設定.....	43
納付元事業所と保険事業所の設定に使用するページ.....	43
納付元事業所と保険事業所について.....	43
「納付元事業所テーブル JPN」ページ.....	44
「社会保険事業所 JPN」ページ.....	45
「労働保険事業所 JPN」ページ.....	47
保険、税および給与明細書の設定に使用する共通フィールド.....	48
社会保険処理に関する設定.....	49
社会保険データの設定に使用するページ.....	49
前提条件.....	49
「標準報酬月額保険料額表 JPN」ページ.....	49
「社会保険料率 JPN」ページ.....	50
住民税処理に関する設定.....	51
住民税の設定に使用するページ.....	52
住民税処理に関する設定について.....	52
「自治体テーブル JPN」ページ.....	52
「郵便番号 JPN」ページ.....	53
給与明細書の設定.....	54
給与明細書の設定に使用するページ.....	54
給与明細書の設定について.....	55
「テンプレート配置 JPN」ページ.....	55
「テンプレート JPN」ページ.....	57
「支給グループ別明細書割当 JPN」ページ.....	58
第5章: 給与および賞与の利用.....	59
給与および賞与のルールについて.....	59
基本給の設定.....	59
超過勤務手当.....	59
休暇欠勤減額.....	60
賞与.....	60
支給の累計.....	60
給与処理に関する設定.....	61
支給および控除のレポート.....	62
配布された給与エレメントおよび賞与エレメントの参照.....	62

配布エレメントの表示.....	63
第6章: 時間データの管理.....	65
時間データ ルールについて.....	65
超過勤務時間変数および休暇欠勤時間変数.....	65
有給休暇.....	65
配布エレメントの表示.....	66
時間データ入力の準備.....	66
時間データの入力.....	67
時間データのレポート.....	67
第7章: 雇用終了の処理.....	69
雇用終了処理について.....	69
配布エレメントの表示.....	69
雇用終了従業員の処理.....	70
雇用終了の職務レコードの挿入.....	70
雇用終了従業員の年末調整データの管理.....	70
給与計算の処理.....	70
雇用終了従業員の源泉徴収票の作成.....	71
雇用終了従業員の源泉徴収票の作成に使用するページ.....	71
「年末調整レポート データ ロード JPN」ページ.....	71
「年末調整データ確認/更新JPN」ページ.....	72
「源泉徴収票 JPN」ページ.....	73
第8章: 離職証明書と 60 歳到達時等賃金証明書の管理.....	75
離職証明書について.....	75
配布エレメントの表示.....	75
離職証明書データのロード.....	76
離職証明書データのロードに使用するページ.....	76
離職証明書データのロード プロセスについて.....	76
離職証明書ロード ページ.....	77
「受給者リスト - 離職証明書ロード JPN」ページ.....	78
離職証明書データの確認および更新.....	79
離職証明書データの更新に使用するページ.....	79
離職証明書データの更新について.....	79
「賃金支払状況」ページ.....	79
「離職理由」ページ.....	81
離職証明書の作成.....	84
離職証明書の作成に使用するページ.....	84
離職証明書の作成について.....	84
「離職証明書 JPN」ページ.....	84
60 歳到達時等賃金証明書の管理.....	85
60 歳到達時等賃金証明書について.....	86
60 歳到達時等賃金証明書の管理に使用するページ.....	86
「60歳到達時等賃金証明書ロード JPN」ページ.....	86
「60 歳時賃金証明書の更新 JPN」ページ.....	87
「60 歳到達時等賃金証明書 JPN」ページ.....	88

60 歳到達時等賃金証明書データのロード.....	89
60 歳到達時等賃金証明書データの確認および更新.....	89
60 歳到達時等賃金証明書の印刷.....	90
第9章: 退職金の処理.....	91
退職金の処理について.....	91
退職金用の配布エレメント.....	91
配布エレメントの表示.....	92
控除処理ルール.....	92
退職金の設定および処理.....	92
退職金データの入力.....	93
退職金データの入力に使用するページ.....	93
「退職金データ管理 JPN」ページ.....	93
退職金の入力と処理.....	95
退職金明細書の設定.....	96
退職金源泉徴収票の実行.....	97
退職金源泉徴収票の実行に使用するページ.....	97
退職金源泉徴収票について.....	97
前提条件.....	97
「退職金源泉徴収票 JPN」ページ.....	97
第10章: 通勤手当の管理.....	99
通勤手当について.....	99
通勤手当の周期.....	99
現金通勤手当および現物通勤手当.....	100
通勤手当の入力方法.....	100
課税通勤手当および非課税通勤手当.....	100
複数雇用レコードに対する通勤手当.....	101
配布された通勤手当支給エレメント.....	101
通勤手当データの入力.....	102
通勤手当データの入力に使用するページ.....	102
通勤手当データの設定.....	102
「通勤手当 JPN」ページ.....	102
通勤区間による通勤手当の入力.....	104
支給期間中の通勤手当の変更に対する調整.....	105
第11章: マイナンバーの実装.....	107
マイナンバー法について.....	107
アプリケーションレベルの暗号化の設定.....	107
アプリケーションレベルの暗号化の設定に使用するページ.....	108
アプリケーションレベルの暗号化ページ.....	108
個人番号セキュリティの設定.....	108
個人番号セキュリティの設定に使用するページ.....	109
「個人番号セキュリティの設定」ページ.....	109
従業員のマイナンバーの実装.....	110
従業員のマイナンバーの実装に使用するページ.....	110
「個人情報の更新」ページ.....	111

「個人番号 JPN」ページ.....	111
扶養家族のマイナンバーの実装.....	112
扶養家族のマイナンバーの実装に使用するページ.....	112
「扶養家族情報」ページ.....	113
「個人番号 JPN」ページ.....	113
法人口座番号の実装.....	114
セルフ サービスの計画.....	115
セルフ サービスの計画に使用するページ.....	115
「個人番号 JPN」ページ.....	115
「従業員個人番号」ページ.....	116
「扶養家族個人番号」ページ.....	117
個人番号の一括アップロードの有効化.....	118
個人番号の一括アップロードの有効化に使用するページ.....	118
「個人番号の一括アップロード」ページ.....	119
「個人番号の確認/最終決定」ページ.....	119
第12章: 社会保険の管理.....	121
社会保険ルールについて.....	121
標準報酬の計算.....	121
保険料の計算.....	122
社会保険用に配布された支給エレメントおよび控除エレメントの参照.....	124
前提条件.....	125
従業員の社会保険データの準備.....	126
従業員社会保険データの準備に使用するページ.....	126
従業員社会保険データの準備の概要.....	126
「社会保険データ管理 JPN」ページ.....	128
「社会保険扶養者情報 JPN」ページ.....	133
報酬月額関連レポートの準備.....	134
報酬月額関連レポートの準備に使用するページ.....	134
報酬月額関連レポートについて.....	135
「社会保険報酬月額ロード JPN」ページ.....	135
「報酬月額計算結果の確認 JPN」ページ.....	136
「社会保険報酬月額更新 JPN」ページ.....	138
社会保険料の計算の確認.....	139
社会保険料レポートの実行に使用するページ.....	139
社会保険料の計算の確認について.....	140
「社会保険料サマリレポート JPN」ページ.....	140
「社会保険料照会レポート JPN」ページ.....	141
社会保険レポートの実行.....	142
社会保険レポートの実行に使用するページ.....	142
社会保険レポートについて.....	143
社会保険レポート データ ファイルの作成.....	145
社会保険レポート データ ファイルの作成に使用するページ.....	145
レポート データ ファイルについて.....	145
「社会保険月変算定届ファイル作成 JPN」ページ.....	147

「社会保険賞与支払届ファイル作成 JPN」ページ.....	148
「その他社会保険届ファイル作成 JPN」ページ.....	149
社会保険料の支払いの準備.....	150
随時改定および定時改定候補の報酬月額計算結果データの処理.....	150
7月の報酬月額データの処理.....	150
8月の報酬月額データの処理.....	151
9月の報酬月額データの処理.....	152
第13章: 労働保険の管理.....	155
労働保険ルールについて.....	155
労働保険料の計算のために配布されたエレメント.....	155
年齢による免除の決定のために配布されたエレメント.....	156
短時間労働被保険者の管理のために配布されたエレメント.....	156
配布エレメントの表示.....	156
労働保険情報の入力.....	156
労働保険データの入力に使用するページ.....	156
労働保険情報の設定について.....	156
「労働保険データ管理 JPN」ページ.....	157
労働保険レポート データの入力および確認.....	158
労働保険レポート データの入力および確認に使用するページ.....	158
労働保険レポート データについて.....	159
この項で使用する共通フィールド.....	159
「労働保険レポート データ管理 JPN」ページ.....	160
資格取得届データ ページの表示.....	161
氏名変更届および資格喪失届データの表示.....	161
転勤届および区分変更届データの表示.....	162
労働保険レポートの実行.....	162
労働保険レポートの実行に使用するページ.....	162
雇用保険料免除者一覧表 (GPJPLA01) について.....	163
概算・確定保険料申告書基礎資料 (GPJPLA02) について.....	163
雇用保険資格取得届 (GPJPLA03) について.....	163
雇用保険資格取得届ファイル作成の実行のための前提条件.....	164
第14章: 住民税の管理.....	165
住民税ビジネス プロセス処理について.....	165
住民税テーブルの管理方法について.....	165
前提条件.....	168
住民税テーブルの設定.....	168
住民税テーブルの設定に使用するページ.....	168
住民税額レコード初期作成プロセスについて.....	169
「クエリー マネージャ」ページ.....	170
「住民税額レコード初期作成 JPN」ページ.....	170
住民税データのロード.....	171
住民税データのロードに使用するページ.....	172
住民税データのロードについて.....	172
「住民税データ管理 JPN」ページ.....	172

「徴収状況詳細」ページ.....	174
「住民税額ロード JPN」ページ.....	175
住民税レポートの印刷.....	177
住民税納付先別一覧表の印刷に使用するページ.....	177
住民税納付ファイルの管理.....	177
住民税納付ファイルの管理に使用するページ.....	177
住民税納付ファイルについて.....	177
「住民税納付データ ロード JPN」ページ.....	178
住民税納付データの表示および管理.....	178
住民税納付ファイルの作成.....	180
第15章: 源泉所得税.....	181
所得税の源泉徴収について.....	181
前提条件.....	182
所得税の源泉徴収の準備.....	182
所得税の源泉徴収の設定に使用するページ.....	182
所得税の源泉徴収の準備について.....	182
扶養控除について.....	183
「所得税データ管理 JPN」ページ.....	183
所得税の扶養親族データの入力.....	185
所得税源泉徴収簿の処理.....	187
所得税源泉徴収簿レポートの実行に使用するページ.....	187
所得税源泉徴収簿について.....	187
配布された所得税控除エレメントの参照.....	188
第16章: 財形貯蓄控除の管理.....	189
財形貯蓄プランについて.....	189
Zaikai控除の設定.....	191
Zaikai控除の設定に使用するページ.....	191
Zaikai控除のエレメント カテゴリの設定.....	192
「カテゴリ」ページ.....	192
「カテゴリ別設定」ページ.....	192
「控除名」ページ.....	194
「計算」ページ.....	194
「累計」ページ.....	195
受給者へのZaikai控除の割当て.....	196
受給者へのZaikai控除の割当てに使用するページ.....	196
受給者別割当ページ.....	196
「エレメント詳細」ページ.....	197
第17章: 年末調整の準備.....	199
年末調整について.....	199
配布された年末調整エレメント.....	199
配布エレメントの表示.....	200
単独年調の過不足税額の繰越し.....	200
年末調整レポート.....	200
セルフサービスによる年末調整データ収集.....	200

印刷されたレポートからの年末調整データ収集.....	201
扶養控除等申告書および保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書の出力.....	202
扶養控除等申告書、保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書の出力に使用するページ.....	202
扶養控除等申告書と保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書について.....	202
この項で使用する共通フィールド.....	203
「扶養控除等申告書 JPN」ページ.....	203
「保険料・配特控除申告書 JPN」ページ.....	204
年末調整控除データの入力.....	204
年末調整控除データの入力に使用するページ.....	205
年末調整控除データの入力について.....	205
税源泉徴収および年末調整ルールの変更.....	206
複数雇用レコードに対する手動による年末調整について.....	206
「年調セルフサービス データ ロード JPN」ページ.....	207
「年末調整データ」ページ.....	207
「前職データ」ページ.....	209
「所得税データ管理 JPN」ページ.....	209
「所得税扶養家族データ管理 JPN」ページ.....	210
年末調整レポートの準備.....	210
年末調整レポートの準備に使用するページ.....	210
年末調整レポート データ JPN の準備について.....	211
「住民税額ロード JPN」ページ.....	211
「年末調整レポート データ ロード JPN」ページ.....	212
「年末調整データ確認/更新JPN」ページ.....	212
年末調整レポートの実行.....	214
年末調整レポートの実行に使用するページ.....	215
「源泉徴収票 JPN」ページ.....	215
「給与支払報告書 JPN」ページ.....	216
「法定調書合計表基礎資料 JPN」ページ.....	217
第18章: 銀行振込み処理.....	219
銀行振込み処理について.....	219
用語と定義.....	219
配布エレメント.....	219
銀行振込み処理の設定.....	219
銀行振込み処理設定の詳細.....	220
代替送金元銀行の設定.....	221
代替送金元銀行の設定に使用するページ.....	221
代替送金元銀行について.....	221
「支給元の送金元銀行 JPN」ページ.....	221
銀行振込みの FB ファイルとレポートの作成.....	222
銀行振込みプロセスおよび FB プロセスの実行とレポートの出力に使用するページ.....	222
FB のプロセス フローについて.....	223
処理手順について.....	223
前提条件.....	225

「支給準備プロセスの実行 JPN」ページ.....	225
「給与振込 FB 作成 JPN」ページ.....	226
第19章: 給与明細書の作成.....	229
前提条件.....	229
配布エレメントの表示.....	229
給与明細書の作成.....	229
給与明細書の作成に使用されるページ.....	229
給与明細書の作成について.....	230
給与明細書の作成/印刷ページ.....	230
第20章: オフサイクル支給の管理.....	233
オフサイクル処理について.....	233
オフサイクル処理.....	233
オフサイクル トランザクションのタイプ.....	233
配布エレメント.....	234
手動支給について.....	234
手動支給.....	234
訂正.....	235
不定期支給.....	235
前払給与.....	235
第21章: プログラムに対するエレメントのマッピング.....	237
プログラム エレメントのマッピングについて.....	237
プログラム エレメントのマッピングの変更.....	237
プログラム エレメントのマッピングの変更に使用するページ.....	237
「プログラム エレメント マッピング」ページ.....	237
第22章: グローバル ペイロール (日本) のレポート群.....	239
グローバル ペイロール (日本) のレポートについて.....	239
グローバル ペイロール (インド) のレポート群.....	239
グローバル ペイロール (日本) の汎用レポートの実行.....	242
日本用の汎用レポート テンプレート.....	242

はじめに

PeopleSoft オンライン ヘルプおよび PeopleBook について

PeopleSoft オンライン ヘルプは、PeopleSoft アプリケーションおよび PeopleTools の全てのヘルプ コンテンツを表示できる Web サイトです。このヘルプでは、標準ナビゲーションと全文検索、さらに状況依存オンライン ヘルプが PeopleSoft ユーザーに提供されます。

PeopleSoft ホスト オンライン ヘルプ

オラクル社の PeopleSoft ホスト オンライン ヘルプ Web サイトの PeopleSoft オンライン ヘルプにアクセスすると、Oracle ホスト サーバーのすべてのヘルプ Web サイトおよび状況依存ヘルプに直接アクセスできます。ホスト オンライン ヘルプは定期的に更新されるため、ユーザーは最新のドキュメントにアクセスできます。ホストの Web サイト コンテンツにはアプリケーションの保守に関するドキュメントがすぐに反映されるため、これらの個別のドキュメント記録を My Oracle Support で確認する必要がなくなります。ホスト オンライン ヘルプの Web サイトは英語版のみ使用可能です。

注: 最新リリースのホスト オンライン ヘルプのみが定期的に更新されます。新しいリリースが登録されても、前のリリースは引き続き利用できますが、更新はされません。

ローカルにインストールされたヘルプ

組織においてファイアウォールの制限により、ホスト オンライン ヘルプの Web サイトを利用できない場合は、PeopleSoft オンライン ヘルプをローカルでインストールできます。ローカルでヘルプをインストールした場合は、ユーザーがアクセス可能なドキュメントをより詳細に管理したり、自分の組織のカスタムドキュメントへのリンクをヘルプ ページに組み込むことができます。

また、PeopleSoft オンライン ヘルプをローカルにインストールすると、全文検索にあらゆる検索エンジンを使用することができます。Oracle Secure Enterprise Search を設定して全文検索を行う手順については、ご使用のインストールドキュメントに記載されています。

ご使用のデータベース プラットフォーム向けの『*PeopleTools Installation*』の「Installing PeopleSoft Online Help」を参照してください。Secure Enterprise Search を使用しない場合は、選択した検索エンジンのドキュメントを参照してください。

注: ローカルでインストールしたヘルプ Web サイトで検索エンジンにアクセスするには、「Search」フィールドを有効にする必要があります。手順については、オンライン ヘルプ サイトの「Contents」サイドバーで「About This Help」、「Managing Locally Installed PeopleSoft Online Help」、「Enabling the Search Button and Field」を選択してください。

ダウンロード可能な PeopleBook の PDF ファイル

従来の PeopleBook 形式であり、ダウンロード可能な PDF 版のヘルプ コンテンツにアクセスすることもできます。PeopleBook PDF のコンテンツは PeopleSoft オンライン ヘルプのコンテンツと同じですが、構造は異なり、オンライン ヘルプで使用できるインタラクティブなナビゲーション機能はありません。

共通のヘルプドキュメント

共通のヘルプドキュメントには、複数のアプリケーションに適用される情報が含まれています。共通のヘルプの 2 つの主要なタイプは、次のとおりです。

- アプリケーションの基礎
- PeopleSoft アプリケーションの使い方

ほとんどの製品ファミリーでは、システムの設定や設計に関する基本的な情報を説明する、一連のアプリケーションの基礎ヘルプトピックが提供されます。この情報は、PeopleSoft 製品ファミリーの多くの、または全てのアプリケーションに適用されます。単一のアプリケーション、製品ファミリー内のアプリケーションの組合せ、または製品ファミリー全体のいずれを実装化に関係なく、該当するアプリケーションの基礎ヘルプのコンテンツについて理解している必要があります。これらは、基本的な実装タスクの開始点となります。

また、『*PeopleTools: Applications User's Guide*』では、PeopleSoft ピュア インターネット アーキテクチャのさまざまな要素が紹介されています。また、そこではシステムをナビゲートする際に、ナビゲーションの階層、コンポーネントおよびページを使用して基本的な機能を実行する方法についても説明しています。アプリケーションや導入内容は異なる場合がありますが、このユーザーズ ガイドのトピックでは PeopleSoft アプリケーションの使用方法に関する一般的な情報が説明されています。

フィールドおよびコントロールの定義

PeopleSoft のドキュメントには、アプリケーション ページに表示されるほとんどのフィールドおよびコントロールの定義が含まれています。これらの定義で、フィールドまたはコントロールの使用法や、移入される値の発生元、さらに特定の値を選択したときの結果などが説明されています。フィールドまたはコントロールが定義されていない場合は、追加の説明が必要ないか、ドキュメントの共通要素のセクションに既に記載されています。たとえば、日付フィールドは追加の説明がほとんど必要ないため、ドキュメント内で定義が複数のページにわたって記載されないことがあります。

表記規則

次の表に、オンライン ヘルプで使用される表記規則を示します。

表記規則	説明
キー + キー	キー操作の組合せを示します。たとえば、キーの間のプラス記号 (+) は、最初のキーを押しながら 2 番目のキーを押す必要があることを意味します。Alt+W の場合、Alt キーを押しながら W キーを押します。

表記規則	説明
... (省略記号)	PeopleCode 構文で、先行する項目または一連の項目を任意の回数繰り返すことができることを示します。
{ } (波かっこ)	PeopleCode 構文で、2つのオプションからの選択肢を示します。オプションはパイプ () で区切られます。
[] (角かっこ)	PeopleCode 構文で、オプションの項目を示します。
& (アンパサンド)	PeopleCode 構文でパラメータの前にアンパサンドが記述されている場合は、そのパラメータがインスタンス作成済みのオブジェクトであることを示します。 また、アンパサンドは全ての PeopleCode 変数の前に付きます。
⇒	この継続文字は、コードの行の最後、ページのマージンで折り返された場所に挿入されます。コードは、継続文字がない1つの連続した行のコードとして表示または入力される必要があります。

ISO の国コードおよび通貨コード

PeopleSoft オンライン ヘルプのトピックでは、国別の情報や通貨金額を識別するために国際標準化機構 (ISO) の国コードおよび通貨コードを使用しています。

PeopleSoft ドキュメントでは、ISO 国コードは国の識別子として表示される場合があり、ISO 通貨コードは通貨の識別子として表示される場合があります。ドキュメントでの ISO 国コードの参照は、全ての ISO 国コードがアプリケーションに含まれていることを意味しません。"(FRA) Hiring an Employee" は、国固有の見出しの例です。

PeopleSoft の通貨コード テーブル (CURRENCY_CD_TBL) には、サンプルの通貨コード データが含まれています。通貨コード テーブルは、ISO 標準 4217 "Codes for the representation of currencies" に基づいており、さらに国テーブル (COUNTRY_TBL) の ISO 国コードにも依存します。通貨コードおよび国情報を管理するページへのナビゲーションは、使用している PeopleSoft アプリケーションによって異なります。通貨コード テーブルおよび国テーブルを管理するページにアクセスするには、アプリケーションのオンライン ヘルプで詳細を確認してください。

地域および業種の識別子

特定の地域や業種に対してのみ適用される情報は、その前に標準の識別子がかっこ書きで付きます。通常、この識別子はセクション見出しの先頭に記述されますが、注意書きや他のテキストの先頭に記述されることもあります。

地域固有の見出しの例として、"(Latin America) Setting Up Depreciation" があります。

地域識別子

地域は地域名によって識別します。PeopleSoft オンライン ヘルプでは、次の地域識別子が使用される場合があります。

- Asia Pacific
- Europe
- Latin America
- North America

業種の識別子

業種は、業種名または業種の略称によって識別します。PeopleSoft オンライン ヘルプには、次の業種識別子が現れることがあります。

- USF (U.S. Federal)
- E&G (Education and Government)

翻訳および埋込みヘルプ

PeopleSoft 9.2 ソフトウェア アプリケーションには、翻訳済の埋込みヘルプが組み込まれています。9.2 リリースでは、埋込みヘルプの翻訳作業に重点を置いて、他の Oracle アプリケーションとの協調を図っています。従来のオンライン ヘルプおよび PeopleBooks ドキュメントを翻訳する予定はありません。かわりに、アプリケーション内の重要局面では埋込みヘルプ ウィジェットを介して翻訳済ヘルプを直接提供します。また、アプリケーションとヘルプ翻訳を 1 対 1 で対応付けています。つまり、ソフトウェアと埋込みヘルプ翻訳のフットプリントは同じであり、これまで成し遂げられなかったことを実現しています。

PeopleSoft オンライン ヘルプの使用および管理

次のトピックに関する情報を参照するには、PeopleSoft オンライン ヘルプの任意のページのユニバーサル ナビゲーション ヘッダーで [ヘルプ] リンクをクリックします。

- PeopleSoft オンライン ヘルプの新機能。
- PeopleSoft オンライン ヘルプのアクセシビリティ。
- PeopleSoft オンライン ヘルプのアクセス、ナビゲーションおよび検索。
- ローカルにインストールされた PeopleSoft オンライン ヘルプ Web サイトの管理。

PeopleSoft HCM の関連リンク

[PeopleSoft 情報ポータル](#)

[My Oracle Support](#)

[Oracle University の PeopleSoft 研修](#)

[YouTube での PeopleSoft ビデオ機能の概要](#)

[PeopleSoft ビジネスプロセス マップ \(Microsoft Visio 形式\)](#)

連絡先

ご意見は、PSOFT-INFODEV_US@ORACLE.COM までお送りください。ご使用の PeopleTools およびアプリケーションのリリース番号を含めてください。

フォロー



[Facebook。](#)



[YouTube](#)



[Twitter@PeopleSoft_Info。](#)



[PeopleSoft ブログ](#)



[LinkedIn](#)

第1章

グローバル ペイロール (日本) - はじめに

グローバル ペイロール (日本) の概要

グローバル ペイロール (日本) には、グローバル ペイロール コア アプリケーションと連携して日本向けの給与計算パッケージを構成するエレメント、ルール、ページ、プロセスおよびレポートが用意されています。

グローバル ペイロール (日本) では、月給、日給月給、日給、時間給などの支給タイプに応じた給与や賞与に対する支給エレメントおよび控除エレメントが用意されています。また、月次の給与計算に通勤手当を含め、超過勤務および休暇欠勤に対して給与を調整し、法律で規定された社会保険料と労働保険料、所得税および住民税を控除できます。有給休暇の管理および年末調整の計算ができます。退職金の計算、銀行振込み処理の設定と実行、給与明細書の作成および複数の職務レコードの処理ができます。

関連リンク

「グローバル ペイロールのユーティリティについて」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

グローバル ペイロール (日本) のビジネス プロセス

グローバル ペイロール (日本) には、次のビジネス プロセスが用意されています。

- 給与と賞与。
- 時間データ入力。
- 雇用終了処理。
- 通勤手当。
- 退職金。
- 社会保険。
- 労働保険。
- 住民税。
- *Zaikei*貯蓄控除の管理。
- 所得税。
- 年末調整。

- 銀行振込み。
- 給与明細書。

これらのビジネス プロセスについては、グローバル ペイロール (日本) のビジネス プロセスのトピックで説明します。

グローバル ペイロール (日本) の統合

グローバル ペイロール (日本) には、グローバル ペイロールのコア アプリケーションを通して、次のアプリケーションが統合されています。

- PeopleSoft HR。
- PeopleSoft 勤務管理。

統合については、*PeopleSoft グローバル ペイロール*で説明されています

関連リンク

「受給者データの更新」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

「勤務管理の統合」(「PeopleSoft 勤務管理」)

グローバル ペイロール (日本) の導入

PeopleSoft セットアップ マネージャを使用すると、導入する機能に基づいて、実行する必要がある設定タスクのリストを生成できます。この設定タスクには、設定する必要があるコンポーネントが、コンポーネントテーブルにデータを入力する順番にリストされ、関連するドキュメントへのリンクも含まれます。

その他の情報ソース

導入プランの設定段階では、導入ガイド、テーブルへのデータ ロードの順序、データ モデル、ビジネス プロセス マップなど、PeopleSoft 内にあるすべての情報を活用してください。

Enterprise PeopleTools PeopleBook: PeopleSoft セットアップ マネージャ
Enterprise PeopleTools PeopleBook: PeopleSoft コンポーネントインターフェイス

第2章

グローバル ペイロール (日本) について

グローバル ペイロール (日本)

グローバル ペイロール (日本) は、グローバル ペイロールのコア アプリケーションの**国別拡張機能**です。グローバル ペイロール (日本) では、日本の給与計算に必要な給与計算ルールとエレメントを提供します。

グローバル ペイロール (日本) のビジネス プロセス

グローバル ペイロール (日本) では、次のビジネス プロセスをサポートしています。

- 給与と賞与。

グローバル ペイロール (日本) では、4 種類の支給タイプ (月給、日給月給、日給、時間給) で給与と賞与の支給および控除を計算するためのエレメントを提供しています。グローバル ペイロール (日本) システムを従業員の給与パッケージの固定的賃金の給与レートコードにマッピングし、ポジティブ入力で賞与金額を入力できます。月次の給与計算に通勤手当を含め、超過勤務および休暇欠勤に対して給与を調整し、法律で規定された社会保険料と労働保険料、所得税および住民税を控除できます。

- 時間データ。

柔軟性のあるルールにより、給与計算と有給休暇 (PTO) の追跡に使用する時間データを管理できます。勤務日数、超過勤務、休日、遅刻早退、欠勤、有給休暇、病欠および特別休暇の処理には、変数を使用します。有給休暇の付与、取得、残数を管理するには、用意されているフォーミュラを使用します。前年から繰り越された有給休暇の処理を組織の慣行に従って定義できます。

- 雇用終了処理。

グローバル ペイロール (日本) では、雇用終了従業員の年末調整 (YEA) を自動的に計算するためのルールと手順を提供しています。

- 通勤手当。

グローバル ペイロール (日本) では、1 日、1 か月、3 か月、6 か月周期の現金支給、現物支給、課税対象および非課税の通勤手当支給額を計算し、追跡するために必要なエレメントを提供しています。通勤手当は、周期ごとの合計金額で定義することも、通勤区間ごとに定義することもできます。通行料等非課税限度額のデフォルト値は、システムによって提供されます。各従業員ごとに通行料等非課税限度額を定義し、各従業員の通勤手当コンポーネントの値を入力できます。該当する月に支給さ

れる通勤手当額を計算するだけでなく、報酬月額に必要通勤手当月額の値も追跡されます。

- 退職金。

グローバル ペイロール (日本) では、従業員の退職金を入力して、退職時の支給に関連する所得税および住民税 (都道府県民税や市町村民税) を自動的に計算し、控除できます。また、退職所得の源泉徴収票や明細書を作成することもできます。

- 社会保険。

グローバル ペイロール (日本) では、あらゆる状況の社会保険料を計算して追跡するための変数、フォーミュラ、支給、控除およびその他のルールが提供されています。健康保険料、厚生年金保険料および介護保険料が計算されます。また、定時決定処理をサポートし、随時改定の対象となる従業員を特定するために、平均報酬月額も計算して追跡されます。一連の社会保険レポートは、社会保険業務の処理に役立ちます。

- 労働保険。

グローバル ペイロール (日本) では、業種ごとに適切な保険料率を使用して、従業員の賃金から雇用保険の負担額を計算します。また、短時間就労の労働保険被保険者の追跡管理、従業員の雇用保険料免除の判定および労働保険のレポート作成のサポートを行います。

- 住民税。

グローバル ペイロール (日本) では、自治体に提出する給与支払い報告書およびその総括表の作成、自治体から受領した住民税額のロード、月額給与からの住民税額の控除、および住民税納付先別一覧表の作成に使用するルール、ページ、プロセスおよびレポートを提供しています。

- 所得税。

グローバル ペイロール (日本) では、給与と賞与の両方から所得税を計算して控除するためのルールや年の最後の支給で所得税を調整するためのルールを提供しています。所得税源泉徴収簿は、法定の月次レポート要件を満たすために使用します。

- *Zaiki*貯蓄控除。

グローバル ペイロール (日本) では、*Zaiki*貯蓄口座をサポートする配布エレメントを提供しています。

- 年末調整。

PeopleSoft が配布するルールを使用することで、暦年の最後の給与あるいは賞与の支給時に行われる年末調整や単独年調に必要な、日本独自の法定要件や業務要件に対応できます。年末調整が完了し、データテーブルの準備が整ったら、必要なレポートを作成して年末調整のビジネス プロセスを完了します。

- 銀行振込み。

グローバル ペイロール (日本) では、会社の複数の銀行口座から従業員の複数の銀行口座への送金をサポートしています。従業員ごとに、給与、賞与、単独年調および退職金に対し、個別にその配分額を複数の銀行に定義できます。銀行振込みファイルは、全銀協フォーマットで用意されます。

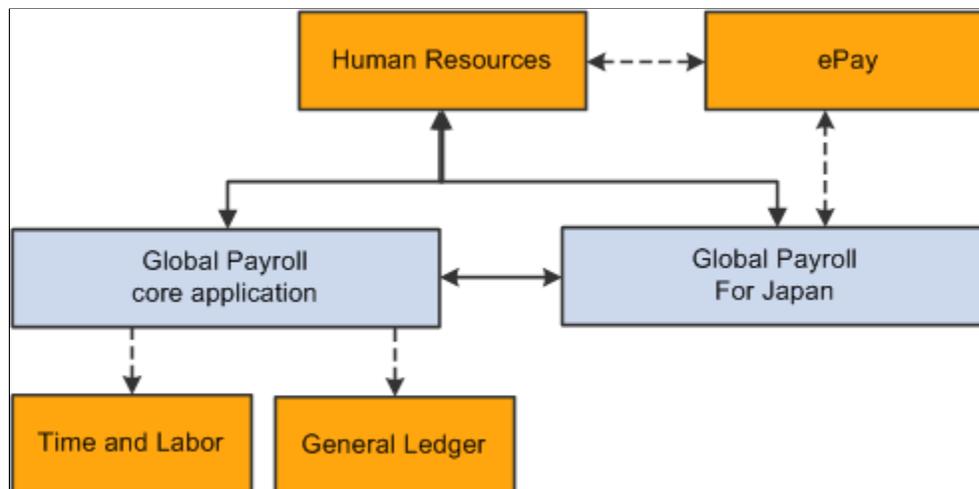
- 給与明細書。

グローバル ペイロール (日本) を使用して、月給、賞与、単独年調および退職金に対する給与明細書を印刷できます。給与明細書のフォーマットは会社によって大きく異なるため、参考例として1つのフォーマットが提供されています。また、組織で使用する給与明細書のスタイルに合うフォーマットにカスタマイズ可能なテンプレートも用意されています。

グローバル ペイロール (日本) の統合

画像: グローバル ペイロール (日本) アプリケーションの統合

次の図は、HR、ePay、グローバル ペイロール コア、勤務管理、一般会計など、グローバル ペイロール (日本) が統合するアプリケーションを示したものです。



配布エレメント

グローバル ペイロールでは、日本用の各ビジネス プロセスは、PeopleSoft によって配布されているエレメントとルールによって定義されています。これらのエレメントとルールには、法定要件を満たすために特別に設計されているものや、一般的または慣例的な給与計算をサポートするものがあります。

この項では、次について説明します。

- 配布エレメントの作成。
- エレメントの所有者および管理者。

配布エレメントの作成

国別拡張機能の一部として配布されたエレメントとルールはすべて、コア アプリケーションを使用して作成されています。このアプリケーションは、新たなエレメントやルールの作成、およびグローバル ペイロール システムの一部として配布された既存のエレメントの設定で使用するアプリケーションと同じです。給与計算エレメントの再定義や新規作成に必要なツールについては、コア アプリケーションのドキュメントで詳しく説明されているので、この項では改めてこの情報は取り上げません。かわりに、この項では、コア アプリケーション (独自のエレメントやルールの作成に必要なツールを含む) と国別拡張機能 (システムにあらかじめ定義されている各国特有のルールやエレメントを含む) の関係について簡単に説明します。

コア アプリケーションの特徴は、次のとおりです。

- コア アプリケーションは、給与計算システムのルールやエレメントを定義したり、給与計算や休暇欠勤計算を実行することができるフレキシブルな給与計算ルール エンジンで構成されています。

グローバル ペイロールでは、特別な給与計算ロジックや算定数値はアプリケーション コードに埋め込まれていません。かわりに、支給、控除、休暇欠勤および累計などのすべてのビジネス アプリケーション ロジックを、給与計算のルールおよびエレメントで指定します。グローバル ペイロールでは、ユーザーが一連のページから給与計算ルールを入力および管理することが可能であり、ユーザーが指定した言語や通貨で処理できる包括的な機能群を提供しています。

- コア アプリケーションでは、カレンダー、実行タイプ、支給期間、プロセスリストなど、給与計算や休暇欠勤計算でのプロセス フローをフレキシブルに定義、実行できる給与計算プロセス フレームワークを提供しています。

国別拡張機能の特徴は、次のとおりです。

- 国別拡張機能は、コア アプリケーションを使用して作成されます。
- 国別拡張機能は、各国の法令および慣習に対応するオブジェクト (各国特有の給与計算ルール、エレメント、給与計算プロセス、レポート、ページ、セルフサービス アプリケーションなど) から構成されています。

エレメントの所有者および管理者

グローバル ペイロールの国別拡張機能の配布エレメントとルールは、その所有者と管理者 (ユーザーまたは PeopleSoft) に基づいて分類されます。PeopleSoft によって排他的に管理され、ユーザーによる修正または再設定ができないルールやエレメントがある一方で、ユーザーが設定して組織固有の要件を満たすことができるルールやエレメントもあります。

グローバル ペイロールのエレメント所有者

グローバル ペイロールでは、エレメント所有者について次の 5 つのカテゴリがあります。

PS 配布/管理

PeopleSoft によって随時配布、管理されるエレメントです。

PS 配布/管理なし

PeopleSoft によって配布されますが、ユーザーが管理する必要のあるエレメントです。このカテゴリの主なエレメントは、法定で

はなく慣例のルール、またはユーザーがそのルールを別の解釈で定義したい場合の法定エレメントのどちらかです。PS 配布/管理なしとして定義されているエレメントは PeopleSoft によって更新されることがありますが、これらの更新は必ずしも適用する必要はありません。

ユーザー管理

ユーザーの組織で作成および管理されるエレメントです。ユーザー管理として定義されているルールが PeopleSoft によって配布されることはありません。

PS 配布/ユーザーにより修正済

もともとは PS 配布/管理エレメントだったエレメントを、ユーザーが管理することにしたものです (この変更は元に戻せません)。

PS 配布/管理/保護

ユーザーが決して修正および管理できない配布エレメントです。

グローバル ペイロール (日本) のエレメント所有者

機能分野	所有者/管理者	クラス
休暇欠勤および超過勤務。	PS 配布/管理なし。	慣例。
通勤手当。	PS 配布/管理。	法定。
支給 - 基本給項目。	PS 配布/管理なし。	慣例。
支給 - その他の項目。	PS 配布/管理なし。	法定および慣例。
所得税。	PS 配布/管理。	法定。
住民税。	PS 配布/管理。	法定。
労働保険。	PS 配布/管理。	法定。
社会保険。	PS 配布/管理。	法定。
年末調整。	PS 配布/管理。	法定。
Zaiki貯蓄控除。	PS 配布/管理なし。	慣例。

関連リンク

「エレメント名の定義」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

エレメントの名称指定規則

PeopleSoft 配布エレメント用に作成された名称指定規則について知っておくと、エレメントの使用方法、エレメント タイプおよびそのエレメントが使用される機能を判断するのに役立ちます。そのエレメントが主要エレメントなのか、主要エレメントのコンポーネントなのか、サポート エレメントなのかによって、次の名称指定規則の1つが適用されます。

- サポート エレメント。
- 主要エレメント。
- コンポーネント名のサフィックス。

この項では、次の事項についても説明します。

- 日本用の機能分野コード。
- エレメント タイプ コード (PIN_TYPE)。
- 日本用エレメント名の省略形。
- 日本用サフィックス。
- 産業および地域機能。

サポート エレメント

グローバル ペイロール (日本) では、アレイ、ブラケット、カウント、日付、デューレーション、フォーミュラ、給与レートコード、変数、再計算/履歴抽出ルール、仮再計算ルール、比例配分ルール、端数処理ルール、累計、セクション、エレメントグループおよびジェネレーション コントロール条件に対し、名称指定規則 FF TT NAME が使用されます。この名称指定規則の構成要素の説明を次に示します。

FF	機能分野コード。
TT	サポート エレメントのタイプ。
NAME	エレメントの名称。

たとえば、社会保険変数 SC VR MONTH REM の場合、SC は機能分野 (社会保険: social insurance) を表し、VR はエレメントタイプ (変数: variable) を表し、MONTH REM は報酬月額 (monthly remuneration) を表しています。

主要エレメント

グローバル ペイロールでは、主要エレメント名にはタイプ コードは使用されません。グローバル ペイロール (日本) では、主要エレメントである支給エレメントおよび控除エレメントに対し、名称指定規則 FF NAME が使用されます。この名称指定規則の構成要素の説明を次に示します。

FF	機能分野コード。
-----------	----------

NAME エレメントの名称。

たとえば、支給エレメント CM TX ALW では、CM は機能分野である通勤手当 (commuting allowance) を表し、TX ALW は課税通勤手当 (taxable commuting allowance) を表します。支給エレメント ER BASE PAYM では、ER は機能分野の支給項目 (earning contributions: 支給項目に関連し、他のどの機能分野にも関連付けられていないエレメントに対して使用) を表し、BASE PAYM は基本給月額 (monthly base pay) を表します。

コンポーネント名のサフィックス

グローバル ペイロールで支給エレメントまたは控除エレメントを作成するときは、ベース、レート、ユニットおよびパーセントなどの、そのエレメントを構成するコンポーネントを定義する必要があります。エレメントに対するこれらのコンポーネントおよび累計は、計算ルールまたは累計期間を基に自動的に作成されます。また、エレメント名にサフィックスが付加され、これらのコンポーネントおよび累計に対し、自動的に名前が指定されます。

たとえば、名前が EARN1 で、計算ルールがユニット×レートの支給エレメントを定義するとします。この場合、この計算ルールで使用されているコンポーネントに対し、EARN1_RATE という名前のレート エレメントと EARN1_UNIT という名前のユニット エレメントの 2 つの追加エレメントが自動的に作成されます。

グローバル ペイロール (日本) では、サフィックスはすべて、次のタイプのいずれかになります。

- 区切り文字。
- 支給/控除のコンポーネント サフィックス。
- 支給/控除の累計サフィックス。
- 控除延滞のコンポーネント サフィックス。

関連リンク

「エレメントについて」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

日本用の機能分野コード

機能分野コード	説明
AO	休暇欠勤および超過勤務。
CM	通勤手当。
ER	支給項目 (支給項目に関連し、他のどの機能分野にも関連付けられていないエレメントに対して使用。)
IH	住民税。
IN	所得税。

機能分野コード	説明
LA	労働保険。
SC	社会保険。
YE	年末調整。
ZK	Zaikei貯蓄控除。

エレメント タイプ コード (PIN_TYPE)

エレメント タイプ コード	説明
AE	休暇付与
AT	休暇取得
AC	累計
AR	アレイ
AA	自動割当て
BR	ブラケット
CT	カウント
DT	日付
DD	控除
DR	デデュレーション
ER	支給
EG	エレメントグループ
EM	エラー メッセージ
FC	仮計算
FM	フォーミュラ
GC	ジェネレーション コントロール
HC	再計算/履歴抽出ルール
PP	過去の期間ルール

エレメント タイプ コード	説明
PR	処理
PO	比例配分ルール
RC	給与レート コード
RR	端数処理ルール
SE	セクション
SY	システム エレメント
VR	変数

日本用エレメント名の省略形

省略形	説明
ABS	休暇欠勤
AC	実際の結果
ADJ	調整済
ALW	手当
ANU	年次
BAL	残数
BON	賞与
CD	コード
CHG	変更
CU	現在
D	日次
DED	控除
DFT	デフォルト
EST	事業所
GR または GRD	等級

省略形	説明
HRS または H	時間数、時間単位
JDG	判定、評価、決定
M	月次
MON	月
MX	最大
NO	番号
NOM	正常
NX	次
O	随時
PR	前回
PRM	保険料、特別給与
PTO	有給休暇
RED	減額
REM	報酬
RET	退職
R	基本
SAL	給与
SK L または SCLE	傷病欠勤
SP L または SPLE	特別休暇
STA	標準
T	時間毎
TM	時間
TTL	合計
WRK	勤務
YR	年

日本用サフィックス

グローバル ペイロール (日本) では、グローバル ペイロール コアのデフォルトのサフィックスが使用されています。

産業および地域機能

日本用エレメントの定義では、産業および地域機能は使用しません。

グローバル ペイロール (日本) のデータのアーカイブ

PeopleSoft グローバル ペイロール (日本) は、結果データを大量に生成します。データのサイズを管理しやすい状態に維持するには、データを定期的にアーカイブします。PeopleSoft PeopleTools には、データ アーカイブ マネージャと呼ばれるアーカイブ ツールが用意されています。データ アーカイブ マネージャによる結果データのアーカイブを支援することを目的として、PeopleSoft グローバル ペイロール (日本) では、あらかじめ定義されたアーカイブ オブジェクト (GPJP_RSLT_ARCHIVE) とアーカイブ テンプレート (GPJPRSLT) を用意しています。このアーカイブ テンプレートでは、カレンダー グループ ID (CAL_RUN_ID フィールド) によってデータを選択するクエリーを使用します。

注: 標準で用意されているアーカイブ オブジェクト、アーカイブ クエリーまたはアーカイブ テンプレートに変更を行う場合は、細心の注意を払ってください。変更によって重要なデータが失われる可能性があります。

「グローバル ペイロール データのアーカイブ」 (「PeopleSoft グローバル ペイロール」) を参照してください。

『PeopleTools: Data Management』

エレメント用のクエリー

PeopleSoft では、日本用に設計されたすべての配布エレメントを参照するために実行するクエリーが提供されています。

関連リンク

「配布エレメントの表示方法について」 (「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

国データの定義

グローバル ペイロール (日本) システムの設定について

この項では、グローバル ペイロール (日本) の配布エレメントがどのように設定されているかについての一般情報を説明します。また、システムの使用法および設定方法についての注意や警告もいくつか説明します。

この項では、次の作業を行う方法について説明します。

- 基本給およびその他の PeopleSoft HR データの使用。
- 支給元の定義。
- 支給タイプの設定。
- カレンダー グループ ID の設定。
- 遡及支払い計算について。
- 配布された書込み可能アレイの使用。
- 支給の属性の設定 (給与)。
- 支給の属性の設定 (賞与)。
- 時間管理用変数の設定。

基本給およびその他の HR データの使い方

グローバル ペイロール (日本) のアプリケーションは、HR アプリケーションで入力された会社データおよび従業員の個人データや職務データを使用するように設計されています。給与計算処理に必要な HR データを管理するために使用するグローバル ペイロールのルール、Structured Query Report (SQR) およびアプリケーション エンジン プログラムが提供されています。

基本給の給与レート コードのマッピング

基本給の計算において、グローバル ペイロール (日本) では、HR で給与レート コードを使用して定義された、従業員の給与パッケージが使用されます。サンプル データとして、3 つの汎用レート コード (J08 から J10) がグローバル ペイロール (日本) 用に提供されています。これらの給与レート コードは、ヒューマン リソース管理の 3 つの汎用基本給レート コード (J08 から J10) にマッピングされています。マッピング先となるヒューマン リソース管理の給与レート コードで、「給与レート コード」テーブルの「固定的賃金」チェック

ボックスが選択されていれば、必要に応じてこれらの給与レートコードを追加、再マッピングおよび修正できます。

関連リンク

「給与レートコード要素の定義」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)
[給与および賞与のルールについて](#)

支給元の定義

支給元とは、給与計算の観点から組織を法的に定義したもので、受給者に支給を行う責任のある組織のことです。この組織と支給元は同一である場合がよくあります。それぞれの組織の支給元を定義するには、グローバル ペイロール コア アプリケーションの支給元コンポーネントを使用します。

組織の社会保険事業所、労働保険事業所および所得税/住民税の納付元事業所が支給元より小さい組織の場合、このトピックで説明する「納付元事業所」ページでこれを定義します。定義されている支給元が、社会保険、労働保険、所得税および住民税のそれぞれの納付元事業所と同一であっても、これらに対する納付元事業所を少なくとも1つずつ定義する必要があります。

関連リンク

「組織構造について」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

支給タイプの設定

グローバル ペイロール (日本) では、従業員の支給タイプを指定するために変数 ER VR PAY TYPE を使用しています。標準では、フォーミュラ ER FM BASE RATE は、HR の職務データの給与レコードにある従業員の給与周期を基に、この変数に値を割り当てます。日本用の有効な HR の給与周期には次のものがあります。

M (月次)	超過勤務手当の支給対象外であり、月単位で給与を支給される従業員用。
JM (月次 - 日本)	超過勤務手当の支給対象であり、月単位で給与を支給される従業員用。
D (日次)	日給ベースで給与が支給される従業員用。
H (時間毎)	時給ベースで給与が支給される従業員用。

注: 超過勤務手当の支給対象であり、月単位で給与が支給される従業員に対し、HR の「職務データ」の「給与データ」ページで JM の周期が割り当てられていることを確認する必要があります。

カレンダー グループ ID の設定

それぞれの組織および給与計算処理期間にとって意義のあるカレンダー グループ ID を設定する必要があります。カレンダー グループで持つことができる実行タイプは、それぞれ1つのみです。これは、通常の

給与、賞与、年末調整または退職金のそれぞれの給与計算ごとに、固有のカレンダーグループ ID を設定する必要があることを意味します。サンプルデータとして、PeopleSoft から、給与、賞与、賞与年調、給与年調、単独年調および退職金の 6 つの実行タイプが提供されています。

関連リンク

「カレンダーについて」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

遡及支払い計算について

グローバル ペイロール (日本) のアプリケーションでは、基本給の遡及変更を処理するために必要なエレメントが提供されています。次に、遡及変更がアプリケーションによって処理される方法の概要を示します。

- ヒューマン リソース管理の職務データの給与レコード (COMPENSATION) が変更されると、基本給の遡及処理が行われます。

このレコードは職務データレコードの子レコードなので、給与レコードと職務データレコードのどちらかが変更されると、遡及処理が行われます。

- 次のエレメントが、遡及処理で調整されます。

- ER BASE PAYM
- ER BASE PAYD
- ER BASE PAYH
- ER OVERTIME
- ER OT ABVLMT
- ER NIGHT
- ER HOLIDAY
- ER HOLNIG
- ER TAED RED
- ER SPLE RED
- ER ABS RED
- ER SCLE RED
- SC REM S01
- SC REM S02
- SC REM S03
- SC REM S04

- SC REM S05
 - SC REM S06
 - SC REM S07
 - SC REM S08
 - SC REM S09
 - SC REM S10
 - SC REM S11
 - SC REM S12
-
- 社会保険処理では、報酬月額計算および随時改定の資格判定の際に遡及変更の履歴が調査されます。

注: HR のレコードに遡及データ行を追加する場合は、新しい行に繰り越すデータを持つ行にカーソルを合わせておく必要があります。挿入した行に入力した新しいデータを、その行の後に来る既存のデータ行に繰り越したい場合は、既存のデータ行を手動で更新する必要があります。

支給キー

日本の組織において、日本用の給与計算を設定している場合は、支給キーを使用しないことをお勧めします。

エレメント分割に関する注意

グローバル ペイロールの分割機能は使用しないことをお勧めします。分割はレポートに出力されるデータに影響を与える恐れがあるため、分割を使用する場合は、問題が起こらないようにすべてのレポート出力を十分に検討する必要があります。

関連リンク

「個人情報と職務情報の更新プロセスについて」(「PeopleSoft ヒューマン リソース管理人事・労務管理」)

配布された書込み可能アレイの使い方

グローバル ペイロール (日本) では、次のような書込み可能アレイが用意されています

- GPJP 書込み可能アレイ (GPJP_WA)。

このアレイには、PeopleSoft アプリケーション エンジンおよび SQL プログラムで使用されるデータが格納されます。

- 社会保険レポート給与データ書込み可能アレイ (GPJP_WA_SC_RPT_SAL)。

このアレイには、社会保険レポートの作成で使用される給与データが格納されます。

- 社会保険レポート賞与データ書込み可能アレイ (GPJP_WA_SC_RPT_BON)。

このアレイには、社会保険レポートの作成で使用される賞与データが格納されます。

関連リンク

「データ取得エレメントについて」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

支給エレメントの属性の設定 (給与)

グローバル ペイロール (日本) で使用する支給エレメントを新しく作成する場合、その属性も設定する必要があります。給与の支給エレメントには、次のような属性があります。

- 課税対象または課税対象外。
- 現金支給または現物支給。
- 現金報酬または現物報酬。
- 賃金。
- 固定的賃金。
- 超過勤務手当計算基準。
- 減額計算基準。

これらの属性は、支給エレメントを適切な累計に追加することで設定します。

属性	累計	説明
課税対象	ER AC TAX PAY SAL	課税対象の給与支給総額。
課税対象外	ER AC NTAX PAY SAL	課税対象外の給与支給総額。
現金支給	ER AC CASH SAL	給与の現金支給総額。
現物支給	ER AC NCASH SAL	給与の現物支給総額。
現金報酬	ER AC CASH REM SAL	給与の現金報酬総額。
現物報酬	ER AC NCSH REM SAL	給与の現物報酬総額。
賃金	ER AC TTL WAGE SAL	給与の賃金総額。
固定的賃金	ER AC FIX WAGE SAL	給与の固定的賃金総額。
超過勤務手当計算基準	ER AC PRM BASE SAL	給与の超過勤務割増し基礎額。
減額計算基準	ER AC RED BASE SAL	給与の減額基礎額。

たとえば、課税対象、現物支給、現物報酬、賃金、固定的賃金および超過勤務手当計算基準の属性を持つ支給エレメントの場合、このエレメントを累計 ER AC TAX PAY SAL、ER AC NCASH SAL、ER AC NCSH REM SAL、ER AC TTL WAGE SAL、ER AC FIX WAGE SAL、ER AC PRM BASE SAL に追加します。

支給エレメントの属性の設定 (賞与)

グローバル ペイロール (日本) で使用する賞与の支給エレメントを新しく作成する場合、その属性も設定する必要があります。

属性	累計	説明
課税対象	ER AC TAX PAY	課税対象の賞与支給総額。
賃金	ER AC TTL WAGE BON	賞与の賃金総額。
現金支給	ER AC CASH BON	賞与の現金支給総額。
現物支給	ER AC NCASH BON	賞与の現物支給総額。
現金報酬	ER AC CASH REM BON	賞与の現金報酬総額。
現物報酬	ER AC NCASH REM BO	賞与の現物報酬総額。

賞与の支給エレメントには、課税対象および賃金の属性が必要です。賞与の支給エレメントは、累計 ER AC TAX PAY BON (課税対象の賞与支給総額) および ER AC TTL WAGE BON (賞与の賃金総額) に追加する必要があります。さらに、現金の賞与の場合は、ER AC CASH BON および ER AC CASH REM BON に追加する必要があります。現物の賞与の場合は、ER AC NCASH BON および ER AC NCASH REM BO に追加する必要があります。

時間管理用変数の設定

配布された変数をそれぞれの組織のビジネス ルールに適合させるには、変数の環境設定を行う必要があります。この設定を行うと、支給期間ごとに各従業員の時間データが入力できるようになり、給与計算が実行できます。

ここでは、変数の設定方法を説明します。

1. 超過勤務および休暇欠勤に対する変数を設定します。

- PeopleSoft では、4 つの超過勤務の変数と 4 つの休暇欠勤による減額の変数を配布していません。変数を追加して、追加の超過勤務および休暇欠勤タイプを管理できます。
- PeopleSoft ではその他に、有給休暇取得や代替休暇など、時間データを管理するための 5 つの変数が配布されています。また、PeopleSoft では、ポジティブ入力で時間データを入力するために、これらの変数のそれぞれに対し、ダミーの支給エレメントを配布しています。
- 超過勤務の割増し率および減額率に対応する変数を定義します。

- 超過勤務手当、休暇欠勤減額またはその他の給与計算を計算するために変数を追加して使用する場合は、その内容に応じて、フォーミュラおよびその他のルールの作成や変更を行う必要があります。
2. 当年度から先に有給休暇を消費する組織の場合、変数 AO VR PR PRI FLAG の配布時の値を変更します。
 3. 10月以外の月に有給休暇を付与している組織の場合、変数 AO VR ENT MONTHS の配布時の値を変更します。
 4. それぞれの組織の有給休暇の付与スケジュールを設定します。

PeopleSoft では、勤務期間に応じた有給休暇付与のスケジュールを設定するために、4つの変数が配布されています。

- それぞれの組織の休暇付与スケジュールに適合させるために、必要に応じて勤務期間を評価する新しい変数を追加したり、ルールを定義します。
- それぞれの変数に関連付けられた有給休暇付与の日数を定義します。
- 前年度の未取得の有給休暇が有給休暇付与の時点で無効になる場合は、変数 AO VR PTO EXP FLAG のデフォルト値を変更します。

関連リンク

[時間データルールについて](#)

「計算エレメントについて」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

「上書きについて」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

ファイル ハンドルの設定

フラット ファイルの読み込みや書込みを行う場合は、ファイル ハンドルを設定する必要があります。ファイル ハンドルによって、使用するファイル名および文字セットがアプリケーション エンジン プログラムに指示されます。

この項では、ファイル ハンドルを割り当てる方法について説明します。

ファイル ハンドルの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「ファイル_ハンドル_JPN」ページ	GPJP_FILE_HANDL	ファイル ハンドルを割り当てます。インポートまたはエクスポートをしたい外部ファイルごとに、ハンドルを割り当てます。

「ファイル ハンドル JPN」ページ

「ファイル ハンドル JPN」ページ (GPJP_FILE_HANDL) を使用して、ファイル ハンドルを割り当てます。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」, 「製品/業務別定義」, 「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」, 「レポート」, 「ファイル ハンドル JPN」, 「ファイル ハンドル JPN」

画像: 「ファイル ハンドル JPN」ページ

次の例では、「ファイル ハンドル JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows a web interface titled "File Handles JPN". Below the title, it says "File Handle 01". There is a section labeled "Definition" containing three input fields:

- *File Name: JFH1.bt
- Description: Salary Payment EFT
- *Character Set: JIS_X0201 (with a dropdown arrow and the text "Japanese Half-width Katakana" next to it)

 At the bottom of the form, there are several buttons: "Save", "Return to Search", "Notify", "Add", and "Update/Display".

ファイル ハンドル

インポートまたはエクスポートをしたい各ファイルに、重複しない 2 文字のファイル ハンドルを割り当てます。ファイル ハンドルは、任意の英数字の組合せです。

ファイル名

ファイルにアクセスするための、ファイル名を含んだ正確なパスを指定します。使用しているオペレーティング システムでの正規の記述方法を使用します。

文字セット

そのファイルのインポートまたはエクスポートで使用される文字セットを選択します。

銀行振込みに関係するファイル ハンドルには、JIS_X0201 を選択します。

第4章

保険、税および給与明細書の設定

配布エレメントの表示

PeopleSoft では、日本用に設計されたすべての配布エレメントを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、*PeopleSoft* グローバル ペイロールで説明されています。

関連リンク

「配布エレメントの表示方法について」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

納付元事業所と保険事業所の設定

この項では、納付元事業所および保険事業所についての概要と納付元事業所および関連アクティビティの定義方法について説明します。

納付元事業所と保険事業所の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「納付元事業所テーブル JPN」ページ	GPJP_TAX_ESTAB	納付元事業所を定義します。所得税取扱い機関から組織に割り当てられた事業所番号を登録します。住所やそれぞれの事業所に関連する追加情報を指定します。
「社会保険事業所 JPN」ページ	GPJP_TAX_ESTAB2	社会保険事業所を定義します。社会保険庁から組織に割り当てられた事業所番号を登録します。住所やそれぞれの事業所に関連する追加情報を指定します。
「労働保険事業所 JPN」ページ	GPJP_TAX_ESTAB3	労働保険事業所を定義します。地方労働局から組織に割り当てられた事業所番号を登録します。住所やそれぞれの事業所に関連する追加情報を指定します。

納付元事業所と保険事業所について

納付元事業所テーブルには、所得税取扱い機関、社会保険庁、各地方労働局によって割り当てられた事業所番号が保存されています。これらの番号は、それぞれの組織全体またはその組織の一部に与えら

れます。給与計算処理を始める前に、それぞれの事業所番号を設定し、それらの追加情報を指定する必要があります。

次の各トピックでは、事業所 ID の定義方法について説明します。この後のトピックでは、これらの事業所 ID を個別の従業員に関連付ける方法について説明します。

「納付元事業所テーブル JPN」ページ

「納付元事業所テーブル JPN」ページ (GPJP_TAX_ESTAB) を使用して、納付元事業所を定義します。

所得税取扱い機関から組織に割り当てられた事業所番号を登録します。住所やそれぞれの事業所に関連する追加情報を指定します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「税」、「納付元事業所テーブル JPN」、「納付元事業所テーブル JPN」

画像: 「納付元事業所テーブル JPN」ページ

次の例では、「納付元事業所テーブル JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Tax Establishment JPN

Establishment ID KJI000000001

Establishment Information Find | View All First 1 of 1 Last

*Effective Date + -

Description Short Description

*Name of Owner

Title of Owner

Country

Address Edit Address

Tokyo-To Setagaya-Ku

Taishido 4-4-1

Phone

Estab Name

Estab Locn

Details and Options

*Calculation Method

Reference Number 1 Reference Number 2

Year-End Adjustment Options

Perform Year-End Adjustment for whom Terminated in December

Always Add Prior Employment Data

Always Print Life/Non-Life Insurance Deduction Data

詳細とオプション

計算方法

この給与支払い者、つまり所得税納付元事業所での甲種の従業員の所得税計算が、コンピュータによって計算されているのか、あるいは税表引きによって行われているのかを選択します。有効値は、「機械計算」と「表引き」です＝(注: 平成 17 年 4 月より表引きは使用できません)＝。

「整理番号 1」、「整理番号 2」

納付元事業所に関連付ける整理番号を 2 つまで入力します。この番号は電子ファイルのレポート作成で使用できます。

年末調整オプション

12 月で退職する従業員に対して年末調整を実行

このチェック ボックスは、デフォルト設定では選択が解除されています。12 月の支給日より前に雇用が終了する従業員に対して年末調整を実行する場合は、このチェック ボックスを選択します。

前職データを常に追加

このチェック ボックスは、デフォルト設定では選択されています。このチェック ボックスの選択を解除すると、年度の途中で雇用が終了する受給者が年末調整の対象外と判断された場合に、前の勤務先での給与合計、源泉徴収税、社会保険料控除額が、現在の勤務先におけるこれらの総額から除外されます。

生命保険/損害保険の控除データを常に印刷

このチェック ボックスは、デフォルト設定では選択されています。このチェック ボックスの選択を解除すると、年度の途中で雇用が終了する受給者が年末調整の対象外と判断された場合に、源泉徴収票に生命保険/損害保険の控除データが印刷されません。

「社会保険事業所 JPN」ページ

「社会保険事業所 JPN」ページ (GPJP_TAX_ESTAB2) を使用して、社会保険事業所を定義します。

社会保険庁から組織に割り当てられた事業所番号を登録します。住所やそれぞれの事業所に関連する追加情報を指定します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「社会保険」、「社会保険事業所 JPN」、「社会保険事業所 JPN」

画像: 「社会保険事業所 JPN」ページ

次の例では、「社会保険事業所 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

詳細とオプション

事業所整理記号

社会保険庁から事業所に割り当てられた番号を入力します。この値は、レポート作成で使用されます。

従業員厚生年金基金事業所番号

厚生年金基金から事業所に割り当てられた番号を入力します。

事業所番号

行政機関から割り当てられた事業所番号を入力します。

公法人

この社会保険事業所のメンバーが公法人で働いている場合は、このオプションを選択します。

このオプションが選択されており、社会保険扶養者情報テーブル (GPJP_SC_DEP_DTA) に受給者データがある場合、健康保険扶養者届を提出するように指示するフラグが資格取得届に作成されます。

厚生年金基金加入

この社会保険事業所が厚生年金基金に加入している場合は、このオプションを選択します。

このフィールドの設定と、受給者の性別によって、各種の社会保険届で使用される種別が決まります。

「労働保険事業所 JPN」ページ

「労働保険事業所 JPN」ページ (GPJP_TAX_ESTAB3) を使用して、労働保険事業所を定義します。

地方労働局から組織に割り当てられた事業所番号を登録します。住所やそれぞれの事業所に関連する追加情報を指定します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」, 「製品/業務別定義」, 「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」, 「社会保険」, 「労働保険事業所 JPN」, 「労働保険事業所 JPN」

画像: 「労働保険事業所 JPN」ページ

次の例では、「労働保険事業所 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Labor Ins Establishment JPN' form. At the top, it displays 'Establishment ID JL030000001'. The 'Establishment Information' section includes:

- *Effective Date: 04/01/2013
- Description: CarrotSoft, Tokyo
- Short Description: CarrotSoft
- *Name of Owner: Sasaki, Kiyoshi
- Title of Owner: President
- Country: JPN (Japan)
- Address: 112-8571, Tokyo-To Bunkyo-ku, Kouraku 1-7-22
- Phone: (empty field)

 The 'Details and Options' section includes:

- Labor Ins Establishment No: 1234-567890-1
- Workers Comp Ins Rate: 0.02300
- Industry Type: Industry Type A
- *Calculation Method: Computerized Method
- Round Up if >= 0.501: (checkbox)

事業所情報

事業主の肩書

事業主の肩書きを入力します。この値は、レポート作成で使用されます。

詳細とオプション

事業所番号	この事業所の労働保険事業所番号を入力します。
計算方法	この労働保険事業所での労働保険料の計算が、コンピュータによって計算されているのか、あるいは表引きによって行われているのかを選択します。有効値は、「機械計算」と「表引き」です ＝(注: 平成 17 年 4 月より表引きは使用できません)＝。
業種	この労働保険事業所が、「業種 A」、「業種 B」、「業種 B - 建設」のどれなのかを選択します。
労災保険料率	労災保険料率を入力します。
0.501 以上は切上げ	このチェック ボックスは、デフォルト設定では選択が解除されています。このチェック ボックスの選択を解除すると、雇用保険料の端数がその額に関係なく丸められます。このチェック ボックスを選択すると、受給者負担分の雇用保険料の端数が 0.501 以上の場合は端数が切り上げられ、0.501 未満の場合は切り捨てられます。

保険、税および給与明細書の設定に使用する共通フィールド

対象年度	通常は、プロセスやレポートの実行対象となる暦年を指します。対象年度とカレンダー年は一致しない場合があります。たとえば、労働保険の対象年度は、選択した年度の前年の 4 月 1 日から選択した年度の 3 月 31 日までで、住民税の対象年度は、選択した年度の 6 月 1 日から翌年の 5 月 31 日までです。
納付元事業所	会社またはその会社に属する支社などで、所得税や住民税を従業員から徴収 (控除) し、所得税取扱い機関や自治体に支払う義務を持つ団体を指します。
給与支払者	給与支払い者は、納付元事業所として定義します。
給与支払者整理番号	所得税取扱い機関から給与支払い者に割り当てられる番号です。
特別徴収義務者指定番号	自治体から給与支払い者に割り当てられる番号です。
労働保険事業所	会社またはその会社に属する支社などで、労働保険料を従業員から徴収 (控除) し、各地方労働局に支払う義務を持つ団体を指します。

社会保険事業所

会社またはその会社に属する支社などで、社会保険料を従業員から徴収 (控除) し、社会保険事務所に支払う義務を持つ団体を指します。

社会保険処理に関する設定

この項では、前提条件をリストし、社会保険料控除額の設定方法および標準報酬等級の表示方法について説明します。

社会保険データの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「標準報酬月額保険料額表 JPN」ページ	GPJP_SC_STD_REMUN	標準報酬月額表の値および等級が表示されます。
「社会保険料率 JPN」ページ	GPJP_SC_EST_DATA	社会保険料率の設定。それぞれの社会保険事業所の社会保険料率を入力します。

関連リンク

[社会保険ルールについて](#)

前提条件

社会保険料率を設定する前に、社会保険事業所を定義する必要があります。

「[納付元事業所と保険事業所の設定](#)」を参照してください。

「標準報酬月額保険料額表 JPN」ページ

「標準報酬月額保険料額表 JPN」ページ (GPJP_SC_STD_REMUN) を使用して、標準報酬月額表で値と等級を表示します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「社会保険」、「標準報酬月額保険料額表 JPN」、「標準報酬月額保険料額表 JPN」

画像: 「標準報酬月額保険料額表 JPN」ページ

次の例では、「標準報酬月額保険料額表 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Rww SI Std Remun Grades JPN

Monthly Standard Remun

Effective Date 04/01/2007

Monthly Standard Remun Amounts and Grades Personalize | Find | View All | First 1-5 of 49 Last

Lower Limit	Health Insurance Grade	Pension Insurance Grade	Monthly Stnd Health Remun	Monthly Stnd Pension Remun
0	0	0	58,000	98,000
53,000	1	0	58,000	98,000
63,000	2	0	68,000	98,000
73,000	3	0	78,000	98,000
83,000	4	0	88,000	98,000

標準報酬月額表の情報が表示されます。この表は、健康保険料および厚生年金保険料の計算で従業員の標準報酬月額および等級を決定するために使用されます。

「社会保険料率 JPN」ページ

「社会保険料率 JPN」ページ (GPJP_SC_EST_DATA) を使用して、社会保険料率を設定します。

それぞれの社会保険事業所の社会保険料率を入力します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「社会保険」、「社会保険料率 JPN」、「社会保険料率 JPN」

画像: 「社会保険料率 JPN」ページ

次の例では、「社会保険料率 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

SI Premium Rates JPN

SI Establishment Number JS05000001 CarrotSoft Setagaya

Social Insurance Premium Rates Find | View All First 1 of 1 Last

*Effective Date 01/01/2003 Round Up if >= 0.51

Employee Contribution (Salary)			
Health	Nursing Care	Pension	Pension Fund
0.04200	0.00540	0.05100	0.01800

Employee Contribution (Bonus)			
Health	Nursing Care	Pension	Pension Fund
0.04200	0.00540	0.05100	0.01800

Payer Contribution (Salary)			
Health	Nursing Care	Pension	Pension Fund
0.04210	0.00550	0.05110	0.01810

Payer Contribution (Bonus)			
Health	Nursing care	Pension	Pension Fund
0.04210	0.00550	0.05110	0.01810

給与および賞与に対する、従業員および会社の負担分の計算に使用する保険料率を入力します。

0.51 以上は切上げ

このチェック ボックスを選択すると、受給者負担分の社会保険料の端数が 0.51 以上の場合は端数が切り上げられます。このチェック ボックスの選択を解除すると、端数が 0.6 以上の場合に端数が切り上げられます。

住民税処理に関する設定

この項では、住民税処理に関する設定の概要について説明します。

住民税の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「自治体テーブル JPN」ページ	GPJP_IH_MUNIC	自治体コードを定義し、給与支払い者と関連付けます。給与支払い者ごとに、自治体から割り当てられた特別徴収義務者指定番号を登録します。
「郵便番号 JPN」ページ	POSTAL_TBL_JPN	自治体コードを郵便番号に関連付けます。

住民税処理に関する設定について

ここでは、住民税処理に関する設定方法を説明します。

1. 「自治体テーブル」ページで、自治体コードを給与支払い者整理番号および特別徴収義務者指定番号に関連付けます。
2. 「郵便番号 JPN」ページで、自治体コードを郵便番号に関連付けます。
3. PeopleSoft の住民税テーブルに直接データをロードする、各自治体の電子ファイルのファイル ハンドルを定義します。

「ファイル ハンドル JPN」ページを使用します。

住民税額を手動でロードする場合は、この手順を省略できます。

関連リンク

[住民税ビジネスプロセス処理について](#)
[ファイル ハンドルの設定](#)

「自治体テーブル JPN」ページ

「自治体テーブル JPN」ページ (GPJP_IH_MUNIC) を使用して、自治体コードを定義し、それを給与支払い者に関連付けます。

給与支払い者ごとに、自治体から割り当てられた特別徴収義務者指定番号を登録します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「税」、「自治体テーブル JPN」、「自治体テーブル JPN」

画像: 「自治体テーブル JPN」ページ

次の例では、「自治体テーブル JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

給与支払者整理番号

この自治体に関連付ける所得税納付元事業所ごとに、それぞれの給与支払い者整理番号を選択します。

特別徴収義務者指定番号

自治体によって、特別徴収のために給与支払い者に割り当てられた番号を入力します。

「郵便番号 JPN」ページ

「郵便番号 JPN」ページ (POSTAL_TBL_JPN) を使用して、自治体コードを郵便番号に関連付けます。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「インストール」、「国」、「郵便番号 JPN」、「郵便番号 JPN」

画像: 「郵便番号 JPN」ページ

次の例では、「郵便番号 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

自治体コード

この郵便番号に関連付ける自治体コードを選択します。

給与明細書の設定

この項では、給与明細書設定の概要および給与明細書、テンプレートおよび支給グループとの関連付けの定義方法について説明します。

給与明細書の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「 <u>テンプレート配置 JPN</u> 」ページ	GPJP_PP_POSVAL	給与明細書の配置の定義。給与明細書またはテンプレート上のすべてのデータの配置を、セクション、行、列を使用して、参照および定義します。
「 <u>テンプレート JPN</u> 」ページ	GPJP_PP_TEMPLATE	給与明細書の印刷に使用するテンプレートを定義します。
「 <u>支給グループ別明細書割当 JPN</u> 」ページ	GPJP_PP_PAYGROUP	支給グループと実行タイプを給与明細書テンプレートに関連付けます。

関連リンク

[配布エレメントの表示](#)

給与明細書の設定について

グローバル ペイロール (日本) を使用すると、組織での様々なニーズに合うように給与明細書を設定できます。

ここでは、給与明細書の設定方法を説明します。

1. 「[テンプレート配置 JPN](#)」ページで、給与明細書の各データ エレメントの配置を定義します。

PeopleSoft から配置リストが用意されていますが、その維持管理はユーザーが行う必要があります。必要に応じてリストに値を追加できます。

2. 「[テンプレート JPN](#)」ページで、給与明細書テンプレートを定義します。

どのエレメントをどの配置に表示させるか、テンプレートごとに指定します。

3. 「[支給グループ別明細書割当 JPN](#)」ページで、給与明細書テンプレートを支給グループと実行タイプに割り当てます。

「テンプレート配置 JPN」ページ

「[テンプレート配置 JPN](#)」ページ (GPJP_PP_POSVAL) を使用して、給与明細書の配置を定義します。

給与明細書またはテンプレート上のすべてのデータの配置を、セクション、行、列を使用して、参照および定義します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「給与明細書」、「テンプレート配置 JPN」、「テンプレート配置 JPN」

画像: 「テンプレート配置 JPN」ページ (部分)

次の例では、「テンプレート配置 JPN」ページ (部分) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows a web interface titled "Template Positions JPN". It features a table with the following columns: *Section, *Row, *Column, and Position. The table contains 18 rows of data. The first 9 rows have *Section 01 and *Row 01, with *Column values from 01 to 09. The last 9 rows have *Section 02 and *Row 02, with *Column values from 01 to 06. Each row has a unique Position ID (e.g., 010101, 010102, etc.) and control buttons (+, -, up/down arrows). The interface also includes a "Personalize" button, a "Find" search box, and "First" and "Last" navigation options. At the bottom, there are "Save" and "Notify" buttons.

*Section	*Row	*Column	Position
01	01	01	010101
01	01	02	010102
01	01	03	010103
01	01	04	010104
01	01	05	010105
01	01	06	010106
01	01	07	010107
01	01	08	010108
01	01	09	010109
01	02	01	010201
01	02	02	010202
01	02	03	010203
01	02	04	010204
01	02	05	010205
01	02	06	010206

セクション

給与明細書のセクションの番号です。たとえば、日時、支給、控除、支払いごとに別々にセクションを作成することができます。

行

セクションのデータ行です。セクションの最初の行は、常に 01 です。

列

行のデータ列です。行ごとに、列は 01 から 09 までの番号を持ちます。

配置

セクション、行、列を連結したものです。たとえば、配置が 010203 の場合、最初のセクションの 2 番目の行の 3 列目を表しています。

配置の追加

PeopleSoft では、配置リストがあらかじめ用意されています。リストに値を追加するには、2桁の数字を「セクション」、「行」、「列」の各フィールドに入力します。追加する配置のそれぞれに対し、セクション、行、列の値を必ず入力してください。ページを保存するか、「リフレッシュ」をクリックすると、「配置」フィールドが更新されます。

注: 配置リストの値を削除することは可能ですが、柔軟性を維持するために削除しないことをお勧めします。

「テンプレート JPN」ページ

「テンプレート JPN」ページ (GPJP_PP_TEMPLATE) を使用して、給与明細書の印刷に使用するテンプレートを定義します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「給与明細書」、「テンプレート JPN」、「テンプレート JPN」

画像: 「テンプレート JPN」ページ

次の例では、「テンプレート JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

給与明細書 ID

定義する給与明細書テンプレートの ID です。

略称

略称を入力しない場合、このページの保存時に、「名称」フィールドに入力された文字列の最初の 10 文字が自動的に挿入されます。

テンプレート詳細

配置

給与明細書でのフィールドの配置を選択します。

<p>入力タイプ</p>	<p>指定した配置に表示させるエレメントのタイプとして、「支給」、「控除」、「累計」または「変数」を選択します。</p> <p>分割またはスライスがある場合は、変数の最終的な値のみが表示されます。このため、累計対象となる値はすべて保存しておく必要があります。</p>
<p>エレメント名</p>	<p>選択したエレメント タイプのエレメントを選択します。</p>
<p>見出し</p>	<p>給与明細書の各データに対するラベルを指定します。見出しを入力しない場合、そのフィールドのエレメント名の最初の 10 文字が給与明細書に出力されます。</p>

「支給グループ別明細書割当 JPN」ページ

「支給グループ別明細書割当 JPN」ページ (GPJP_PP_PAYGROUP) を使用して、支給グループと実行タイプを給与明細書テンプレートに関連付けます。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「給与明細書」、「支給グループ別明細書割当 JPN」、「支給グループ別明細書割当 JPN」

画像: 「支給グループ別明細書割当 JPN」ページ

次の例では、「支給グループ別明細書割当 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



<p>支給グループ</p>	<p>このページを開くときに選択した支給グループです。複数の受給者に対し、特定の給与明細書テンプレートを指定する場合、その受給者のグループを固有の支給グループとして定義する必要があります。このページで指定されていない支給グループに対する給与明細書は作成できません。</p>
<p>実行タイプ</p>	<p>実行タイプごとに行を追加します。このページで指定されていない実行タイプに対する給与明細書は作成できません。</p>
<p>給与明細書 ID</p>	<p>実行タイプごとに、給与明細書の印刷時に使用する給与明細書テンプレートを選択します。</p>

第5章

給与および賞与の利用

給与および賞与のルールについて

PeopleSoft から配布される給与および賞与を決定するルールは、日本の法定要件およびビジネス上の要件を満たしています。この項では、いくつかの要件について確認し、ルールがこれらの要件をどのように満たすのかを一般的な用語で説明します。従業員の差引き支給額に影響する、追加の支給および控除については、別のトピックで説明します。

この項では、次の項目について概要を説明します。

- 基本給の設定。
- 超過勤務手当。
- 休暇欠勤減額。
- 賞与。
- 支給の累計。

基本給の設定

基本給の計算において、グローバル ペイロール (日本) では、PeopleSoft HR で給与レートコードを使用して定義された、従業員の給与パッケージが使用されます。基本給レート フォーミュラ ER FM BASE RATE により、従業員の基本給の給与レートコードが取得され、その従業員の支給タイプの周期に換算されます。また、その値は、基本給レート変数 ER VR BASE RATE の値を算出するために合計されます。

基本給は、従業員の支給タイプに従って個別に計算されます。従業員の支給タイプが日次または時間毎の場合は、基本給が計算されるときに時間データも使用されます。グローバル ペイロールのポジティブ入力ページで、月ごとの時間データを入力します。

関連リンク

[グローバル ペイロール \(日本\) システムの設定について](#)
[時間データ ルールについて](#)

超過勤務手当

超過勤務の割増し基礎額および割増し率に対する変数の値を定義します。従業員の割増し基礎単価は自動的に計算されます。その後、その従業員に対して入力された超過勤務時間に従って、超過勤務手当が計算されます。

システムには、次の超過勤務の割増し率に対する変数が用意されています。

- 普通。
- 休日。
- 深夜。
- 休日深夜。

注: 日本の労働基準法では、1日の労働時間は8時間以下に定められています。1日の労働時間が8時間を超えると、超過勤務手当が支払われます。超過勤務手当の割増し基礎額は25%以上です。予定労働時間を超えているが法定労働時間に達していない場合は、超過勤務手当を割増し基礎額に従って支払うかどうかは会社側の判断に委ねられます。割増し基礎額に従わない超過勤務手当は、PeopleSoftアプリケーションではサポートされません。

関連リンク

[グローバル_ペイロール_\(日本\)_システムの設定について](#)

休暇欠勤減額

減額基礎額および減額率に対する変数の値を定義します。従業員の減額基礎単価は自動的に計算されます。その後、その従業員に対して入力された休暇欠勤時間に従って、減額する金額が計算されます。

システムには、次の休暇欠勤の減額率が用意されています。

- 遅刻および早退。
- 特別休暇。
- 一般欠勤。
- 傷病欠勤。

賞与

システムには、賞与の支給エレメント ER BONUS が用意されています。ポジティブ入力を使用して、このエレメントにそれぞれの従業員の賞与額を入力します。

関連リンク

[「ポジティブ入力について」\(「PeopleSoft グローバル ペイロール」\)](#)

支給の累計

税金および保険料の処理のために、累計を使用して、それぞれの従業員に対する次の給与および賞与の金額を管理します。

- 課税対象。
- 課税対象外。
- 現金支給。
- 現物支給。
- 社会保険料の対象報酬。
- 労働保険料の対象賃金。

累計を追加して、支給のその他の詳細および合計を管理できます。

給与処理に関する設定

支給タイプが「月給」以外の従業員の給与を計算する場合は、いくつかのデータを事前に入力しておく必要があります。

1. HR に設定されている給与レートコードを、グローバルペイロール (日本) の給与レートコードにマッピングします。
2. 「カテゴリ別変数」ページで、超過勤務手当および休暇欠勤減額を計算するための変数のデフォルト値を入力または更新します。

変数	説明	カテゴリ
ER VR WRK DAYS YR	年間労働日数。	割増し/減額基礎情報
ER VR WRK HRS DAY	時間内所定労働時間。	割増し/減額基礎情報
ER VR OVR PRM RAT	普通残業時間に対する割増し率。	割増し率
ER VR HOL PRM RAT	休日残業時間に対する割増し率。	割増し率
ER VR NIG PRM RAT	深夜残業時間に対する割増し率。	割増し率
ER VR HOLN PRM RAT	休日深夜勤務時間に対する割増し率。	割増し率
ER VR TAED RAT	遅刻および早退に対する休暇欠勤減額率。	減額率
ER VR SPLE RAT	特別休暇に対する休暇欠勤減額率。	減額率
ER VR ABS RAT	一般欠勤に対する休暇欠勤減額率。	減額率
ER VR SCLE RAT	傷病欠勤に対する休暇欠勤減額率。	減額率

3. 変数のデフォルト値は、各レベルで必要に応じて、適切なサポート エlement 上書きのページで上書きします。
4. それぞれの従業員の超過勤務および休暇欠勤のデータは、ポジティブ入力を使用して入力します。

関連リンク

「給与レート コード エlement の定義」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)
[支給タイプの設定](#)

支給および控除のレポート

グローバル ペイロールでは、それぞれの従業員の支給および控除をリストできる汎用レポートが用意されています。

関連リンク

「汎用レポートについて」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

配布された給与Elementおよび賞与Elementの参照

グローバル ペイロール (日本) では、給与および賞与の計算用の支給Elementおよびプロセスリストを次のとおり提供しています。

給与および賞与の支給Element

支給	説明
ER BASE PAYM	固定的賃金 (月給)。
ER BASE PAYD	固定的賃金 (日給)。
ER BASE PAYH	固定的賃金 (時給)。
ER OT ABVLMT	月間限度を超える時間に対する超過勤務手当
ER OVERTIME	普通残業手当。
ER NIGHT	深夜勤務手当。
ER HOLIDAY	休日勤務手当。
ER HOL NIG	休日深夜勤務手当。

支給	説明
ER TAED RED	遅刻/早退による減額 (マイナス支給)。
ER SPLE RED	特別休暇による減額 (マイナス支給)。
ER ABS RED	一般欠勤による減額 (マイナス支給)。
ER SCLE RED	傷病欠勤による減額 (マイナス支給)。
ER BONUS	賞与。

給与および賞与のプロセス リスト

プロセスリスト	説明
JPRSAL	基本給与計算プロセス。
JPRBON	基本賞与計算プロセス。

関連リンク

「配布エレメントの表示方法について」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

配布エレメントの表示

PeopleSoft では、日本用に設計されたすべての配布エレメントを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、*PeopleSoft グローバル ペイロール*で説明されています。

関連リンク

「配布エレメントの表示方法について」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

第6章

時間データの管理

時間データ ルールについて

PeopleSoft から配布されている時間データを処理するルールは、日本の法定要件およびビジネス上の要件を満たしています。この項では、次について説明します。

- 超過勤務時間変数および休暇欠勤時間変数。
- 有給休暇 (PTO)。
- 配布エレメント。

超過勤務時間変数および休暇欠勤時間変数

グローバル ペイロール (日本) には、様々なタイプの超過勤務および休暇欠勤のデータを入力するための変数が用意されています。それぞれの組織で超過勤務および休暇欠勤のタイプを追加して管理したい場合は、変数を追加して作成することができます。

それぞれの支給期間で、給与計算を実行する前に従業員ごとに時間データを入力します。

関連リンク

[時間データの入力](#)

有給休暇

有給休暇の付与、繰越しおよび取得のためのルールの概要を次に示します。

有給休暇の付与

有給休暇の付与のルールは次のとおりです。

- PeopleSoft では、休暇付与をスケジュールするための一連の変数およびフォーミュラが用意されています。
それぞれの組織の休暇付与のスケジュールに適応させるために、配布されたエレメントを再定義したり、変数およびフォーミュラを追加することができます。
- 有給休暇が付与される月の配布時の設定値は、「10 月」になっています。

支給元レベル、支給グループレベルまたは受給者レベルで、この値を再定義したり、上書きすることができます。

有給休暇の繰越し

有給休暇の繰越しのルールは次のとおりです。

- 累計では、前年度および当年度に付与された有給休暇の残日数が個別に管理されています。
- 有給休暇の繰越しが発生したときに、前年度の未取得の有給休暇が時効になるかどうかは、有効期限変数 (AO VR PTO EXP FLAG) によって判断されます。

この変数の配布時の値は *Yes* です。前年度の未取得の有給休暇は、有給休暇の付与の時点で時効になります。

- 変数の値が *Yes* の場合、前年度の未取得の有給休暇は削除され (つまり、時効となり)、当年度の未取得の有給休暇のみが、前年度の未取得の有給休暇として新しい付与期間に繰り越されます。
- 変数の値が *No* の場合、前年度の未取得の有給休暇が当年度の未取得の有給休暇に累計され、この累計された値が前年度の未取得の有給休暇として新しい付与期間に繰り越されます。

有給休暇の取得

当年度の有給休暇を先に使用するのか、前年度から繰り越された有給休暇を先に使用するのかは、優先順位変数 (AO VR PR PRI FLAG) によって判断されます。この変数の配布時の値は、前年度に付与された有給休暇を先に使用するように設定されています。支給元レベル、または支給グループレベルで、この配布時の値を再定義したり、上書きすることができます。

配布エレメントの表示

PeopleSoft では、日本用に設計されたすべての配布エレメントを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、*PeopleSoft グローバル ペイロール* で説明されています。

関連リンク

「配布エレメントの表示方法について」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

時間データ入力の準備

配布された変数をそれぞれの組織のビジネス ルールに適合させるには、変数の環境設定を行う必要があります。この設定を行うと、支給期間ごとに各従業員の時間データが入力できるようになり、給与計算が実行できます。

時間データの入力

従業員の時間データは、ポジティブ入力として入力します。多数の従業員のデータを入力する場合は、「テンプレート別ポジティブ入力」ページを使用することで処理のスピードを上げられます。

ここでは、テンプレートを使用した時間データの入力方法を説明します。

1. 「ポジティブ入力テンプレート」ページで時間データの入力に使用するテンプレートを設定します。
 - 時間データが7個以上必要な場合は、複数のテンプレートを設定します。
 - 支給期間ごとに同じテンプレートを使用するか、または必要に応じてテンプレートを変更します。
2. 支給グループおよびカレンダー ID に対する各従業員の時間データは、「テンプレート別ポジティブ入力」ページで入力します。

このページに入力するときに、支給グループおよびカレンダー ID をテンプレートに関連付けます。

関連リンク

[「ポジティブ入力について」](#) (「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

時間データのレポート

グローバル ペイロールでは、それぞれの従業員の時間データおよび有給休暇残日数をリストできる汎用レポートが用意されています。

関連リンク

[グローバル ペイロール \(日本\) の汎用レポートの実行](#)

雇用終了の処理

雇用終了処理について

PeopleSoft では、死亡により雇用が終了した従業員の年末調整 (YEA) を自動的に計算するためのルールと手順を提供しています。

雇用終了判定フォーミュラ (基本給与に対する YE FM YEA ELIG、基本賞与に対する YE FM ELIG BON、および 12 月の給与と賞与に対する YE FM ELIG YE) によって、次の判断が行われます。

1. 受給者が雇用終了しているかどうか。

給与計算対象の受給者が、現在の支給期間内に雇用終了しているかどうか判断されます。

YE FM YEA ELIG では、従業員が現在の支給期間内に雇用終了しているかどうか判断されません。YE FM ELIG BON と YE FM ELIG YE では、従業員が支給日の時点で雇用終了しているかどうか判断されます。

この判断は、給与に対する給与計算の場合は期間終了日時点、賞与または 12 月の給与に対する給与計算の場合はその支給日時点の従業員の職務レコードの異動区分が *TER* (雇用終了) になっているかどうかに基づいて決定されます。

2. 最後の支給計算の時点で、受給者が年末調整計算の対象になっているかどうか。

この判断は、前の手順で選択された、異動区分が *TER* になっている従業員の職務レコードに、異動理由として *DEA* (死亡) が指定されているかどうかに基づいて決定されます。

注: フォーミュラ YE FM YEA ELIG、YE FM ELIG BON および YE FM ELIG YE を修正して新たな異動理由を追加すれば、海外赴任など、死亡以外の理由で雇用が終了する従業員の年末調整を自動的に計算できます。

フォーミュラ YE FM YEA ELIG、YE FM ELIG BON または YE FM ELIG YE から、受給者が年末調整計算の対象であることを示す値 1 が返されると、給与および賞与のプロセスリストの年末調整計算セクションが処理されます。年末調整計算セクションには、年末調整の初期処理の YE SE INIT、給与支給に対する年末調整処理の YE SE TAX ADJ SAL、賞与支給に対する年末調整処理の YE SE TAX ADJ BON があります。

配布エレメントの表示

PeopleSoft では、日本用に設計されたすべての配布エレメントを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、*PeopleSoft グローバル ペイロール*で説明されています

関連リンク

「配布エレメントの表示方法について」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

雇用終了従業員の処理

この項では、次の作業を行う方法について説明します。

- 雇用終了の職務レコードの挿入。
- 雇用終了従業員の年末調整データの管理。
- 給与計算の処理。

雇用終了の職務レコードの挿入

雇用終了の職務レコードは、受給者の最後の支給を処理する前に挿入する必要があります。

たとえば、従業員の最終勤務日が5月10日、最後の支給の支給期間が4月16日から5月15日であるとします。給与計算は5月20日に行われます。この場合は、5月20日に最後の支給が処理される前に、5月11日を有効日とする、この従業員の雇用終了の職務レコードを入力する必要があります。

雇用終了従業員の年末調整データの管理

標準の手順に従って、雇用終了従業員の税、扶養家族および年末調整の控除に関する情報を入力します。

関連リンク

[年末調整について](#)

給与計算の処理

雇用終了従業員の給与計算を処理するために特別な処理を行う必要はありません。死亡により支給期間内に従業員の雇用が終了した場合、給与に対する年末調整計算は自動的に処理されます。

賞与に対しては、支給日時点で受給者が死亡しているかどうか判断されます。死亡日が支給日と同じかそれより前の日付の場合は、年末調整計算が行われます。

ルールを修正すれば、他の雇用終了理由に対する年末調整も自動的に処理できます。

関連リンク

[雇用終了処理について](#)

雇用終了従業員の源泉徴収票の作成

この項では、雇用終了従業員の年末調整レポートデータのロード、確認方法について説明します。

雇用終了従業員の源泉徴収票の作成に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「年末調整レポートデータロード JPN」ページ	GPJP_RC_YEALOAD	雇用終了従業員の年末調整データをロードするプロセスを実行します。
「年末調整データ確認/更新 JPN」ページ	GPJP_YEA_TABLE	雇用終了従業員の年末調整データロードプロセスの結果を表示します。データを確認して、「税務署提出」チェックボックスや「摘要」フィールドを更新します。
「源泉徴収票 JPN」ページ	GPJP_RC_YEAWHRPT	雇用終了従業員の源泉徴収票を印刷します。死亡により雇用終了した従業員の最後の支給で年末調整処理が行われていた場合、源泉徴収票には年末調整の結果が出力されます。

「年末調整レポートデータロード JPN」ページ

「年末調整レポートデータロード JPN」ページ (GPJP_RC_YEALOAD) を使用して、雇用終了従業員の年末調整データをロードするプロセスを実行します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「雇用終了処理」、「年末調整レポート データ ロード JPN」、「年末調整レポート データ ロード JPN」

画像: 「年末調整レポート データ ロード JPN」ページ

次の例では、「年末調整レポート データ ロード JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

注: このページは、「年末調整」メニューからアクセスする「年末調整レポート データのロード」ページとほぼ同じです。雇用終了従業員の年末調整データをロードする場合は、「雇用終了処理」メニューからこのページにアクセスする必要があります。処理する支給のタイプにより、様々な日付と雇用終了日が比較されます。給与の場合は、期間終了日と雇用終了日が比較されます。雇用終了日が期間終了日より前の日付の場合、その従業員は雇用終了しているとみなされます。賞与の場合は、雇用終了日が支給日より前の日付だと、その従業員は雇用終了しているとみなされます。

カレンダー グループ ID

最後の給与または賞与の支給時のカレンダー グループ ID を選択します。

「ビジネスユニット」、「部門」および「従業員」は、特定のビジネスユニットや部門に所属する雇用終了従業員、または特定の従業員の年末調整レポート データを作成する場合に使用するオプションのパラメータです。

「年末調整データ確認/更新JPN」ページ

「年末調整データ確認/更新JPN」ページ (GPJP_YEA_TABLE) を使用して、雇用終了従業員の年末調整データ ロード プロセスの結果を表示します。

データを確認して、「税務署提出」チェック ボックスや「摘要」フィールドを更新します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「雇用終了処理」、「年末調整データ確認/更新JPN」、「年末調整データ確認/更新JPN」

年末調整データロードプロセスの結果を確認して、「税務署提出」チェックボックスや「摘要」フィールドを更新します。

「[「年末調整データ確認/更新JPN」ページ](#)」を参照してください。

「源泉徴収票 JPN」ページ

「源泉徴収票 JPN」ページ (GPJP_RC_YEAWHRPT) を使用して、雇用終了従業員の源泉徴収票を印刷します。

死亡により雇用終了した従業員の最後の支給で年末調整処理が行われていた場合、源泉徴収票には年末調整の結果が出力されます。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「雇用終了処理」、「源泉徴収票 JPN」、「源泉徴収票 JPN」

画像: 「源泉徴収票 JPN」ページ

次の例では、「源泉徴収票 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Withholding Tax Report JPN' interface. At the top, there are tabs for 'Run Control ID PS', 'Report Manager', and 'Process Monitor', along with a 'Run' button. Below this, the 'Language' is set to 'Japanese'. The main section is titled 'Report Request Parameter(s)' and contains several input fields with corresponding values and descriptions:

- *Salary Payer: JI0900000001 (CarrotSoft, KK)
- *Calendar Group ID: G1_GRP_NOV12_S3A (November Semi-Mo. 2012)
- Employees: All Employees (dropdown menu)
- Pay Entity: JPE01 (Tokyo Headquarters)
- Business Unit: JPN01 (Japan Business Unit)
- Location Code: KJ01 (Tokyo)
- Department: 10000 (Human Resources)
- Empl ID: (empty field)

At the bottom, the 'Sort Order' section shows three checkboxes: 'Business Unit', 'Location Code', and 'Department', all of which are currently unchecked.

注: このページは、「年末調整」メニューからアクセスする「源泉徴収票 JPN」ページとほぼ同じです。雇用終了従業員の源泉徴収票を印刷する場合は、「雇用終了処理」メニューからこのページにアクセスする必要があります。

カレンダーグループ ID

最後の給与または賞与の支給時のカレンダーグループ ID を選択します。

従業員

源泉徴収票の印刷を、すべての雇用終了従業員に対して行うか、または「年末調整データ確認/更新JPN」ページの「税務署提

出]チェック ボックスが選択されている従業員に対してのみ行うかを選択します。

「支給元」、「ビジネス ユニット」、「所在地」、「部門」および「従業員」は、雇用終了従業員のグループまたは特定の従業員を対象を絞る場合に使用するオプションのパラメータです。

「ソート基準」グループ ボックスを使用すると、ビジネス ユニット、所在地コードおよび部門でレポートをソートできます。

注: 源泉徴収票を印刷する前に、年末調整レポート データ ロード JPN プロセスを実行する必要があります。

離職証明書と 60 歳到達時等賃金証明書の管理

離職証明書について

雇用終了従業員は会社に対し、自分に代わって離職証明書を適切な職業安定所に提出するように要求できます。離職証明書が提出されると、離職票が職業安定所から会社に送られてきます。この離職票は、該当する従業員に渡す必要があります。

注: すべての職業安定所で、コンピュータ出力された離職証明書を受け付けているわけではありません。手で記入されたもののみ受け付けるところもあります。離職証明書をコンピュータ出力にするかどうかは、個別に判断する必要があります。

離職証明書は 3 つのセクションで構成されます。最初のセクションには、見出し、個人情報および労働保険事業所情報が含まれます。2 つ目のセクションには、従業員の賃金支払い状況が含まれます。3 つ目のセクションには、離職理由が含まれます。

グローバル ペイロール (日本) を使用すると、次の作業を行うことができます。

- 従業員の雇用終了の職務レコード行の追加。

注: 雇用終了の職務レコードの有効日は、従業員の離職日 (最終勤務日) の翌日の日付にする必要があります。

- 離職証明書データのロード。
- 離職証明書データの確認および更新。
- 離職証明書の作成。

配布エレメントの表示

PeopleSoft では、日本用に設計されたすべての配布エレメントを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、*PeopleSoft グローバル ペイロール*で説明されています。

関連リンク

「配布エレメントの表示方法について」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

離職証明書データのロード

この項では、離職証明書データのロードプロセスの概要について説明します。

離職証明書データのロードに使用するページ

ページ名	定義名	用途
離職証明書ロードページ	GPJP_RC_UC_LOAD	離職証明書の作成に必要な給与計算情報および勤務時間情報をロードします。
「受給者リスト - 離職証明書ロード JPN」ページ	GPJP_RC_UC_SEC	離職証明書を出力する受給者を選択します。

離職証明書データのロード プロセスについて

グローバル ペイロール (日本) では、離職証明書の作成に必要な情報を取得するプロセスが提供されています。この中には、グローバル ペイロールの結果テーブルに格納されている情報もあります。また、この他にも、手動で入力する必要のある情報や、PeopleSoft 勤務管理またはサードパーティの勤務時間管理システムなど、会社で使用している勤務時間管理システムから取得する情報もあります。

グローバル ペイロールの結果テーブルからロードされた情報、および結果テーブル以外の場所に格納されている情報の両方を格納するために、離職証明書データ テーブルと呼ばれる中間テーブルが作成されています。

ロードプロセスでは、雇用終了従業員の賃金支払い状況データをグローバル ペイロールの計算結果データから抽出し、中間レポート テーブルにロードします。

注: 賃金支払い状況データは、離職証明書データのロード プロセスによって自動的にロードされます。その後、手動で変更できます。データを再ロードする場合、手動で変更したデータを保持できます。

離職証明書データのロード プロセスでは、次のことが行われます。

1. 従業員 ID、雇用レコード番号、雇用終了日を取得します。
2. 取得した従業員データに対応する雇用日を特定します。
3. 離職証明書の対象となる、グローバル ペイロールのカレンダー ID を取得します。
4. 必要に応じて、この従業員が短時間労働者から短時間以外の労働者になった日付、またはその逆の日付を探します。

離職証明書に必要な賃金支払い状況情報の期間は従業員タイプによって変わるため、この情報は必要です。

5. 被保険者期間算定対象期間開始日および終了日のリストを作成します。

6. 離職証明書データ テーブルにロードする値を、カレンダー ID ごとに計算します。
7. 離職証明書データ テーブルにデータをロードします。

離職証明書ロード ページ

「離職証明書ロード JPN」ページ (GPJP_RC_UC_LOAD) を使用して、離職証明書の作成に必要な給与計算情報および勤務時間情報をロードします。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「雇用終了処理」、「離職証明書ロード JPN」、「離職証明書」

画像: 「離職証明書ロード JPN」ページ

次の例では、「離職証明書ロード JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

労働保険事業所

従業員の労働保険事業所番号を入力します。

ビジネスユニット

(省略可) ビジネス ユニットを入力します。

部門

(省略可) 部門を入力します。

「退職日対象期間開始日」および「終了日」

ここで指定する期間中に雇用終了日を迎える従業員がレポートに出力されます。

上書き

賃金支払い状況データは、離職証明書データのロード プロセスによって自動的にロードされます。その後、手動で変更できます。データを再ロードする場合、手動で変更したデータを保持できます。手動で更新されたデータを含め、ロード プロセスですべてのデータを上書きする場合は、このチェック ボックスを選択します。このチェック ボックスが選択されている場合、従業員データ

のロードプロセスを複数回実行すると、手動で更新されたデータは削除されます。

注:「上書き」チェック ボックス フィールドの設定にかかわらず、プロセスによって自動的にロードされた前回の賃金支払い状況データは常に、グローバル ペイロールの最新の計算結果データで上書きされます。

受給者リスト

このリンクをクリックすると、離職証明書を出力する受給者のリストのページにアクセスできます。

「受給者リスト」チェック ボックスが選択されている場合、「受給者リスト」2 次ページで 1 つ以上の従業員 ID が選択されていることを表します。このチェック ボックスの選択が解除されている場合、「受給者リスト」2 次ページで従業員 ID が選択されていないことを表します。

「受給者リスト - 離職証明書ロード JPN」ページ

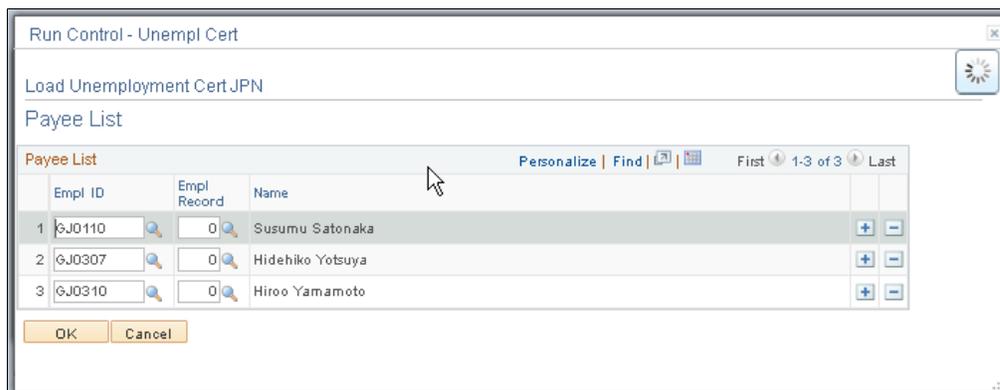
「受給者リスト - 離職証明書ロード JPN」ページ (GPJP_RC_UC_SEC) を使用して、離職証明書を出力する受給者を選択します。

ナビゲーション

「離職証明書ロード JPN」ページの「受給者リスト」リンクをクリックします。

画像: 「受給者リスト - 離職証明書ロード JPN」ページ

次の例では、「受給者リスト - 離職証明書ロード JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



従業員 ID

離職証明書を出力する受給者の従業員 ID を選択します。「受給者リスト」に登録する従業員は、「離職証明書ロード JPN」ページで定義されている条件を満たしている必要があります。これは、「受給者リスト」上の従業員は、「離職証明書ロード JPN」ページで指定された労働保険事業所および支給元に属してい

る必要があることを意味します。また、「退職日対象期間開始日」および「終了日」フィールドに入力された日付の期間に雇用終了している必要があります。

離職証明書データの確認および更新

この項では、離職証明書データの更新の概要について説明します。

離職証明書データの更新に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>「賃金支払状況」ページ</u>	GPJP_UC_WPMT_HIST	賃金支払い状況に関する情報を入力します。
<u>「離職理由」ページ</u>	GPJP_UC_RSN_TERM	離職理由についての情報を入力および確認します。

離職証明書データの更新について

ロード プロセスによって、離職証明書に必要な賃金支払い状況の情報が作成されます。しかし、この情報は離職証明書に必要な情報の一部でしかありません。離職理由など、雇用終了従業員の個人情報を入力する必要があります。この情報は、離職証明書更新 JPN コンポーネントで入力することができます。このコンポーネントでは、必要に応じて従業員の賃金支払い状況情報を入力することができます。

「賃金支払状況」ページ

「賃金支払状況」ページ (GPJP_UC_WPMT_HIST) を使用して、賃金支払い状況に関する情報を入力および確認します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「雇用終了処理」、「離職証明書更新 JPN」、「賃金支払状況」

注: 「印刷対象」フィールドの上にある、「離職証明書」グループ ボックスの最初のスクロール領域を使用して、1 人の従業員に対する複数の離職証明書データにアクセスすることができます。

離職年月日

従業員が雇用終了した日が表示されます。

注: このページで離職年月日を変更することはできません。ただし、離職年月日が正しくない場合の対応策はあります。従業員の離職年月日を変更する方法は、この後の「削除」ボタンのフィールド説明を参照してください。

印刷対象	特定の従業員に対する離職証明書データの保持のみをして印刷はしない場合は、このチェック ボックスの選択を解除します。デフォルトでは選択されています。
59 歳以上	離職証明書データのロード プロセスで、受給者が 59 歳以上であることが検証される場合、このチェック ボックスは自動的に選択されます。このチェック ボックスが選択されている場合、受給者からのリクエストに関係なく、離職証明書を職業安定所に提出する必要があります。
削除	離職証明書の離職年月日の値が正しくない場合、「削除」ボタンをクリックします。次に、従業員の職務レコードの雇用終了日を訂正します。その後、この従業員に対する離職証明書データのロード プロセスをもう一度実行します。
	<hr/> 注: この場合、離職証明書データレコードに対して行われた手動の変更内容は保持されません。この手順の終了後に、再度変更を行う必要があります。 <hr/>
「期間」タブ	
含む	この行の情報を離職証明書に出力しない場合は、選択を解除します。デフォルトでは選択されています。
カレンダー ID	このフィールドの値は、ロード プロセスによって設定されます。これは、同じ行の被保険者期間算定対象期間に該当する、GP 結果テーブルのカレンダーを検索して行われます。
短時間労働者	従業員が短時間労働者の場合は、選択します。
「被保険者期間算定対象期間開始日」、「被保険者期間算定対象期間終了日」	最初の行の「被保険者期間算定対象期間終了日」が雇用終了日です。他の行の終了日は、直前の行の終了日より 1 か月前の日付になります。「開始日」のフィールドの日付は、同じ行の開始日から終了日までの期間が 1 か月になるよう、システムによって設定されます。
算定対象期間の賃金支払基礎日数	被保険者期間算定対象期間の開始日から終了日までの日数を入力します。この情報は、従業員の支給タイプに関係なく、自動的に初期値がロードされます。この従業員の支給タイプが月給でない場合、この基礎日数を手動で入力する必要があります。
「支払対象期間開始日」、「支払対象期間終了日」	同じ行の「被保険者期間算定対象期間終了日」の日付が含まれる賃金支払い対象期間の開始日と終了日です。

賃金支払対象期間の基礎日数	賃金支払い対象期間の基礎日数は、フォーミュラ SC FM BASE DAYS によって計算され、自動的にこのフィールドにロードされます。
賃金に関する特記事項	必要に応じて、従業員の賃金についての特記事項を入力します。
最終更新者	このフィールドの値は、システムによって自動的に更新されます。プロセスが賃金支払い状況データをロードすると、このフィールドは「システム」に設定されます。ユーザーが「賃金支払状況」グリッドの外部の情報を変更すると、システムは「最終更新者」フィールドを「ユーザー」に変更します。
更新年月日	「最終更新者」フィールドの値が「システム」に設定されている場合、このフィールドにはロード プロセスが実行された日付が表示されます。「最終更新者」フィールドの値が「ユーザー」に設定されている場合、このフィールドにはデータが変更された日付が表示されます。

注: 「更新年月日」フィールドの変更は、「賃金支払状況」グリッド以外で情報が更新された場合にのみ適用されます。「賃金支払状況」グリッド上で情報を変更しても、「更新年月日」フィールドの値は変更されません。

「賃金」タブ

前に定義した共通フィールドに加えて、「賃金」タブには、次のフィールドが含まれます。

賃金額 (A)	月給者の賃金の合計額を入力します。
賃金額 (B)	日給者および時間給者の賃金の合計額を入力します。
計	「賃金額 (A)」と「賃金額 (B)」の合計額が表示されます。
備考	必要に応じて、この期間に関する注記 (無給など) を入力します。

「離職理由」ページ

「離職理由」ページ (GPJP_UC_RSN_TERM) を使用して、離職理由に関する情報を入力および表示します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」, 「雇用終了処理」, 「離職証明書更新 JPN」, 「離職理由」

画像: 「離職理由」ページ (1/3)

次の例では、「離職理由」ページ (1/3) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Reason of Termination' page for employee Sakiko Ohta. The page includes a navigation bar with 'Wage Payment History' and 'Reason of Termination' tabs. Employee information is shown at the top: Employee ID GJ0901, Empl Record 0, and Name Sakiko Ohta (Ohta, Sakiko). Below this is an 'Unemployment Certificate' section with a 'Termination Date' of 04/01/2003. The main content area is titled 'Reason of Termination' and contains a list of reasons with radio buttons and associated input fields:

- 1 Collapse of Company
 - (1) Terminated because of starting bankruptcy procedure or suspension of business transaction
 - (2) Terminated because of closing business or no perspectives of reopening the business
- 2 Mandatory Retirement or Termination of Employment Contract
 - (1) Mandatory retirement (put the retirement age)
 - Retirement Age
 - (2) Expiration of term of the employment contract determined at the time of hiring or rehiring after the mandatory retirement
 - (3) Expiration of term of the employment contract
 - Month of Each Contract
 - Total Months of Service
 - Nbr of Update of the Contract
 - Prom/Agr to Renew/Ext Contract
 - Contract Was Terminated by
 - (4) Taking an advantage of the favorable early retirement program or elective retirement program
 - (5) Intercompany transfer

画像: 「離職理由」ページ (2/3)

次の例では、「離職理由」ページ (2/3) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

3 Company's Decision

- (1) Dismissal (except Dismissal with Heavy Accusation)
- (2) Dismissal with Heavy Accusation
- (3) Application to Voluntary Early Retirement or Accession of Company's suggestion of retirement
 - (3-1) Layoff because of downsizing the business
 - (3-2) Other (put a specific reason in the Reason field below)

4 Employee's Decision

- (1) Circumstance of Workplace
 - (1-1) Issue(s) on Working Conditions such as Salary Cut, Delayed Salary Payment and Excessive Overtime Work
 - (1-2) Issue(s) on Working Conditions such as Individual Exclusion and Abuse
 - (1-3) Concerns caused by the fact that there was a large scale of layoff
 - (1-4) Difficulty to adapt the change in job description
 - Did Company gave Training:
 - (1-5) Difficulty to commute to the new location (put a brief description of old and new locations)

Old Location: New Location:
 - (1-6) Other (put a specific reason in the Reason field below)
- (2) Employee's personal Reason such as intention to change job or any other personal circumstances

画像: 「離職理由」ページ (3/3)

次の例では、「離職理由」ページ (3/3) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

5 Other (put a specific reason in the reason field below)

Reason

Statement on the situations on the termination

注: 「離職年月日」フィールドの上にある、「離職証明書」グループ ボックスの最初のスクロール領域を使用して、1 人の従業員に対する複数の離職証明書データにアクセスすることができます。

離職年月日

従業員が雇用終了した日が表示されます。

離職理由

雇用終了の理由を選択します。値は、「1. 事業所の倒産等によるもの」、「2. 定年、労働契約期間満了等によるもの」、「3. 事業主からの働きかけによるもの」、「4. 労働者の判断によるもの」および「その他」です。何を選択するかにより、さらに詳細な理由の定義が必要な場合があります。

理由	離職理由または 3. (3-2)、4. (1)(1.6) または 5 を選択する場合は、具体的な理由の説明を入力できます。
具体的状況記載欄	必要に応じて、離職の具体的な状況を追加で入力します。

離職証明書の作成

この項では、離職証明書の作成の概要と離職証明書の作成方法について説明します。

離職証明書の作成に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「離職証明書 JPN」ページ	GPJP_RC_UC_RPT	離職証明書を作成します。

離職証明書の作成について

ロード プロセスを実行して情報を取得したら、中間レポート テーブルにあるデータに基づいて離職証明書を作成できます。離職証明書には、労働保険事業所、従業員の賃金支払い状況および離職理由など、雇用終了従業員の情報が出力されます。

これらの情報は、職業安定所で配布される空白の離職証明書フォームに印刷します。

注: 雇用終了従業員が雇用保険の給付対象となるには、雇用期間など、いくつかの条件を満たす必要があります。

「離職証明書 JPN」ページ

「離職証明書 JPN」ページ (GPJP_RC_UC_RPT) を使用して、離職証明書を作成します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「雇用終了処理」、「離職証明書 JPN」、「離職証明書 JPN」

画像: 「離職証明書 JPN」ページ

次の例では、「離職証明書 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

注: このページに表示されるフィールドやパラメータ設定は、前に説明したロード プロセスで使用されているものと同じです。離職証明書データのロードと印刷の両方で同じ設定を使用する場合、同じパラメータを再入力する必要はありません。データロードの際にラン コントロール ページで定義した設定を保存して、印刷時にロード時と同じラン コントロール ID を使用できます。

関連リンク

[離職証明書データのロード](#)

60 歳到達時等賃金証明書の管理

この項では、60 歳到達時等賃金証明書の概要と次のことを実行する方法について説明します。

- 60 歳到達時等賃金証明書データのロード。
- 60 歳到達時等賃金証明書データの確認および更新。
- 60 歳到達時等賃金証明書の印刷。

60 歳到達時等賃金証明書について

雇用が終了した従業員が雇用終了前の特定期間の賃金に応じた失業保険給付を受給できるのと同様に、高齢の従業員は 60 歳になるまでの特定期間の賃金に応じた高年齢雇用継続給付を受給できます。60 歳到達時等賃金証明書と離職証明書は、どちらも受給資格を得るために必要です。これらの証明書のフォーマットは、有効日を除いては基本的に同じものです。離職証明書は、雇用終了日における情報に基づいて作成されます。60 歳到達時等賃金証明書は、従業員が 60 歳に到達したとみなされる日付における情報に基づいて作成されます。この日付は、基本的には従業員が 60 歳になる日ですが、厳密には次の両方の条件を満たすようになる最初の日付です。

- 従業員の年齢が 60 歳以上 65 歳未満であること。
- 従業員が雇用保険に登録してから少なくとも 5 年経過していること。

60 歳到達時等賃金証明書の有効日の例

受給者の誕生日が 1945 年 5 月 10 日で、雇用保険登録日が 1968 年 4 月 1 日の場合、60 歳到達時等賃金証明書の有効日は 2005 年 5 月 9 日になります。

受給者の誕生日が 1945 年 5 月 10 日で、雇用保険登録日が 2003 年 4 月 1 日の場合、この受給者は 2008 年 3 月 31 日に 60 歳に達するとみなされます。その理由は、この受給者はこの日付において前述の両方の条件を満たすためです。

60 歳到達時等賃金証明書の管理に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「60歳到達時等賃金証明書ロード JPN」ページ	GPJP_RC_UC_LOAD	60 歳到達時等賃金証明書のデータをロードします。
「60 歳時賃金証明書の更新 JPN」ページ	GPJP_RC_UC_UPD	賃金証明書情報を確認および更新します。
「60 歳到達時等賃金証明書 JPN」ページ	GPJP_RC_UC_RPT	60 歳到達時等賃金証明書を印刷します。

「60歳到達時等賃金証明書ロード JPN」ページ

「60歳到達時等賃金証明書ロード JPN」ページ (GPJP_RC_UC_LOAD) を使用して、60歳到達時等賃金証明書のデータをロードします。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「社会保険」、「60歳到達時等賃金証明書ロード JPN」、「60歳到達時等賃金証明書ロード JPN」

画像: 「60歳到達時等賃金証明書ロード JPN」ページ

次の例では、「60歳到達時等賃金証明書ロード JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

「60 歳到達日」および「終了日」 この期間中に 60 歳到達時等賃金証明書の受給資格を取得する従業員が、ロードプロセスで選択されます。

このページのその他のフィールドは、「離職証明書ロード JPN」ページのフィールドと同じです。

「[離職証明書ロード ページ](#)」を参照してください。

「60 歳時賃金証明書の更新 JPN」ページ

「60 歳時賃金証明書の更新 JPN」ページ (GPJP_RC_UC_UPD) を使用して、賃金証明書情報を確認および更新します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「社会保険」、「60 歳時賃金証明書の更新 JPN」、「60 歳時賃金証明書の更新 JPN」

「60 歳時賃金証明書の更新 JPN」ページは、「離職証明書データの確認および更新」の項で説明した「賃金支払状況」ページと同じように機能しますが、「離職年月日」フィールドのかわりに「資格取得日」フィールドが表示されます。

「[賃金支払状況](#)」ページ」を参照してください。

「60 歳到達時等賃金証明書 JPN」ページ

「60 歳到達時等賃金証明書 JPN」ページ (GPJP_RC_UC_RPT) を使用して、60歳到達時等賃金証明書を印刷します。

ナビゲーション

(「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」, 「社会保険」, 「60 歳到達時等賃金証明書 JPN」, 「60 歳到達時等賃金証明書 JPN」)。

画像: 「賃金証明書の印刷 JPN」ページ

次の例では、「賃金証明書の印刷 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Print Wage Certificate JPN' interface. At the top, there's a title and a 'Run Control ID' field containing 'PS'. To the right are buttons for 'Report Manager', 'Process Monitor', and a yellow 'Run' button. Below this is a 'Language' dropdown menu currently set to 'Japanese'. The main section is titled 'Report Request Parameter(s)' and contains several input fields with search icons: '*Labor Insurance Establishment' (JL030000006), 'Business Unit' (JCS01), 'Department' (J200), '*60 Years Old from' (01/01/2013), and '*To Date' (02/22/2013). To the right of these fields, the corresponding values are displayed: 'CarrotSoft, Yokohama', 'CarrotSoft', 'Sales Division'. At the bottom left, there is a checkbox for 'Payee List' and a 'Go To Payee List' link.

このページに表示されるフィールドやパラメータ設定は、前に説明したロード プロセスで使用されているものと同じです。離職証明書データのロードと印刷の両方で同じ設定を使用する場合、同じパラメータを再入力する必要はありません。データロードの際にラン コントロール ページで定義した設定を保存して、印刷時にロード時と同じラン コントロール ID を使用できます。

「[60 歳到達時等賃金証明書データのロード](#)」を参照してください。

60 歳到達時等賃金証明書データのロード

「60歳到達時等賃金証明書ロード JPN」ページにアクセスします（「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「社会保険」、「60歳到達時等賃金証明書ロード JPN」、「60歳到達時等賃金証明書ロード JPN」）。

画像: 「60歳到達時等賃金証明書ロード JPN」ページ

次の例では、「60歳到達時等賃金証明書ロード JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

「60 歳到達日」および「終了日」 この期間中に 60 歳到達時等賃金証明書の受給資格を取得する従業員が、ロード プロセスで選択されます。

このページのその他のフィールドは、「離職証明書ロード JPN」ページのフィールドと同じです。

「[離職証明書ロード ページ](#)」を参照してください。

60 歳到達時等賃金証明書データの確認および更新

「60 歳時賃金証明書の更新 JPN」ページは、「離職証明書データの確認および更新」の項で説明した「賃金支払状況」ページと同じように機能しますが、「離職年月日」フィールドのかわりに「資格取得日」フィールドが表示されます。

「[賃金支払状況](#)」ページ」を参照してください。

60 歳到達時等賃金証明書の印刷

「賃金証明書の印刷 JPN」ページにアクセスします(「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」, 「社会保険」, 「60 歳到達時等賃金証明書 JPN」, 「60 歳到達時等賃金証明書 JPN」)。

画像: 「賃金証明書の印刷 JPN」ページ

次の例では、「賃金証明書の印刷 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Print Wage Certificate JPN

Run Control ID PS Report Manager Process Monitor Run

Language Japanese

Report Request Parameter(s)

*Labor Insurance Establishment JLD30000006 CarrotSoft, Yokohama

Business Unit JCS01 CarrotSoft

Department J200 Sales Division

*60 Years Old from 01/01/2013 *To Date 02/22/2013

Payee List

Go To [Payee List](#)

このページに表示されるフィールドやパラメータ設定は、前に説明したロード プロセスで使用されているものと同じです。離職証明書データのロードと印刷の両方で同じ設定を使用する場合、同じパラメータを再入力する必要はありません。データロードの際にラン コントロール ページで定義した設定を保存して、印刷時にロード時と同じラン コントロール ID を使用できます。

「[60 歳到達時等賃金証明書データのロード](#)」を参照してください。

退職金の処理

退職金の処理について

退職に際し、受給者は、勤続年数、基本給、離職理由およびその他の条件などの組織の方針に基づいて、退職金を受け取ります。グローバル ペイロール (日本) では、従業員の退職金を入力して、退職時の支給に関連する所得税および住民税 (都道府県民税や市町村民税) を自動的に計算し、控除できます。また、退職所得の源泉徴収票や明細書を作成することもできます。

この項では、次について説明します。

- 退職金用の配布エレメント。
- 配布エレメントの表示。
- 控除処理ルール。
- 退職金の設定および処理。

退職金用の配布エレメント

グローバル ペイロール (日本) では、退職金を処理するために次のエレメントが配布されています。

- 支給エレメント ER RET ALW。

ポジティブ入力を通して従業員の退職金支給額を入力する際に、このエレメントを使用します。

- 累計 ER AC RET ALW EARN。

このエレメントには、退職金の支給額が格納されます。これには2つのメンバーがあります。1つは支給エレメント ER RET ALW で、ポジティブ入力によって値がロードされます。もう1つは累計 ER AC RET CUST ERN で、配布されている累計メンバーはありません。累計 ER AC RET ALW EARN のメンバーとして支給エレメントを追加すると、この累計で追加の支給を累計できます。

- 控除エレメント IN TAX RET、IH MUNIC RET および IH PREFT RET。

退職金に対する所得税、市町村民税および都道府県民税を計算するために、これらのエレメントを使用します。

- プロセス リスト JPRRET。

配布された実行タイプ エレメントに関連付けられているプロセス リストです。

配布エレメントの表示

PeopleSoft では、日本用に設計されたすべての配布エレメントを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、*PeopleSoft グローバル ペイロール*で説明されています

関連リンク

「配布エレメントの表示方法について」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

控除処理ルール

グローバル ペイロール (日本) では、退職金の支給額に対する税控除処理を次のように行います。

- 重複勤続年数や障害による退職かどうかなどを考慮したうえで、退職金の控除額を計算します。
- 退職所得控除額控除後の退職手当等の金額を計算します。この値は、ポジティブ入力で入力した退職金の支給額と、「退職金データ管理 JPN」ページで入力した同一年内の退職手当等の金額を合計し、退職所得控除額を差し引いて算出されます。
- 退職金の課税対象額を計算します。
- 退職金の課税対象額に対する所得税額を、従業員が退職所得の受給に関する申告書を提出したかどうかを考慮したうえで決定します。

注: 死亡による退職金が支給される場合は、所得税はゼロになります。

- 退職所得控除額控除後の退職手当等の金額に基づいて、住民税を決定します。

退職金の設定および処理

退職金は、不定期支給としてオフサイクル実行で処理されます。

退職金の設定と処理の大きな手順は次のとおりです。

1. 「退職金データ管理 JPN」ページで、従業員の勤続年数や退職所得の受給に関する申告書のデータを含む、退職金データを入力します。

この情報に基づいて、退職金の控除額や現在の退職金に対する税額を計算します。受給者が退職所得の受給に関する申告書を提出しているかどうかにかかわらず、この手順は行う必要があります。
2. オフサイクルのコンポーネントを使用して、受給者の現在の退職金支給額を不定期支給として入力します。
3. 必要であれば、PeopleSoft HR の人事・労務管理 JPN ビジネス プロセスの「個人情報詳細」ページで、受給者の死亡日を入力します。
4. 退職金に対するオフサイクル処理を実行します。
5. 給与明細書を印刷します。

6. 退職金源泉徴収票を作成します。

退職金データの入力

この項では、従業員の勤続年数および退職所得の受給に関する申告書データを入力する方法について説明します。

退職金データの入力に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「退職金データ管理 JPN」ページ	GPJP_RA_PYE_DATA	受給者の退職金に対する源泉徴収税額の計算に使用するデータを入力します。

「退職金データ管理 JPN」ページ

「退職金データ管理 JPN」ページ (GPJP_RA_PYE_DATA) を使用して、受給者の退職金に対する源泉徴収税額の計算に使用するデータを入力します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「受給者データ」、「雇用終了」、「退職金データ管理 JPN」、「退職金データ管理 JPN」

画像: 「退職金データ管理 JPN」ページ

次の例では、「退職金データ管理 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows a web form titled "Maintain Ret Allow Data JPN" for employee "Rebekah Jones". The form includes the following fields and controls:

- Employee Information:** Employee Name: Rebekah Jones, Empl ID: K06001, Empl Record: 0.
- Retirement Allowance Section:**
 - *Effective Date: 02/22/2013
 - Retirement by Disability
 - Retirement Income Report Submitted
 - Submit to Tax Office
 - Years of Service:** 17, with an Override checkbox.
 - *Period Begin Date: 06/15/1996
 - *Period End Date: 02/22/2013
- Former Retirement Allowance Paid in the Same Year:**
 - Earnings: [text input]
 - Years of Service: [text input]
 - Withholding Tax: [text input]
- Inhabitant Tax:**
 - Municipality Tax: [text input]
 - Prefecture Tax: [text input]
- Other Retirement Allowance Paid in Last 5 Years:**
 - Earnings: [text input]
 - Years of Service: [text input]

有効日

受給者の退職日を入力します。

死亡日

このフィールドは、人事・労務管理の「個人情報詳細」ページで、受給者の死亡日が入力されている場合にのみ、表示されます。「期間終了日」フィールドと一緒に使用されます。

障害による退職

障害による退職の場合は、このチェック ボックスを選択します。

退職所得の受給に関する申告書提出 済

退職所得の受給に関する申告書が受給者から組織に提出されている場合は、このチェック ボックスを選択します。このチェック ボックスの選択が解除されている場合、退職金の総額に対し、20 パーセントの所得税率が適用されます。

税務署提出

このチェック ボックスは、法定調書合計表の印刷時に使用されます。このチェック ボックスが選択されている場合、受給者の支給額および源泉徴収税額は税務署に提出されるものとして法定調書合計表の合計額に含められます。

勤続年数

期間開始日

デフォルト値として、「職務情報」ページで定義された受給者の採用日または再雇用日が表示されます。デフォルト値と異なる日付を入力することもできます。

期間終了日

デフォルト値として、「職務情報」ページで定義された受給者の雇用終了日が表示されます。デフォルト値と異なる日付を入力することもできます。

このページに受給者の死亡日が表示され、死亡日と期間終了日が一致する場合、退職金は受給者の死亡により支給されるものと判断され、所得税と住民税はゼロになります。また、この退職金に対しては、退職金源泉徴収票も作成されません。

勤続年数

期間開始日と期間終了日の差に基づいて、勤続年数が算出および表示されます。「上書き」チェック ボックスを使用して、このフィールドに手動で年数を入力できます。

上書き

勤続年数を手動で入力するには、このチェック ボックスを選択して「勤続年数」フィールドを編集可能にします。

同一年内の退職手当等の収入金額

従業員が退職所得の受給に関する申告書で申告したデータを、このグループ ボックスのフィールドに入力します。これらのフィールドの値は、退職金に対する税額の計算時に参照されます。

前年以前 4 年内の退職手当等の収入金額

従業員が退職所得の受給に関する申告書で申告したデータを、このグループ ボックスのフィールドに入力します。これらのフィールドの値は、退職金に対する税額の計算時に参照されます。

従業員が 2 つの異なる組織に同時に勤務している場合、退職金の控除は、勤務が重複している期間のインスタンスの 1 つに対してのみ行われます。

退職金の入力と処理

この項では、退職金の入力および処理方法を説明します。退職金の処理時には、「退職金データ管理 JPN」ページで入力した情報に基づいて、退職金に関連する所得税および住民税が自動的に計算されます。

退職金の入力および処理を行うには、次の手順に従います。

1. 次の設定を使用して、オフサイクル実行のためのカレンダーを作成します。

- 受給者オプション: 全ての受給者 - 追加条件付き。

- 追加条件: ポジティブ入力。
2. 退職金を受け取る従業員とその退職金の額を指定するオフサイクル リクエストを作成します。
 - a. オフサイクル リクエスト コンポーネント (GP_OFFCYCLE_SETUP) にアクセスして、適切な支給グループおよびターゲット期間 ID を選択します。
 - b. 基本情報ページで、名称および支給日を入力します。
 - c. 不定期支給ページの「期間」タブで、退職金を受け取る従業員ごとに行を入力します。
 - d. 不定期支給の関連データリンク タブで、PI ターゲット カレンダー列のリンクをクリックして、従業員の「ポジティブ入力」ページにアクセスします。
 - e. 「ポジティブ入力」ページの「アクション」タブで、退職金用に配布された支給エレメント/ER RET ALW)を選択し、アクション タイプの「上書き」を指定します。

注: 累計 ER AC RET CUST ERN を変更して、ER RET ALW の他にも支給エレメントが追加されている場合、必要に応じて、これらの支給エレメントの金額も入力します。

- f. 「ポジティブ入力」ページの「メイン コンポーネント」タブで、退職金用の ER RET ALW の金額を入力します。
 - g. d から f までの手順を、退職金を受け取る従業員ごとに繰り返します。
3. カレンダー グループ コンポーネント (GP_CALENDAR_RUN) を使用して、オフサイクル カレンダー グループを作成します。

オフサイクル カレンダー グループの作成では、「オフサイクル」チェック ボックスを選択して、支給グループ、期間 ID、および処理を行うオフサイクル グループを指定します。
4. プロセスを実行します。

オフサイクル処理を実行するには、「給与計算 - 休暇欠勤」ページを使用します。

関連リンク

[オフサイクル処理について](#)

退職金明細書の設定

退職金用の給与明細書テンプレートを作成することができます。支給グループごとにこのテンプレートに対し、退職金のための実行タイプを割り当てます。詳細は、「[配布エレメントの表示](#)」を参照してください

退職金源泉徴収票の実行

この項では、退職金源泉徴収票の概要とレポートの実行方法について説明します。

退職金源泉徴収票の実行に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「退職金源泉徴収票 JPN」ページ	GPJP_RA_WH	退職金の源泉徴収税額を出力するファイルを作成します。

退職金源泉徴収票について

退職金源泉徴収票は、カンマ区切りフォーマット (csv) のファイルで、受給者の退職金の源泉徴収税額が出力されます。レポートには、各受給者の氏名、住所、退職金支給額、所得税額、市町村民税額、都道府県民税額が出力されます。また、従業員の勤続年数、採用日、退職日、および自治体コードも出力されます。**=**自治体コードはソートに使用するための参考情報です。**=**受給者の死亡によって支給された退職金は出力されません。

このファイルは、Microsoft Excel で編集および印刷できます。

前提条件

退職金源泉徴収票を作成するには、このファイルにアクセスするための、ファイル名を含んだ正確なパスを指定するファイル ハンドルをあらかじめ作成しておく必要があります。

関連リンク

[配布エレメントの表示](#)

「退職金源泉徴収票 JPN」ページ

「退職金源泉徴収票 JPN」ページを使用して、退職金の源泉徴収税額を出力するファイルを作成します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「雇用終了処理」、「退職金源泉徴収票 JPN」、「退職金源泉徴収票 JPN」

第10章

通勤手当の管理

通勤手当について

PeopleSoft から配布されている通勤手当を処理するルールは、日本の法定要件およびビジネス プロセスの要件を満たしています。この項では、いくつかの要件について確認し、ルールがこれらの要件をどのように満たすのかを一般的な用語で説明します。後の項で、それらのルールの個別のエLEMENTについて説明します。

この項では、次について説明します。

- 通勤手当の周期。
- 現金通勤手当および現物通勤手当。
- 通勤手当の入力方法。
- 課税通勤手当および非課税通勤手当。
- 複数雇用レコードに対する通勤手当。
- 配布された通勤手当支給ELEMENT。

通勤手当の周期

グローバル ペイロール (日本) では、1 日、1 か月、3 か月および 6 か月の支給サイクルの通勤手当の支給に対応しています。

- 支給サイクルが 1 日の場合、通勤手当の 1 か月の支給額として、日額に出勤日数を掛け合わせた金額が支給されます。
- 支給サイクルが 1 か月の場合、通勤手当の 1 か月の支給額として、入力された月額が支給されます。
- 支給サイクルが 3 か月または 6 か月の場合、実際の支給が行われるのは 3 か月または 6 か月に 1 回のみです。ただし、報酬月額を計算するために、現金通勤手当および現物通勤手当は、月額に比例配分して管理されます。

支給の周期は、データ入力方法によって変わります。総額登録方法の場合、従業員の通勤手当の構成要素はすべて、同じ周期で支給する必要があります。区間単位登録方法の場合、通勤区間ごとに周期を指定して支給できます。

現金通勤手当および現物通勤手当

PeopleSoft では、従業員の通勤手当の構成要素に対する値を入力するページが用意されています。構成要素には次のものがあります。

- 現金支給運賃。
- 現金支給通行料等。
- 現物支給運賃。
- 現物支給通行料等。

アレイ CM AR COMM ALLOW によって、これらの値が適切な変数に割り当てられます。

入力された現物支給の値は、所得税および報酬月額計算のためだけに使用されます。現物支給の金額は、支給として支払われる金額には加算されません。

通勤手当の入力方法

グローバル ペイロール (日本) では、総額または通勤区間ごとに通勤手当を保存できます。支給サイクルに基づいて通勤手当を1つに合計したり (総額登録方法)、通勤区間に基づいて通勤手当の金額を分けて (区間単位登録方法)、従業員の通勤手当を入力できます。

入力方法は、支給サイクルおよび税額の計算に影響します。総額登録方法を選択した従業員の場合、支給サイクルを1つのみ指定します。通勤手当はすべて、この支給サイクルで支給されます。

区間単位登録方法を選択した従業員の場合、通勤区間ごとに支給サイクルを1つずつ指定します。

課税通勤手当および非課税通勤手当

所得税の計算のために、課税通勤手当および非課税通勤手当の金額を管理する必要があります。通勤手当総額 (運賃および通行料等) の法定非課税金額 (非課税限度額) は、すべての従業員で同額です。この金額は、変数 CM VR NTAX ALW MX に格納されています。

支給サイクルが3か月または6か月の場合、全期間に対する非課税限度額が計算され、その全期間に対する通勤手当金額にこの限度額が適用されます。

総額登録入力方法

通行料等非課税限度は、従業員ごとに異なります。「通勤手当 JPN」ページで、この値を入力します。

グローバル ペイロール (日本) では、運賃と通行料等の金額は分けて管理されます。まず、個別の限度額を適用して通行料等非課税額が計算されます。次に、この値を使用して、通勤手当の課税額および非課税額の合計金額が算出されます。

区間単位登録入力方法

区間単位登録入力方法を使用する場合、通勤手当はすべて非課税とみなされます。1 か月の合計額が非課税かどうかの判断は、ユーザーの側に委ねられています。従業員の通勤手当が非課税限度月額を超えそうな場合や、グリーン運賃などの課税通勤手当が含まれる場合は、総額登録入力方法を使用します。

複数雇用レコードに対する通勤手当

グローバル ペイロール (日本) では、複数雇用レコード機能をサポートしています。複数の雇用レコード、つまり複数の職務を持つ従業員の場合、通勤手当は、従業員ごとではなく雇用レコードごとに計算されます。同様に非課税限度月額も、次の例で説明されているように、従業員ごとではなく職務ごとに適用されます。

通常の例

従業員 Yuko Yoneda に対し、140,000 円の通勤手当を支給します。この従業員の雇用レコード番号は 1 つのみです。非課税限度月額はこの雇用レコード番号に対して適用され、100,000 円が非課税となり、40,000 円が課税となります。

複数雇用レコードの例

Kimi Kubota には、雇用レコード番号 1 と 2 の、2 つの雇用レコードがあります。雇用レコード番号 1 に対し、60,000 円の通勤手当が支給されます。雇用レコード番号 2 に対し、80,000 円の通勤手当が支給されます。非課税限度月額は雇用レコード番号ごとに適用されるので、通勤手当はすべて非課税となります。Kimi Kubota は、前の例の Yuko Yoneda と同額の通勤手当を受け取っていることに注意してください。それぞれの支給額が非課税限度月額を超えていないため、Kimi Kubota の通勤手当はすべて非課税になります。

配布された通勤手当支給エレメント

支給エレメント	説明
CM TAX ALW	課税通勤手当。
CM NTAX ALW	非課税通勤手当。
CM TAX ADJ	課税調整通勤手当。
CM NTAX ADJ	非課税調整通勤手当。

PeopleSoft では、日本用に設計されたすべての配布エレメントを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、*PeopleSoft グローバル ペイロール*で説明されています。

関連リンク

「配布エレメントの表示方法について」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

通勤手当データの入力

この項では、通勤手当データの設定の概要について説明します。

通勤手当データの入力に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「通勤手当 JPN」ページ	GPJP_CM_PYE_DATA	通勤手当データを入力します。従業員ごとに、総額または通勤区間別にデータを定義します。

通勤手当データの設定

給与計算で通勤手当を処理できるようにするには、通勤手当の非課税限度月額を入力し、従業員ごとに通勤手当金額を定義する必要があります。

- 現在の通勤手当の法定非課税限度月額を、「カテゴリ別変数」ページで更新します。これは、法定限度額に変更があった場合にのみ行います。
 - PeopleSoft では、100,000 円のデフォルト値で変数 CM VR NTAX ALW MX を配布しています。
 - 「カテゴリ別変数」ページにアクセスするときは、カテゴリ *CMTX* を選択します。
 - 変数 CM VR NTAX ALW MX の新しい値は、「カテゴリ別変数」ページの「値」タブで入力します。
- 従業員ごとの通勤手当データを、「通勤手当」ページで入力します。

関連リンク

「控除エレメントの定義」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

「通勤手当 JPN」ページ

「通勤手当 JPN」ページ (GPJP_CM_PYE_DATA) を使用して、通勤手当データを入力します。

従業員ごとに、総額または通勤区間別にデータを定義します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「受給者データ」、「支給と控除の割当」、「通勤手当 JPN」、「通勤手当 JPN」

画像: 「通勤手当 JPN」ページ

次の例では、「通勤手当 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Commuting Allowance JPN' page for employee Rebekah Jones (Empl ID: K0G001). The page includes a search bar with 'Find | View All' and pagination 'First 1 of 1 Last'. The main form area contains the following fields and controls:

- *Effective Date: 02/22/2013
- *Data Input Method: Amount
- Pay Cycle: 1 Month
- Maximum Non-Taxable Toll: Monthly Amount
- Amount and Remarks table:

Amount	Remarks
Cash Fare: 10,000	JR Teiki
Non-Cash Fare	
Cash Toll	
Non-Cash Toll	

雇用レコード (雇用レコード番号)

この通勤手当が適用される雇用レコード番号が表示されます。非課税限度月額、従業員ごとではなく雇用レコード番号ごとに適用されます。

データ入力方法

「金額」を選択すると、「総額登録」グループ ボックスにアクセスできます。

支給サイクル

この従業員に対する通勤手当の周期を、「1日」、「1か月」、「3か月」、「6か月」から選択します。通勤手当のすべてのコンポーネントは、同じ支給サイクル周期である必要があります。

金額

「現金運賃」、「現物運賃」、「現金通行料等」、「現物通行料等」の各フィールドに通勤手当の金額を入力します。

運賃とは、従業員の通勤にかかる最も合理的な通勤費用のみをいい、通常は公共の交通手段の費用を指します。通行料等は、運賃以外のすべての通勤手当に適用されます。これには、定期券代、ガソリン代、通行料およびグリーン運賃などがあります。

備考

交通手段、経路などの、その通勤手当項目に対する備考を入力します。このフィールドは参照用の情報になります。

通行料等非課税限度月額

月額

従業員ごとに個別の基準でこの値を決めます。

通勤区間による通勤手当の入力

「通勤手当 JPN」ページにアクセスします（「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「受給者データ」、「支給と控除の割当」、「通勤手当 JPN」、「通勤手当詳細」）。

画像: 通勤手当詳細 JPN ページ

次の例では、通勤手当詳細 JPN ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Commuting Allowance JPN' page for employee Rebekah Jones (Empl ID: K00001). The form includes the following fields and controls:

- Employee Information:** Rebekah Jones, Employee, Empl ID: K00001, Empl Record: 0.
- Commuting Allowance Section:**
 - *Effective Date: 02/22/2013
 - *Data Input Method: Amount
 - Total Amount Entry section:
 - Pay Cycle: 1 Month
 - Maximum Non-Taxable Toll: Monthly Amount (input field)
 - Table with columns: Amount, Remarks.

Amount	Remarks
Cash Fare: 10,000	JR Teiki
Non-Cash Fare: (input field)	(input field)
Cash Toll: (input field)	(input field)
Non-Cash Toll: (input field)	(input field)

雇用レコード (雇用レコード番号)

この通勤手当が適用される雇用レコード番号が表示されます。非課税限度月額は、従業員ごとではなく雇用レコード番号ごとに適用されます。

データ入力方法

「区間単位」を選択すると、「区間単位登録」グループ ボックスにアクセスできます。

支給開始日

この通勤手当が支給される最初の日付を入力します。そうすると、支給サイクルに基づいて通勤手当が計算されます。たとえば、6 か月の支給サイクルで 1 月 1 日に支給が開始される区間では、1 月と 7 月に通勤手当が支給されます。

支給サイクル

この通勤経路に対する通勤手当の周期を、「1 日」、「1 か月」、「3 か月」、「6 か月」から選択します。経路セクションごとに支給サイクル周期が異なってもかまいません。

支給方法

「現金」または「現物」のどちらかを選択します。

支給タイプ

「運賃」または「通行料等」を選択します。運賃とは、従業員の通勤にかかる最も合理的な通勤費用のみをいい、通常は公共の

	交通手段の費用を指します。通行料等は、運賃以外のすべての通勤手当に適用されます。これには、定期券代、ガソリン代、通行料およびグリーン運賃などがあります。
金額	支給サイクルごとに支給される通勤手当の金額を入力します。
「出発地」および「到着地」	通勤区間の出発地と到着地を入力します。
説明	通勤区間に対する備考を入力します。

支給期間中の通勤手当の変更に対する調整

3 か月分または 6 か月分の通勤手当を受け取った後に、従業員の通勤経路が変わることがあります。この場合、その期間の残りの月に対して、前払いとして支給された通勤手当の未使用部分を調整する必要があります。

支給済の通勤手当を調整するには、次の手順に従います。

1. 調整金額を計算し、グローバル ペイロールの計算にポジティブ入力として入力します。

調整金額の合計額は、その従業員が会社に返済する必要のある金額になります。この金額は、前払いで支給された、以前の通勤区間に対する通勤手当の未使用部分に相当します。

PeopleSoft では、通勤手当の調整額の課税部分および非課税部分をポジティブ入力として入力するために、2 つの支給エレメントが配布されています。

2. その従業員の新しい通勤区間に対する通勤手当の値を「通勤手当」ページで入力し、返済処理を行った月に対し、通常どおりの処理を続けます。

通勤手当の調整の例

1 月に、ある従業員に 3 か月分の定期券代として 360,000 円を支給したとします。2 月末に、その従業員が転勤になりました。1 か月分 (3 月分) の定期券代 120,000 円を会社に返済する必要があります。

前払いで支給された 3 月分の返済処理を行うには、次の例のようにします。

1. ポジティブ入力で次の金額を入力します。

支給エレメント	説明	この例での値
CM TAX ADJ	課税調整通勤手当。	-20,000 円
CM NTAX ADJ	非課税調整通勤手当。	-100,000 円

累計 CM AC ADJUST の調整額の合計は、-120,000 円になります。

- その後、「通勤手当」ページで、この従業員の3月分の新しい通勤手当を入力し、通常どおり処理します。

関連リンク

「ポジティブ入力について」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

マイナンバーの実装

マイナンバー法について

日本政府より、日本国内の行政手続きで使用される ID 番号システムを構築するための新しい法律の制定が発表されています。

マイナンバー システムは、複数の行政機関によって別々に収集および保持されている個人情報を実効的に識別し、日本国内における課税および社会福祉の管理をより効率的かつ公正なものにすることを目的としています。

マイナンバー法では、日本の国民および法人に、所得、社会保障、税および防災対策を管理するための一意の番号が割り当てられます。日本政府は、住民票を有する個人に対し、2015 年 10 月より一意の番号を割り当て、2016 年 1 月にこのシステムを開始します。個人番号は 12 桁の数字で構成されます。同時に、政府は各法人に対して、13 桁の数字で構成される一意の法人番号を割り当てます。人材管理および財務部門は、従業員およびサプライヤからマイナンバーを収集し、この番号を保存して、政府に提出するための更新済レポートを作成します。

マイナンバー導入の第 1 フェーズとして、PeopleSoft では従業員と扶養家族の両方のマイナンバーおよび民間企業のマイナンバーを保存、管理するためのオンライン システムを提供しています。

この項では、次の項目の概要を説明します。

- アプリケーションレベルの暗号化の設定。
- 個人番号セキュリティの設定。
- 従業員のマイナンバーの実装。
- 扶養家族のマイナンバーの実装。
- 法人番号の実装。
- セルフ サービスの計画。
- 個人番号の一括アップロードの有効化。

アプリケーションレベルの暗号化の設定

最初の手順は、扶養家族を含めた全従業員に対し、アプリケーションレベルの暗号化を有効または無効にすることです。

アプリケーション レベルの暗号化の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
アプリケーションレベルの暗号化ページ	INSTALLATION_TBL3	マイナンバーのアプリケーションレベルの暗号化を有効または無効にします。デフォルトでは、暗号化は有効になっています。

アプリケーション レベルの暗号化ページ

アプリケーションレベルの暗号化 (INSTALLATION_TBL3) ページを使用して、マイナンバーのアプリケーションレベルの暗号化を有効または無効にします。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」, 「インストール」, 「インストール テーブル」

画像: アプリケーションレベルの暗号化ページ

次の例では、アプリケーションレベルの暗号化ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

個人番号暗号化

暗号化を有効にする場合は選択し、無効にする場合は選択を解除します。

個人番号セキュリティの設定

個人番号セキュリティは、既存の行レベルセキュリティに優先して機能します。新しい権限リスト HCCPHRMYNUMBER を持つユーザーのみが、個人番号セキュリティ コンポーネントにアクセスできます。

スーパー ユーザーはこのコンポーネントを使用して、個人番号のセキュリティを設定します。セキュリティは、ユーザー ID またはロールのいずれかに対して定義できます。

個人番号セキュリティの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「個人番号セキュリティの設定」ページ	HR_PERSNO_SEC_JPN	セキュリティを定義します。

「個人番号セキュリティの設定」ページ

「個人番号セキュリティの設定」(HR_PERSNO_SEC_JPN) ページを使用して、セキュリティを定義します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」, 「製品/業務別定義」, 「人事・労務管理」, 「従業員データ JPN」, 「個人番号セキュリティ」

画像: 「個人番号セキュリティの設定」ページ

次の例では、「個人番号セキュリティの設定」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

デフォルトの行セキュリティでアクセス デフォルトの行レベル セキュリティ アクセスを有効にする場合に選択します。

このユーザーまたはロールは、既存の行レベル セキュリティに基づいた従業員の個人番号へのフル アクセスが可能になります。

事業所タイプ

ユーザーまたはロールの事業所タイプを選択します。

このユーザーまたはロールは、選択した事業所に属する全従業員の個人番号へのフル アクセスが可能になります。リストには、労働保険事業所、社会保険事業所および納付元事業所が含まれます。

追加従業員リスト

個人番号へのアクセス権限を上書きする必要のある従業員を選択します。

従業員の個人番号へのアクセス権限はここで上書きできます。

フル アクセス

ユーザーまたはロールの自身の個人番号への編集アクセスを定義する場合に選択します。ユーザーは、個人番号を更新または削除できます。

表示アクセス

ユーザーまたはロールの自身の個人番号への表示アクセスを定義する場合に選択します。ユーザーは、個人番号を更新または削除できません。

アクセスなし

ユーザーまたはロールの個人番号へのアクセスをマスクします。

注: ユーザーまたはロールは、個人データ コンポーネントへの行レベル アクセスが可能な場合でも、デフォルトでは従業員の個人番号にアクセスできません。ユーザーまたはロールに個人番号へのアクセスが必要な場合は、前述のコンポーネントで、ユーザーまたはロールの行を追加する必要があります。1 人のユーザーが複数のロールを持つことができ、それらの各ロールがコンポーネント内に 1 つの行を持つことができるため、セキュリティ設定を評価することが重要です。ある従業員にロール 1 で「フル アクセス」が付与されており、同じ従業員にロール 2 で「アクセスなし」が付与され、ユーザー A にロール 1 およびロール 2 の両方がタグ付けされている場合は、「アクセスなし」が優先されます。

従業員のマイナンバーの実装

この項では、個人番号カードの有効期限を管理し、従業員の証明書類をアップロードするために使用するページについて説明します。

従業員のマイナンバーの実装に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「個人情報の更新」ページ	PERSONAL_DATA1	ユーザーにフル アクセスがある場合、個人番号を入力します。
「個人番号 JPN」ページ	HR_PERSNO_JPN	有効期限を入力し、システムに証明書類をアップロードします。

「個人情報の更新」ページ

ユーザーにフル アクセスがある場合、「個人情報の更新」(PERSONAL_DATA1) ページを使用して、個人番号を入力します。

ナビゲーション

「人事・労務管理」、「個人情報」、「一般情報」、「個人情報の更新」

画像: 「個人情報の更新」ページ

次の例では、「個人情報の更新」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

The screenshot shows a web interface for updating personal information. At the top, there are tabs for 'Biographical Details', 'Contact Information', and 'Regional'. The user's name is 'Hiromi Goto' and their Person ID is 'KJ1004'. Below this, there are sections for 'Biographic Information' and 'Biographical History'. The 'Biographic Information' section includes fields for Date of Birth (12/31/1957), Date of Death, Birth Country (JPN), Prefecture, and Birth Location. The 'Biographical History' section includes fields for Effective Date (04/01/1990), Gender (Female), Highest Education Level (C-HS Graduate or Equivalent), Marital Status (Single), Language Code, and Alternate ID. At the bottom, there is a table for National ID information.

*Country	*National ID Type	National ID	Primary ID
JPN	Personal Number	XXXXXXXXXXXX	<input checked="" type="checkbox"/>

管理者は、「個人情報」ページで個人番号を国民 ID として入力できます。個人番号は、アプリケーションレベルの暗号化の後 (暗号化が有効な場合)、新しい PS_PERS_NID_JPN レコードに保存されます。

「個人番号 JPN」ページ

「個人番号 JPN」(HR_PERSNO_JPN) ページを使用して、有効期限を入力し、システムに証明書類をアップロードします。

ナビゲーション

「人事・労務管理」、「個人情報」、「一般情報」、「個人番号 JPN」

画像: 「個人番号 JPN」ページ

次の例では、「個人番号 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

The screenshot shows a web interface for an employee named Bunji Asano (Person ID KJ1001). The page has two tabs: 'Employee' and 'Dependents'. Under the 'Employee' tab, there is a section for 'Personal Information' with a 'Personal Number' field containing '123456781001' and an 'Expiry Date' field with a calendar icon. Below this is a table titled 'Documents of Proof' with columns for 'Attached File' and 'View Attachment'. The table contains two rows: '1 DummyFile01_-_ Copy.txt' and '2 DummyFile01.txt'. At the bottom of the table is an 'Add Attachment' button.

扶養家族のマイナンバーの実装

従業員の個人番号へのアクセス権があるユーザーは、従業員の扶養家族へのアクセス権があります。個人番号は、扶養家族情報ページで NID として追加できます。

データはアプリケーションレベルの暗号化の後、新しい HR 日本所有の PS_PERS_DNID_JPN レコードに保存されます。

扶養家族のマイナンバーの実装に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「扶養家族情報」ページ	DEPEND_BENEF2	個人番号を国民 ID として入力します。
「個人番号 JPN」ページ	HR_PERSNO_JPN	扶養家族の有効期限および証明書類を追加します。

「扶養家族情報」ページ

「扶養家族情報」(DEPEND_BENEF2) ページを使用して、個人番号を扶養家族の国民 ID として追加します。

ナビゲーション

「人事・労務管理」, 「個人情報」, , 「個人情報」, 「扶養家族情報」

画像: 「扶養家族情報」ページ

次の例では、「扶養家族情報」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Name		Address		Personal Profile	
Laura Davenport		Person ID K0LD03			
Dependent/Beneficiaries		Find View All		First 1 of 5 Last	
*Dependent/Beneficiary ID		01			
Name History		Find View All		First 1 of 1 Last	
Effective Date	02/01/1999				
Format Type	English				
Display Name	Eric Davenport				
View Name					

「個人番号 JPN」ページ

「個人番号 JPN」(HR_PERSNO_JPN) ページを使用して、有効期限を入力し、システムに証明書類をアップロードします。

ナビゲーション

「人事・労務管理」, 「個人情報」, 「一般情報」, 「個人番号 JPN」

画像: 「個人番号 JPN」ページ

次の例では、「個人番号 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

The screenshot displays the 'Dependents' section for an employee named Bunji Asano (Person ID KJ1001). The page is divided into several sections:

- Dependent Details:** Shows 'Dependent/Beneficiary ID 01 aa bb', 'Personal Number 192837465011', and an 'Expiry Date' field with a calendar icon. A 'Dependent Information' link is also present.
- Documents of Proof:** A table with one row containing the number '1' and an 'Attached File' column with a trash icon. Above the table are links for 'Personalize', 'Find', and a grid icon, along with navigation controls 'First', '1 of 1', and 'Last'. An 'Add Attachment' button is located below the table.
- Footer:** Includes 'Save', 'Return to Search', and 'Notify' buttons, and a breadcrumb link 'Employee | Dependents'.

法人口座番号の実装

納付元事業所、社会保険事業所および労働保険事業所用の法人口座番号があります。

1. 「納付元事業所」ページにナビゲートして、法人口座番号が 13 桁かどうかを確認します。
2. 「社会保険事業所」ページにナビゲートして、社会保険番号を確認します。
3. 「労働保険事業所」ページにナビゲートして、労働保険番号を確認します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」, 「製品/業務別定義」, 「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」, 「税」, 「納付元事業所テーブル JPN」

ナビゲーション

「HCM 基本設定」, 「製品/業務別定義」, 「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」, 「社会保険」, 「社会保険事業所 JPN」

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「社会保険」、「労働保険事業所 JPN」

関連リンク

納付元事業所と保険事業所の設定

セルフ サービスの計画

従業員は、セルフ サービスを使用して、個人番号と有効期限および扶養家族を管理できます。特定の従業員の個人番号がシステムにない場合は、編集オプションを有効にするか、またはオプションを無効にして、それ以降は人事部門担当者のみが更新する権限を持つようにします。

また、従業員が証明書類をアップロードするオプションもあります。

セルフ サービスの計画に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「個人番号 JPN」ページ	HR_ESS_PER_NBR_JPN	セルフ サービスを使用して、自分と扶養家族の個人番号を表示します。
「従業員個人番号」ページ	HR_PERSONAL_NM_JPN	セルフ サービスを使用して、従業員個人番号を編集します。
「扶養家族個人番号」ページ	HR_PERSONAL_DP_JPN	セルフ サービスを使用して、扶養家族個人番号を編集します。

「個人番号 JPN」ページ

「個人番号 JPN」(HR_ESS_PER_NBR_JPN) ページを使用して、従業員と扶養家族の個人番号情報を表示します。

ナビゲーション

「セルフサービス」、「個人情報」、「個人番号 JPN」

画像: 「個人番号 JPN」ページ

次の例では、「個人番号 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。



Personal Number Japan

Betty Locherty

Personal Number Japan					
	Person Type	Name	Personal Number	Expiry Date	Edit Details
1	Employee	Betty Locherty			
2	Dependent	Erik Mathers			

Save



「従業員個人番号」および「扶養家族個人番号」ページに移動する場合に選択します。

「従業員個人番号」ページ

「従業員個人番号」(HR_PERSONAL_NM_JPN) ページを使用して、従業員の個人番号情報を編集します。

ナビゲーション

「セルフサービス」、「個人情報」、「個人番号 JPN」

「編集」アイコンを選択して、「従業員個人番号」ページに移動します。

画像: 「従業員個人番号」ページ

次の例では、従業員個人番号 JPN ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Employee Personal Number
Betty Locherty

Employee Details

Personal Number

Expiry Date

Documents of Proof

	File Attachment	View Attachment	
1	My_Number.txt	View Attachment	

[Add Attachment](#)

[OK](#) [Cancel](#)

「扶養家族個人番号」ページ

「扶養家族個人番号」(HR_PERSONAL_DP_JPN) ページを使用して、セルフ サービスによって扶養家族個人番号を編集します。

ナビゲーション

「セルフサービス」、「個人情報」、「個人番号 JPN」

「編集」アイコンを選択して、「扶養家族個人番号」ページに移動します。

画像: 「扶養家族個人番号」ページ

次の例では、「扶養家族個人番号」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Dependent Personal Number

Betty Locherty

Dependent Details

Dependent ID 01 Erik Mathers

Personal Number

Expiry Date

Documents of Proof

	Attached File
1	

Add Attachment

OK Cancel

個人番号の一括アップロードの有効化

一括アップロード機能は、大人数の従業員グループのデータを変更するために使用します。

多数の従業員および従業員の扶養家族の個人番号をアップロードできます。

個人番号の一括アップロードの有効化に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「個人番号の一括アップロード」ページ	HR_PERSNO_MUPL_JPN	従業員と扶養家族またはすべての従業員の個人番号をアップロードし、一括アップロードを実行します。
「個人番号の確認/最終決定」ページ	HR_PERSN_MUPL2_JPN	従業員と扶養家族のデータを確認および変更し、データを最終決定します。

「個人番号の一括アップロード」ページ

「個人番号の一括アップロード」ページ (HR_PERSNO_MUPL_JPN) を使用して、すべての従業員の従業員 ID と個人番号をシステムにアップロードします。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」, 「製品/業務別定義」, 「人事・労務管理」, 「従業員データ JPN」, 「個人番号の一括アップロード」

画像: 「個人番号の一括アップロード」ページ

次の例では、「個人番号の一括アップロード」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

添付の追加

添付ファイルを .csv 形式でアップロードして、従業員の個人番号情報を含むファイルをアップロードする場合に選択します。

「個人番号の確認/最終決定」ページ

「個人番号の確認/最終決定」 (HR_PERSN_MUPL2_JPN) ページを使用して、従業員と扶養家族の個人データ コンポーネントにアップロードされるデータを最終決定します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」, 「製品/業務別定義」, 「人事・労務管理」, 「従業員データ JPN」, 「個人番号の確認/最終決定」

画像: 「個人番号の確認/最終決定」ページ

次の例では、「個人番号の確認/最終決定」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Rvw/ Finalize Personal Number

Run Control ID MSUPLOAD Report Manager Process Monitor Finalize

User ID PS [PS] Peoplesoft Superuser

Employee Details		Personalize	Find	View All	First	1 of 1	Last
	Empl ID						Run Status
1	KJ1003						Success

第12章

社会保険の管理

社会保険ルールについて

この項では、次について説明します。

- 標準報酬の計算。
- 保険料の計算。

標準報酬の計算

この項では、次の計算に使用するルールとエレメントについて説明します。

- 報酬月額。
- 標準報酬月額および等級。
- 定時決定または随時改定に対する資格。
- 固定的賃金の遡及支給または遡及減額。

報酬月額

システムは、報酬月額の計算をサポートするルールとエレメントが付属しています。その一部を次に説明します。

- 累計では、社会保険料および給与の固定的賃金部分の月次変動の対象となる、現金支給と現物支給が管理されます。
- 変数、フォーミュラおよび累計では、支給タイプごとに、毎月の支給の支払い基礎日数が管理および評価されます。
- フォーミュラによって、その従業員が基礎日数を満たして働いた算定月に対する平均報酬月額が計算されます。

標準報酬月額および等級

PeopleSoft では、標準報酬月額表を配布および管理しています。「標準報酬月額保険料額表 JPN」ページのこの表で値と等級を表示します。

定時決定または随時改定に対する資格

給与計算実行の際には、随時改定または定時決定の資格を管理するために、次の4つの値が使用されます。

随時改定	随時改定のすべての条件を満たしている従業員に対し指定されます。
随時改定候補	2か月前より固定的賃金総額が増加または減少している従業員に対し指定されます。過去3か月間に対するその従業員の標準報酬月額が計算され、随時改定の資格の有無が判定されます。
定時決定	定時決定の資格のある従業員に対し指定されます。
該当なし	この値は、システム入力値を無効にするために使用されます。

レポート作成でどの計算を実行し、どの従業員を選択するかを決定するために、これらの値が使用されます。

固定的賃金の遡及支給または遡及減額

従業員に固定的賃金の遡及支給または遡及減額がある場合、遡及支払い対象月の基礎日数が満たされれば、算定期間に対する修正平均報酬月額が計算されます。随時改定の資格は、修正平均報酬月額を基に決定されます。

保険料の計算

この項では、次の項目の決定方法について、注意する必要がある重要な情報を説明します。

- 給与に対する保険料計算。
- 賞与に対する保険料計算。
- 被保険者資格の取得者および喪失者に対する保険料控除。
- 事業主負担分の保険料。

給与に対する保険料計算

月給に対する社会保険料は、その月の月末時点の標準報酬月額に基づいて計算され、その次の月の給与から差し引かれます。

給与から控除される社会保険料は、支払いが行われる月の前月の末日時点の次のデータの値に基づいて計算されます。

- 従業員の標準報酬月額。
- 標準報酬等級表。
- 「社会保険料率」ページで事業所に対して設定されている保険料率。

- 「社会保険データ管理 JPN」ページに入力されている従業員の社会保険データ。

これは、5月に行われる控除には、同年の4月30日時点の有効日を持つ値が使用されることを意味します。月末時点で有効なデータが、翌月に控除される保険料の計算で使用するデータになっていることを確認する必要があります。

注: 月給に対する社会保険料は、その月の月末時点の標準報酬月額のみに基づいて計算されます。その月の実際の給与支給額は、保険料にまったく影響しません。

賞与に対する保険料計算

賞与から控除される社会保険料は、「社会保険料率」ページで設定されている、賞与が支給される月の月末時点の有効日を持つ事業所の保険料率の値に基づいて計算されます。計算に使用される標準賞与額は、実際の賞与総額から1,000円未満を切り捨てた額になります。健康保険および厚生年金保険に対し、標準賞与額には上限があります。

被保険者資格の取得者および喪失者に対する保険料控除

システムでは、従業員の社会保険データを参照して、支払いの月またはその前月に被保険者資格の取得または喪失の変更理由があるかどうかを確認されます。被保険者資格の取得または喪失の変更理由がある場合は、給与に対して適切な控除が計算されます。

社会保険の被保険者資格喪失データは、受給者の最後の支給が処理される前に入力する必要があります。

たとえば、従業員の最終勤務日が5月10日、最後の支給の支給期間が4月16日から5月15日であるとします。給与計算は5月20日に行われます。この場合は、5月20日に最後の支給が処理される前に、5月11日を有効日とする、この従業員の社会保険の被保険者資格喪失データを入力する必要があります。

事業主負担分の保険料

システムには、受給者社会保険フラグ変数 SC VR CALC ER FLG が含まれています。この変数を使用して、事業主負担分の保険料を計算するかどうかを指定します。このフラグの値が真の場合、事業主および従業員に対する次の保険料が計算されます。

- 健康保険。

健康保険の事業主負担分が変数 SC VR HEL CO として計算されます。計算された値は、書込み可能アレイ GPJP WA SC RPT SAL および GPJP WA SC RPT BON によって GPJP_WA_SCRIPT テーブルに保存されます。

- 介護保険。

介護保険の事業主負担分が変数 SC VR NUR CO として計算されます。計算された値は、書込み可能アレイ GPJP WA SC RPT SAL および GPJP WA SC RPT BON によって GPJP_WA_SCRIPT テーブルに保存されます。

- 厚生年金保険。

厚生年金保険の事業主負担分が変数 SC VR PEN CO として計算されます。計算された値は、書込み可能アレイ GPJP WA SC RPT SAL および GPJP WA SC RPT BON によって GPJP_WA_SCRPT テーブルに保存されます。

- 厚生年金基金。

厚生年金基金の事業主負担分が変数 SC VR FND CO として計算されます。計算された値は、書込み可能アレイ GPJP WA SC RPT SAL および GPJP WA SC RPT BON によって GPJP_WA_SCRPT テーブルに保存されます。

「社会保険料率」ページで、健康保険、介護保険、厚生年金保険および厚生年金基金の保険料に対する負担率を設定できます。

「[社会保険料率 JPN](#)」ページを参照してください。

児童手当拠出金も計算されます。この拠出金は厚生年金報酬総額に基づいて、社会保険チェックレポートの一部として計算されます。

関連リンク

[社会保険処理に関する設定](#)

[「社会保険データ管理 JPN」ページ](#)

[雇用終了処理について](#)

社会保険用に配布された支給エレメントおよび控除エレメントの参照

控除	説明
SC FND BON	厚生年金基金掛金 (賞与)。
SC FND SAL	厚生年金基金掛金 (給与)。
SC HEL BON	健康保険料 (賞与)。
SC HEL SAL	健康保険料 (給与)。
SC NUR BON	介護保険料 (賞与)。
SC NUR SAL	介護保険料 (給与)。
SC PEN BON	厚生年金保険料 (賞与)。
SC PEN SAL	厚生年金保険料 (給与)。

支給	説明
SC REM S01	1月の報酬月額。
SC REM S02	2月の報酬月額。
SC REM S03	3月の報酬月額。
SC REM S04	4月の報酬月額。
SC REM S05	5月の報酬月額。
SC REM S06	6月の報酬月額。
SC REM S07	7月の報酬月額。
SC REM S08	8月の報酬月額。
SC REM S09	9月の報酬月額。
SC REM S10	10月の報酬月額。
SC REM S11	11月の報酬月額。
SC REM S12	12月の報酬月額。

PeopleSoft では、日本用に設計されたすべての配布エレメントを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、*PeopleSoft グローバル ペイロール*で説明されています。

関連リンク

「配布エレメントの表示方法について」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

前提条件

社会保険料を計算する前に、次の設定を行う必要があります。

- 社会保険事業所の設定。
- 社会保険料率の設定。

関連リンク

[社会保険処理に関する設定](#)

従業員の社会保険データの準備

この項では、従業員社会保険データの準備の概要について説明します。

従業員社会保険データの準備に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>「社会保険データ管理 JPN」ページ</u>	GPJP_SC_PYE_DATA	従業員社会保険データを入力および更新します。新規加入者の報酬月額およびその他の社会保険個人情報を入力します。このページを自動的に更新するには、標準報酬月額更新プロセスを実行します。保険者算定の場合は、手動で更新データを入力できます。
<u>「社会保険扶養者情報 JPN」ページ</u>	GPJP_SC_DEP_DATA	受給者の社会保険扶養者情報を管理します。

従業員社会保険データの準備の概要

「社会保険データ管理 JPN」ページで、従業員の報酬月額およびその他の社会保険個人情報を入力または更新します。最初にシステムを設定するとき、または新しい従業員を登録するときは、この情報を手動で入力します。標準報酬月額更新プロセス (GPJP_UPD_REM) を実行すると、報酬月額が自動的に更新されます。その後で、データを編集できます。

有効日について

次のリストでは、標準報酬月額更新プロセスによって入力される随時改定および定時決定の有効日について説明します。

- 随時改定。

改定後の標準報酬月額および標準報酬等級の有効日は、随時改定の対象となった給与計算の月の翌月の最初の日になります。

たとえば、5月の給与計算の最終決定後に随時改定処理を行い、受給者が随時改定の対象となると、改定後の標準報酬月額および標準報酬等級の有効日は6月1日になります。6月の社会保険料は、新しい等級で計算され、7月の給与計算で受給者の給与から控除されます。

- 定時決定。

改定後の標準報酬月額および標準報酬等級の有効日は、9月1日です。9月の社会保険料は、新しい等級で計算され、10月の給与計算で受給者の給与から控除されます。

複数雇用レコードに対する標準報酬月額および保険料の計算

複数の職務、つまり雇用レコードから給与を受け取る従業員の場合、法律により、標準報酬月額は、すべての雇用レコードから支給される給与を加算した額になります。標準報酬月額は、対象月の報酬月額に基づいて、随時改定処理または定時決定処理で計算します。給与に対する社会保険料は標準報酬月額に基づいて計算し、「社会保険データ管理 JPN」ページで割り当てた雇用レコード番号によって支給されている給与から控除します。

複数の雇用レコードから賞与を受け取る従業員の場合、標準賞与額は、すべての雇用レコードから支給される賞与を加算した額になります。賞与に対する社会保険料は標準賞与額に基づいて計算し、「社会保険データ管理 JPN」ページで割り当てた雇用レコード番号によって支給されている賞与から控除します。

雇用レコード番号	給与	報酬月額	標準報酬月額	健康保険料
0	300,000 円	400,000 円 (300,000 円 + 100,000 円)	410,000 円	32,000 円 (410,000 円×8%)
1	100,000 円	0	0	0

複数雇用レコードによって給与が支給される場合に、どのように社会保険料を計算するかを設定するには、次の手順に従います。

- 次の 5 つのユーザー定義の支給エレメントを作成します。これらのエレメントは、PeopleSoft からは配布されません。
 - 個別支給金銭報酬 (給与): このエレメントは、現金報酬総額 (給与) 累計 ER AC CASH REM SAL で累計する必要があります。
 - 個別支給現物報酬 (給与): このエレメントは、現物報酬総額 (給与) 累計 ER AC NCSH REM SAL で累計する必要があります。
 - 個別支給固定的賃金: このエレメントは、固定的賃金総額 (給与) 累計 ER AC FIX WAGE SAL で累計する必要があります。
 - 個別支給金銭報酬 (賞与): このエレメントは、現金報酬総額 (賞与) 累計 ER AC CASH REM BON で累計する必要があります。
 - 個別支給現物報酬 (賞与): このエレメントは、現物報酬総額 (賞与) 累計 ER AC NCASH REM BO で累計する必要があります。
- 手順 1 で設定した支給エレメントをプロセスリストおよびエレメント グループに追加します。
- ポジティブ入力を使用して、雇用レコード番号 1 から支給された報酬額を、雇用レコード番号 0 の対応する支給エレメントに入力します。

雇用レコード番号 0 に対する給与計算プロセスによって、雇用レコード番号 1 と 0 の合計に対する社会保険料が計算されます。

再雇用された従業員の賞与金額に対する健康保険料の計算

受給者の社会保険事業所が変わっていない場合、雇用レコード番号にかかわらず、再雇用された従業員の健康保険料計算のための賞与金額を累計する必要があります。例:

- 受給者 A は、2007 年 12 月 10 日に賞与 (5,000,000 円) を受け取ります。
- 受給者 A は、2007 年 12 月 31 日に雇用終了します。
- 受給者 A は、2008 年 1 月 1 日に「従業員情報の追加」を使用して再雇用されます。
- 受給者 A は、2008 年 1 月 10 日に賞与 (500,000 円) を受け取ります。

この場合、2007 年 4 月から 2008 年 3 月までの賞与合計金額が 5,400,000 円を超えているので、受給者の 1 月 10 日の賞与からは、100,000 円についてのみ控除する必要があります。

「社会保険データ管理 JPN」ページ

「社会保険データ管理 JPN」ページ (GPJP_SC_PYE_DATA) を使用して、従業員社会保険データを入力および更新します。

新規加入者の報酬月額およびその他の社会保険個人情報を入力します。このページを自動的に更新するには、標準報酬月額更新プロセスを実行します。保険者算定の場合は、手動で更新データを入力できます。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「受給者データ」、「社会保険」、「社会保険データ管理 JPN」、「社会保険データ管理 JPN」

画像: 「社会保険データ管理 JPN」ページ

次の例では、「社会保険データ管理 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Maintain Social Ins Data JPN

Ayano Natsume Person ID KJL402

Social Insurance Data Find | View All First 1 of 1 Last

*Effective Date 01/01/2003 Empl Record 0

Eligibility Enrollment Date 01/01/2003 Change Reason New enrollment

SI Establishment Number KJS0000001 Carrot Soft Corp.

Maternity Leave
 Part-time

Amount of Monthly Remun 305,000 Monthly Cash Remun
Monthly Non-Cash Remun

Standard Remuneration and Grades			
HI Standard Remun	300,000	HI Stnd Remun Grade	18
PI Standard Remun	300,000	PI Stnd Remun Grade	18

Health Insurance Health Insurance Card Number 3
 Excluded from Health Insurance

Nursing Care Insurance
 Special Insured Excluded

Pension Insurance Pension Insurance Code 3
Base Pension Number
Base Pension Number for Spouse
 Eligibility for Voluntary Enrollment for Elderly

Pension Fund Pension Fund Number 0000003

Comment

Last Action Online User Updated on 09/23/2003

有効日

このページの情報が有効になる日付を入力します。

給与計算システムとしてグローバル ペイロールを使用し始めた日付より前の日付を指定すると、グローバル ペイロールの計算にはまったく使用されない情報を入力できます。この場合、「社会保険データ管理 JPN」ページの雇用記録番号と職務テーブルの給与計算システム フラグの整合性は検証されません。

雇用記録 (雇用記録番号)

社会保険の控除を適用する雇用記録番号を入力します。社会保険データは、職務テーブル上の現在の給与計算システム フラグがグローバル ペイロールである雇用記録番号とのみ関連付けることができます。

被保険者資格取得日

従業員が社会保険事業所の被保険者資格を取得した日付を入力します。システムでは、このフィールドは使用されません。かわりに、変更理由が新規加入や再加入になっているデータの有効日が、被保険者資格取得日として使用されます。

変更理由

社会保険の被保険者資格取得/喪失ステータスの管理に使用する値を選択します。値は次のとおりです。

1. **新規加入:** 社会保険料控除の際に、被保険者資格取得日として、このデータの有効日が使用されます。その他社会保険届ファイル作成プロセスでは、資格取得届作成時に、この「変更理由」の行が取得されます。
2. **再加入:** 社会保険料控除の際に、被保険者資格取得日として、このデータの有効日が使用されます。その他社会保険届ファイル作成プロセスでは、資格取得届作成時に、この「変更理由」の行が取得されます。
3. **資格喪失 (死亡):** 被保険者資格喪失日として、このデータの有効日が使用されます。その他社会保険届ファイル作成プロセスでは、資格喪失届作成時に、この「変更理由」の行が取得されます。
4. **資格喪失 (年齢 - 厚生年金):** 被保険者資格喪失日として、このデータの有効日が使用されます (PI)。その他社会保険届ファイル作成プロセスでは、資格喪失届作成時に、この「変更理由」の行が取得されます。
5. **資格喪失 (その他):** 被保険者資格喪失日として、このデータの有効日が使用されます。その他社会保険届ファイル作成プロセスでは、資格喪失届作成時に、この「変更理由」の行が取得されます。
6. **随時改定:** この値は、受給者が随時改定の対象となったときに、標準報酬月額更新プロセスによって設定されます。
7. **定時決定:** この値は、従業員が定時決定の対象となったときに、標準報酬月額更新プロセスによって設定されます。
8. **その他:** この値は、社会保険データを変更する場合に使用します。たとえば、新しい有効日付きの行を作成して、健康保険被保険者証番号や厚生年金基金加入員番号を変更できます。たとえば、受給者が産前産後休業を開始または終了するときに、この値を選択できます。
9. **除外:** 社会保険料の控除から除外されます。この値を使用すると、受給者が次の両方の条件に当てはまる場合に社会保険料の控除から除外する雇用レコードを指定できます。

- 雇用レコード番号が月の途中で変更されている。
 - 受給者の社会保険事業所が変わっていない。
10. 資格喪失 (年齢 - 健康保険) 受給者が 75 歳に達すると、健康保険 (HI) のみ終了します。ただし、ほとんどの場合、受給者は年齢のために厚生年金プランをすでに終了しています。
 11. 資格喪失 (障害): 受給者が 65 から 74 歳の場合、一定レベルの障害を負ったため、健康保険のみ終了します。受給者の環境および障害のレベルによっては、受給者は厚生年金によってカバーされる場合があります。
 12. 資格喪失後新規加入: 受給者が事業所を終了し、同じ日に別の事業所に加入した場合、「資格取得」ではなくこの「変更理由」を使用します。システムは、受給者の保険料控除の資格を評価するとき、および資格喪失届を生成するとき、前の日付の行で追跡された事業所を受給者が終了したものとみなします。
 13. 育児休業後改定: 受給者が育児休業から復職したことによる報酬改定の対象になるときに選択します。この値は、標準報酬月額更新プロセスによって使用されます。

控除から除外する雇用レコードが選択されていない場合、複数の雇用レコードから社会保険料が控除されます。雇用レコードが変更される月の前の月の末日が「有効日」になっているデータを作成する必要があります。

注: 「資格喪失 (年齢 - 厚生年金)」、「資格喪失 (年齢 - 健康保険)」および「資格喪失 (障害)」は、レポート用にも使用されます。システムは、受給者の年齢と、「健康保険を除外」チェックボックスが選択されているかどうかに基づいて、受給者の保険料控除の資格を判定します。その他の喪失の値は、資格の評価とレポートの生成の両方に使用されます。

社会保険事業所番号

ここで選択した事業所に対して定義されている保険料率が、この従業員の保険料の計算に使用されます。

産前産後休業

従業員が育児休業中の場合、このチェック ボックスを選択します。システムは、育児休業では従業員の社会保険料を控除しません。

さらに、このチェック ボックスの選択が解除されている行をシステムが検出し、受給者のレコードにこのチェック ボックスが選択

されている以前の有効日行が含まれる場合、社会保険報酬月額ロード プロセスは受給者が育児休業から復職したものと判断します。

パートタイム

従業員がパートタイム従業員の場合、このチェック ボックスを選択します。定時決定処理での報酬月額総額の計算時や、算定基礎届の作成時に、この値が使用されます。

報酬月額

「変更理由」が「新規加入」、「再加入」または「資格喪失後新規加入」の場合、この値が金銭報酬月額および現物報酬月額の合計額として使用されます。

標準報酬月額更新プロセスを実行すると、この値が更新されます。計算期間中に従業員の週及支払い調整がある場合、修正平均報酬月額が入力されます。

この値を基にして、従業員の標準報酬月額および標準報酬等級が決定されます。

報酬月額 (金銭) (金銭報酬月額)

受給者の加入時の金銭報酬月額の予定額を入力します。システムは、このフィールドを使用して「報酬月額」を生成します。このフィールドは、「変更理由」が「新規加入」または「再加入」のときにのみ表示されます。

報酬月額 (現物) (現物報酬月額)

受給者の加入時の現物報酬月額の予定額を入力します。システムは、このフィールドを使用して「報酬月額」を生成します。このフィールドは、「変更理由」が「新規加入」または「再加入」のときにのみ表示されます。

標準報酬/等級

この有効日に対する「報酬月額」フィールドの値に基づいた標準報酬月額および標準報酬等級が表示されます。

これらの値は表示専用です。テーブルには保存されません。

注: 平均標準報酬が上限より多いか、または下限より少ない従業員の場合、このグループ ボックスにはダミーの等級が表示されます。これらのダミー等級の目的は、受給者が1回の随時改訂の除外対象である場合に給与計算管理者に通知することです。等級が2等級以上変更された従業員のみが随時改訂の対象となります。

健康保険

特に高齢者に対して使用される新しい健康保険システムが、2008年4月1日に導入されました。この日以降、75歳以上の受給者には健康保険が適用されません。75歳以上の受給者がこのシステムに移行すると、従業員に対する現在の健康保険システムから除外されます。

通常、システムは支払い日での各従業員の年齢を評価し、75歳以上の受給者を健康保険料控除から除外します。ユーザーは、これらの受給者を追跡する必要はありません。

それ以外の場合で、従業員に対する現在の健康保険から受給者を除外できる場合、受給者は新しい健康保険システムに移行する前に次の条件を両方とも満たす必要があります。

- 受給者が65歳以上である。
- 受給者に一定のレベルの障害がある。

このような受給者を追跡するには、「健康保険を除外」チェックボックスを選択します。

介護保険

特定被保険者 このチェックボックスを選択すると、受給者の年齢に関係なく介護保険料が計算および控除されます。

除外 このチェックボックスを選択すると、受給者の年齢に関係なく介護保険料は計算および控除されません。

厚生年金

基礎年金番号 必要に応じて、従業員とその配偶者の基礎年金番号を入力します。これらの値は、資格取得届、資格喪失届および住所変更届で使用されます。

配偶者基礎年金番号 このフィールドの値は参照専用です。給与計算システムでは使用されません。

厚生年金高齢任意加入被保険者資格 従業員が70歳以上で、厚生年金保険負担分の給与計算控除の対象である場合、このチェックボックスを選択します。年齢のために厚生年金保険の被保険者資格を喪失した従業員を確認するには、厚生年金70歳到達者レポートを使用します。

最終更新情報の更新

フィールド	手動入力	自動入力
最終更新	オンライン ユーザー	システム
更新日	現在の日付	プロセスの実行日

「社会保険扶養者情報 JPN」ページ

「社会保険扶養者情報 JPN」ページ (GPJP_SC_DEP_DATA) を使用して、受給者の社会保険扶養者情報を管理します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「受給者データ」、「社会保険」、「社会保険扶養者情報 JPN」、「社会保険扶養者情報 JPN」

画像: 「社会保険扶養者情報 JPN」ページ

次の例では、「社会保険扶養者情報 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

扶養者が従業員の健康保険に含まれている場合、「健康保険被扶養者」チェック ボックスを選択します。

報酬月額関連レポートの準備

この項では、報酬月額関連レポートの概要について説明します。

報酬月額関連レポートの準備に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「社会保険報酬月額ロード JPN」ページ	GPJP_RC_SC_LOAD	報酬月額ロード結果プロセスを実行します。
「報酬月額計算結果の確認 JPN」ページ	GPJP_SC_MTH_REMUN	個別の従業員に対する報酬月額計算の結果を表示および編集します。報酬月額ロード結果アプリケーション エンジン プロセスによって、このページのデータはロードおよび更新されます。このプロセスのラン コントロール ページで入力した値によって、このページで参照できる従業員が決まります。

ページ名	定義名	用途
「社会保険報酬月額更新 JPN」ページ	GPJP_RC_SC_LOAD	従業員社会保険データを更新します。標準報酬月額更新プロセスを実行して、随時改定または定時決定の対象となる従業員の「社会保険データ管理 JPN」ページの報酬月額を更新します。

報酬月額関連レポートについて

報酬月額ロード結果プロセス (GPJP_LD_REM) では、ヒューマン リソース管理およびグローバル ペイロールのテーブルから情報が収集され、報酬月額計算結果テーブル (GPJP_MTHRMN_TBL) が更新されます。このテーブルは、PeopleSoft が提供する 3 つの報酬月額関連レポートと 1 つのページの元データになります。ユーザーは必要に応じて、報酬月額計算結果テーブルのデータにアクセスする独自の Structured Query Report (SQR)、サービス オペレーションまたは電子データ ファイルを作成できます。

ここでは、報酬月額関連レポートの準備方法を説明します。

1. 給与計算実行を最終決定します。
2. 報酬月額ロード結果アプリケーション エンジン プロセス (GPJP_LD_REM) を実行します。
3. 報酬月額結果ページで報酬月額の結果を確認および修正します。
4. 次の報酬月額関連レポートを実行します。
 - 月額変更届。
 - 算定基礎届 (6 月の給与計算のみ)。
 - 算定基礎届総括表基礎資料 (6 月の給与計算のみ)。
5. 標準報酬月額更新アプリケーション エンジン プロセス (GPJP_UPD_REM) を実行します。

「社会保険報酬月額ロード JPN」ページ

「社会保険報酬月額ロード JPN」ページ (GPJP_RC_SC_LOAD) を使用して、報酬月額ロード結果プロセスを実行します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」, 「社会保険」, 「社会保険報酬月額ロード JPN」, 「社会保険報酬月額ロード JPN」

画像: 「社会保険報酬月額ロード JPN」ページ

次の例では、「社会保険報酬月額ロード JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

報酬月額ロード結果プロセスでは、報酬月額計算結果テーブル (GPJP_MTHRMN_TBL) に値をロードします。

選択したカレンダー グループに対する給与計算は最終決定されている必要があります。そうでない場合は、エラー メッセージが表示されます。このプロセスでは、指定されたカレンダー グループがどの月に当たるかを定める際に、支給日を使用します。次の表は、データのロード対象別に、ロードされるカレンダー グループ ID の月を一覧にしたものです。

該当タイプ	ロードされる月
随時改定	すべての月
随時改定候補	すべての月
定時決定	6 月のみ

「報酬月額計算結果の確認 JPN」ページ

「報酬月額計算結果の確認 JPN」ページ (GPJP_SC_MTH_REMUN) を使用して、個別の従業員に対する報酬月額計算の結果を表示および編集します。

報酬月額ロード結果アプリケーション エンジン プロセスによって、このページのデータはロードおよび更新されます。このプロセスのラン コントロール ページで入力した値によって、このページで参照できる従業員が決まります。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」, 「社会保険」, 「報酬月額計算結果の確認 JPN」, 「報酬月額計算結果の確認 JPN」

対象 その従業員が随時改定または定時決定の対象かどうかを示します。値には、「随時改定該当」、「随時改定候補」、「定時決定該当」および「該当なし」があります。

「標準報酬の計算」を参照してください。

各月の報酬月額

各月の社会保険料の計算対象となる金銭報酬および現物報酬の金額を表示または更新します。

月 対象期間の3か月が表示されます。

支払基礎日数 該当月の給与計算に使用した基礎日数が表示されます。

報酬月額合計 金銭報酬および現物報酬の総額が表示されます。この値は、「報酬月額(金銭)」または「報酬月額(現物)」フィールドの値を変更すると自動的に更新されます。

改定後報酬月額

このグループボックスでは、「報酬月額合計」、「平均」、「改定後(健保)」、「改定後(厚年)」の値を手動で更新できます。「報酬月額(金銭)」や「報酬月額(現物)」フィールドの値を変更しても、これらのフィールドの値は自動的に再計算されません。このページの保存時に、値が変更されている場合はこれらのフィールドの値を手動で更新するように警告するメッセージが表示されます。

報酬月額合計 基礎日数が基準に達している、計算対象の月の報酬総額が表示されます。

平均 計算対象の期間の平均報酬月額が表示されます。

修正平均報酬月額 計算対象の月以外の遡及金額を含まない、この期間に対する平均報酬月額が表示されます。

従前(健保) 定時決定または随時改定前の、健康保険に対する標準報酬月額が表示されます。

従前(厚年) 定時決定または随時改定前の、厚生年金保険に対する標準報酬月額が表示されます。

改定後(健保) 定時決定または随時改定によって改定された、健康保険に対する標準報酬月額が表示されます。

改定後(厚年) 定時決定または随時改定によって改定された、厚生年金保険に対する標準報酬月額が表示されます。

備考欄

遡及支払額

計算から除外された月の遡及金額を除いた遡及報酬の合計金額が表示されます。遡及減額は、マイナスの金額で表示されます。

固定的賃金の変動

差額

固定的賃金に適用された増減額が表示されます。減額の場合は、マイナスで表示されます。

有効月

遡及が発生した月を入力します。給与変更が発生した月ではありません。たとえば、4月に昇給があつて4月の支給から適用された場合、この値は4になります。5月に昇給があつて4月の支給から適用された場合、この値は5になります。

フィールド	手動入力	自動入力
最終更新	オンライン ユーザー	システム。
更新日	現在の日付	プロセスの実行日。

関連リンク

[社会保険ルールについて](#)

「社会保険報酬月額更新 JPN」ページ

「社会保険報酬月額更新 JPN」ページ (GPJP_RC_SC_LOAD) を使用して、従業員社会保険データを更新します。

標準報酬月額更新プロセスを実行して、随時改定または定時決定の対象となる従業員の「社会保険データ管理 JPN」ページの報酬月額を更新します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」, 「社会保険」, 「社会保険報酬月額更新 JPN」, 「社会保険報酬月額更新 JPN」

画像: 「社会保険報酬月額更新 JPN」ページ

次の例では、「社会保険報酬月額更新 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

標準報酬月額更新プロセスを実行して、随時改定または定時決定の対象となる従業員の「社会保険データ管理 JPN」ページの報酬月額を更新します。「選択条件」フィールドを使用して、レポートに出力する報酬月額結果データを選択します。

このプロセスは、報酬月額ロード結果プロセスと同じラン コントロール ページを使用しています。

関連リンク

[「社会保険報酬月額ロード JPN」ページ](#)

社会保険料の計算の確認

この項では、社会保険料の計算の確認についての概要について説明します。

社会保険料レポートの実行に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「社会保険料サマリレポート JPN」ページ	GPJP_RC_SC_GRD	社会保険料サマリレポートを作成して、事業所内のすべての従業員の社会保険料および等級に関する情報を確認します。
「社会保険料照会レポート JPN」ページ	GPJP_RC_SC_CHK	社会保険料照会レポートを作成して、前月と当月の間で保険料が変更された従業員を確認します。

社会保険料の計算の確認について

グローバル ペイロール (日本) では、社会保険料の計算後、従業員および事業主に対する控除が行われます。社会保険取扱い機関でも、これらの保険料は別途計算されます。社会保険チェックレポートで、これらの値を比較できます。値を比較するには、次の手順に従います。

1. 社会保険取扱い機関から保険料の支払いに関する書類を取得します。

社会保険取扱い機関からは、前月分の納入告知書、算定内訳書および増減内訳書が送られてきます。

2. 社会保険料サマリレポートおよび社会保険料照会レポートを使用して、社会保険取扱い機関のデータとグローバル ペイロールでの計算結果を比較します。

社会保険サマリレポートでは、給与と賞与に対する従業員と事業主それぞれの保険料負担分、および等級別被扶養者数などの情報が、事業所 ID ごとに表示されます。

社会保険照会レポートでは、その月に保険料が変更された受給者が、事業所 ID ごとにリスト出力されます。

「社会保険料サマリ レポート JPN」ページ

「社会保険料サマリレポート JPN」ページ (GPJP_RC_SC_GRD) を使用して社会保険料サマリレポートを作成し、事業所内のすべての従業員の社会保険料および等級に関する情報を確認します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「社会保険」、「社会保険料サマリレポート JPN」、「社会保険料サマリレポート JPN」

画像: 「社会保険料サマリレポート JPN」ページ

次の例では、「社会保険料サマリレポート JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows a web interface titled "Update SI Monthly Remun JPN". At the top, there are three tabs: "Run Control ID PS", "Report Manager", and "Process Monitor". A "Run" button is located to the right of these tabs. Below the tabs, there is a "Language" dropdown menu currently set to "German". Underneath, there is a section titled "Process Request Parameter(s)" which contains two input fields: "*Calendar Group ID" with the value "GJ200403S02" and a search icon, and "Selection Criteria" with a dropdown menu set to "Regular Process".

レポート リクエスト パラメータ

レポートを実行する対象年度、月および社会保険事業所番号を指定します。たとえば、3月に控除をして社会保険取扱い機関に支払われた保険料のサマリレポートを出力する場合、「月」フィールドに03を指定します。

「社会保険料照会レポート JPN」ページ

「社会保険料照会レポート JPN」ページ (GPJP_RC_SC_CHK) を使用して社会保険料照会レポートを作成し、前月と当月の間で保険料が変更された従業員を確認します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「社会保険」、「社会保険料照会レポート JPN」、「社会保険料照会レポート JPN」

画像: 「社会保険料照会レポート JPN」ページ

次の例では、「社会保険料照会レポート JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

「対象年度」および「月」

レポートを実行する年度と月を入力します。たとえば、2月および3月に控除をして社会保険取扱い機関に支払われた保険料の差をレポート出力するには、「月」フィールドに03を指定します。

レポート リクエスト パラメータ

当月中に保険料が変更された従業員を検索するオプションのチェックボックスを選択します。複数のオプションをオンにすると、オンにしたオプションに対応するすべての保険料に対し、変更のある受給者が検索されます。たとえば、「健康保険」および「介護保険」をオンにすると、前月と当月の間に健康保険料と介護保険料が変更された受給者がリスト出力されます。

レポートリクエストパラメータを指定しない場合は、保険料に変更がなくても、すべての受給者の社会保険料が出力されます。

受取人 ID タイプ

該当するオプションを選択します。

注: このオプションでは、保険番号のみを切り替えることができます。生成されるレポート形式は、社会保険庁の形式に準拠しています。ただし、健康保険組合および年金保険組合の形式には準拠していません。

社会保険レポートの実行

この項では、社会保険レポートの概要とレポートの実行に使用するページについて説明します。

社会保険レポートの実行に使用するページ

ページ名	定義名	ナビゲーション	用途
「月額変更届 JPN」ページ	GPJP_RC_SC01	「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「社会保険」、「月額変更届 JPN」、「月額変更届 JPN」	月額変更届 (GPJPSC01) を作成します。随時改定の対象となるすべての従業員の社会保険および報酬に関する情報がリスト出力されます。
「算定基礎届 (年間) JPN」ページ	GPJP_RC_SC03	「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「社会保険」、「算定基礎届 (年間) JPN」、「算定基礎届 (年間) JPN」	算定基礎届 (GPJPSC02) を作成します。定時決定の対象となるすべての従業員の社会保険および報酬に関する情報がリスト出力されます。
「算定基礎届総括表基礎資料 JPN」ページ	GPJP_RC_SC03	「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「社会保険」、「算定基礎届総括表基礎資料 JPN」、「算定基礎届総括表基礎資料 JPN」	算定基礎届総括表記入のための基礎資料 (GPJPSC03) を作成します。定時決定および随時改定の対象となる従業員の情報がまとめて出力されます。
「社会保険賞与支払届 JPN」ページ	GPJP_RC_SC_BNS	「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「社会保険」、「社会保険賞与支払届 JPN」、「社会保険賞与支払届 JPN」	受給者ごとの賞与額がリスト出力されます。
「厚生年金 70 歳到達者レポート JPN」ページ	GPJP_RC_SC04	「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「社会保険」、「厚生年金 70 歳到達者レポート JPN」、「厚生年金 70 歳到達者レポート JPN」	厚生年金保険資格喪失者一覧表 (GPJPSC04) を作成します。年齢が 70 歳に達したために厚生年金の被保険者資格を失った従業員がリスト出力されます。

社会保険レポートについて

次のレポートを印刷できます。

- 月額変更届 (GPJPSC01): 月額変更該当する従業員がいる月に提出します。
- 算定基礎届 (GPJPSC02): 毎年提出します。
- 算定基礎届総括表基礎資料 (GPJPSC03): 算定基礎届総括表の作成に使用できます。
- 賞与支払い届 (GPJPSC05)。
- 賞与支払い届総括表 (GPJPSC06)。
- 厚生年金保険資格喪失者一覧表 (GPJPSC04): 「社会保険データ管理 JPN」ページの「厚生年金高齢任意加入被保険者資格」フィールドの確認および変更に使います。

報酬月額関連レポートは、東京都の書式で提供されています。この書式は、必要に応じて修正することができます。

これらのレポートの詳細について、次に説明します。

月額変更届

給与計算の結果、随時改定の対象となる従業員がいた場合に、社会保険取扱い機関に提出するレポートです。このレポートには、随時改定 (2 か月前に固定的賃金が増加または減少した結果、標準報酬等級が2 等級以上変化した) の対象となるすべての従業員に関する次の情報がリストされます。

- 健康保険被保険者証番号、氏名、生年月日および種別。
- 対象期間の3 か月の月ごとの、支払い基礎日数、金銭報酬、現物報酬および報酬の合計額。
- 報酬月額合計、健康保険料標準報酬月額と厚生年金標準報酬月額の変更前および変更後の値。
- 遡及支払い額、昇降給差の月額および昇降給月。

算定基礎届

毎年7月10日までに社会保険取扱い機関に提出するレポートです。定時決定の対象となった従業員について、次の情報がリスト出力されます。

- 健康保険被保険者証番号、氏名、生年月日および種別。
- 当年度の4月、5月、6月の、支払い基礎日数、金銭報酬、現物報酬および報酬の合計額。
- 報酬月額合計、健康保険料標準報酬月額と厚生年金標準報酬月額の変更前および変更後の値。
- 遡及支払い額、昇降給差の月額および昇降給月。

算定基礎届総括表基礎資料

このレポートの情報を使用して、毎年被保険者報酬月額算定基礎届と一緒に社会保険取扱い機関に提出する算定基礎届総括表を作成します。このレポートには、事業所ごとに次の情報が出力されます。

- 6月1日から7月1日の間に被保険者となった従業員の人数。
- 算定基礎届を提出している従業員の人数。
- 7月に随時改定の対象となった従業員の人数。
- 8月、9月の随時改定候補の従業員ごとの健康保険被保険者証番号および氏名。

賞与支払い届

このレポートは、賞与の支給後にその都度提出します。このレポートには、次の情報がリスト出力されます。

- 健康保険被保険者証番号、生年月日、氏名および種別。
- 現金賞与額。
- 現物賞与額。
- 賞与の合計額。

賞与支払い届総括表

このレポートは、賞与の支給後にその都度提出します。このレポートには、事業所番号ごとに、次の情報がリスト出力されます。

- 賞与が支給された受給者の人数。
- 賞与の合計額。
- 被保険者の従業員の数。

厚生年金保険資格喪失者一覧表

このレポートには、年齢が70歳に達したために厚生年金被保険者資格を喪失した従業員について、氏名、従業員ID、性別、役職、任意加入の資格があるかどうかの情報がリスト出力されます。また、事業所番号および部門番号を指定すると、指定した事業所番号と部門番号ごとに厚生年金被保険者資格喪失者の合計人数、任意加入被保険資格者の合計人数を出力することができます。

このレポートでは、ラン コントロール ページで対象日として入力した日付の時点で70歳以上になっている従業員が判別されます。

社会保険レポート データ ファイルの作成

この項では、社会保険レポート データ ファイルの概要について説明します。

社会保険レポート データ ファイルの作成に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「社会保険月変算定届ファイル作成 JPN」ページ	GPJP_RC_SC_RPT1	月額変更届および算定基礎届のためのレポート ファイルを作成します。
「社会保険賞与支払届ファイル作成 JPN」ページ	GPJP_RC_SC_BNS2	社会保険賞与支払い届のためのレポート ファイルを作成します。
「その他社会保険届ファイル作成 JPN」ページ	GPJP_RC_SC_RPT2	資格取得届、資格喪失届および住所変更届のためのレポート ファイルを作成します。

レポート データ ファイルについて

前に説明した印刷するレポートの他に、電子ファイルとして提出できる社会保険レポートもあります。次のレポートのための電子ファイルを作成できます。

- 月額変更届。
- 算定基礎届。
- 賞与支払い届。
- 資格取得届。
- 資格喪失届。
- 住所変更届。

3つのプロセス、つまり3つのラン コントロール ページを使用して、次のファイルを作成します。

- 社会保険月変・算定届ファイル。
- 社会保険賞与支払い届ファイル。
- その他社会保険届ファイル。

これらの各プロセスの基本構造は同じです。まず、適切なテーブルからレポート データを取得します。次に、データの内容とレポート ファイルの形式を検証します。最後に、データをファイルに出力します。

検証中にエラーが発生すると、検出されたエラーごとに詳細ログ ファイルが作成されます。このエラー ログ ファイルには、レコードの行番号、従業員 ID、健康保険被保険者証番号、氏名、レポート

タイプ、エラーの発生したフィールド名およびエラーの詳細が出力されます。エラー ログ ファイル名は、`gpjp_sc_det_log_プロセスのインスタンス番号.csv` という形式になります。

データ内にカンマがあった場合は、強制的にスペースに置き換えられます。

社会保険月変・算定届ファイル

算定基礎届および月額変更届の両方の作成に使用されるプロセスでは、報酬月額計算結果レコード (GPJP_MTHRMN_TBL) から、対象日 (GPJP_OBJECT_DATE) および社会保険事業所 (GPJP_TAX_ESTAB) が「社会保険月変算定届ファイル作成 JPN」ページで指定した値と一致する行が取得されます。取得された行からデータが抽出され、レポート ファイルの作成に使用されます。

月額変更届では、該当タイプ (GPJP_SUBJECT_IND) が随時改定である行が取得されます。算定基礎届では、GPJP_SUBJECT_IND が定時決定である行が取得されます。

注: 社会保険月変算定届ファイルを作成する前に、社会保険報酬月額ロード プロセスを実行しておく必要があります。

社会保険賞与支払い届ファイル

社会保険賞与支払い届ファイルの作成に使用されるプロセスでは、グローバル ペイロールの結果テーブル (GPJP_WA_PIN) から、賞与の支給月の末日時点で保険に加入している受給者のデータ行が取得されます。取得された行からデータが抽出され、レポート ファイルの作成に使用されます。

その他社会保険届ファイル

資格取得届、資格喪失届および住所変更届のファイルの作成に使用されるプロセスでは、従業員社会保険データ テーブル (GPJP_SC_PYE_DTA) から、有効日が期間内で社会保険事業所が「その他社会保険届ファイル作成 JPN」ページで選択した値と同じデータ行が取得されます。

また、ファイルごとに、変更理由が次の条件に一致している必要があります。

データ ファイル	変更理由
資格取得届	新規加入。 再加入。
資格喪失届	資格喪失 (死亡)。 資格喪失 (年齢)。 資格喪失 (その他)。

住所変更届データ ファイルの作成では、次の条件を満たすデータが検索されます。

- 有効日が「その他社会保険届ファイル作成 JPN」ページで指定された期間内で住所タイプが自宅であるアクティブ行が住所タイプ テーブル (ADDRESSES) にある。

- 上で取得したアクティブ行と同じ有効日で、変更理由が除外以外の有効行が、従業員社会保険データテーブルにある。
- 先に取得した住所タイプ行と同じ有効日で、変更理由が新規加入または再加入の行が、従業員社会保険データテーブルにない。

「社会保険月変算定届ファイル作成 JPN」ページ

「社会保険月変算定届ファイル作成 JPN」ページを使用して、月額変更届および算定基礎届のためのレポートファイルを作成します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「社会保険」、「社会保険月変算定届ファイル作成 JPN」、「社会保険月変算定届ファイル作成 JPN」

画像: 「社会保険月変算定届ファイル作成 JPN」ページ

次の例では、「社会保険月変算定届ファイル作成 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

届出の選択

ファイルの作成で使用するレポートデータを選択します。

受取人 ID タイプ

該当するオプションを選択します。

注: このオプションでは、保険番号のみを切り替えることができます。生成されるレポート形式は、社会保険庁の形式に準拠しています。ただし、健康保険組合および年金保険組合の形式には準拠していません。

ファイル出力先

ファイル ハンドル

あらかじめ定義されているファイル ハンドルの中から選択します。

「社会保険賞与支払届ファイル作成 JPN」ページ

「社会保険賞与支払届ファイル作成 JPN」ページ (GPJP_RC_SC_BNS2) を使用して、社会保険賞与支払い届ファイルを作成します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」, 「社会保険」, 「社会保険賞与支払届ファイル作成 JPN」, 「社会保険賞与支払届ファイル作成 JPN」

画像: 「社会保険賞与支払届ファイル作成 JPN」ページ

次の例では、「社会保険賞与支払届ファイル作成 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

受取人 ID タイプ

該当するオプションを選択します。

3. 「報酬月額計算結果」ページで結果を確認します。
4. 7月の被保険者報酬月額変更届を印刷します。
5. 次のいずれかを実行します。
 - 社会保険取扱い機関により8月と9月の随時改定の候補者を定時決定届に含めるよう要求された場合は、被保険者報酬月額算定基礎届および算定基礎総括表記入のための基礎資料を選択条件0(将来の随時候補者を含める)で印刷します。
 - 社会保険取扱い機関により8月と9月の随時改定の候補者を定時決定届から除外するよう要求された場合は、被保険者報酬月額算定基礎届および算定基礎総括表記入のための基礎資料を選択条件7(将来の随時候補者を除外する)で印刷します。
6. 7月の報酬月額更新プロセスを選択条件0(通常処理)で実行します。

注: 8月と9月の定時決定は社会保険では考慮されません。

被保険者報酬月額算定基礎届に印刷されるデータは、社会保険取扱い機関による届出に対する要求によって異なります。カテゴリ1のデータのみ(社会保険取扱い機関が将来の候補者を除外するよう要求した場合)となるか、またはカテゴリ1-4のすべてのデータ(社会保険取扱い機関が将来の候補者を届出に含めるよう要求した場合)となる場合があります。

報酬月額更新プロセスで更新されるデータについては、社会保険取扱い機関による届出に対する要求に関係なく、データのカテゴリは同じです。カテゴリ1のデータのみは、すべての状況で社会保険受給者データテーブルに更新されます。

データ カテゴリ	8月の随時改定候補として判定	9月の随時改定候補として判定	7月の報酬月額計算結果の該当タイプ(有効日は6月)
1	該当なし	該当なし	定時決定
2	該当なし	候補者	定時決定
3	候補者	該当なし	定時決定
4	候補者	候補者	定時決定

8月の報酬月額データの処理

7月に次の手順を実行します。

1. 7月の給与計算プロセスを実行し、最終決定します。
2. 給与計算の報酬月額ロードプロセスを実行します。
3. 「報酬月額計算結果」ページで結果を確認します。

4. 8月の被保険者報酬月額変更届を印刷します。
5. 8月の報酬月額更新プロセスを選択条件 0 (通常処理) で実行します。
6. 社会保険取扱い機関から8月と9月の随時改定について候補者を定時決定届から除外するように要求された場合は、被保険者報酬月額算定基礎届を選択条件 8 (8月Modori算定) で印刷します。
7. 7月の報酬月額更新プロセスを選択条件 8 (8月Modori算定) で実行します。

8月に随時改定の対象となった場合、カテゴリ3および4のデータが判定されます。

次の表で、データ カテゴリ 3-1 と 4-1 が随時改定の対象となります。データ カテゴリ 3-2 と 4-2 は決定されません。また、7月の報酬月額計算結果の行が「定時決定」から「該当なし」に更新されます。

8月の随時改定対象外であり、9月の随時改定候補でないデータ (3-2として分類) のみが7月に印刷および更新されます。

データ カテゴリ	8月随時改定候補者	9月随時改定候補者	7月の報酬月額計算結果の該当タイプ (有効日は6月)	8月の報酬月額計算結果の該当タイプ (有効日は7月)
1	該当なし	該当なし	定時決定	行は作成されません
2	該当なし	候補者	定時決定	行は作成されません
3-1	候補者	該当なし	定時決定 → 該当なし	随時改定
3-2	候補者	該当なし	定時決定	該当なし
4-1	候補者	候補者	定時決定 → 該当なし	随時改定
4-2	候補者	候補者	定時決定	該当なし

9月の報酬月額データの処理

8月に次の手順を実行しておきます。

1. 8月の給与計算プロセスを実行し、最終決定します。
2. 報酬月額ロード プロセスを実行します。
3. 「報酬月額計算結果」ページで結果を確認します。
4. 9月の被保険者報酬月額変更届を印刷します。
5. 9月の報酬月額更新プロセスを選択条件 0 (通常処理) で実行します。
6. 社会保険取扱い機関から8月と9月の随時改定について候補者を定時決定届から除外するように要求された場合は、被保険者報酬月額算定基礎届を選択条件 9 (9月Modori算定) で印刷します。

7. 7月の報酬月額更新プロセスを選択条件9(9月Modori算定)で実行します。

9月に随時改定の対象となった場合、カテゴリ2、4-1 および 4-2 のデータが判定されます。次の表で、データ カテゴリ 2-1、4-1-1 および 4-2-1 が随時改定の対象となります。データ カテゴリ 2-2、4-1-2 および 4-2-2 は決定されません。7月の報酬月額計算結果の行が「定時決定」から「該当なし」に更新されます。9月の随時改定対象外のデータ(データ カテゴリ 2-2 および 4-2-2)のみが8月に印刷され更新されます。

データ カテゴリ	8月の随時改定候補として判定	9月の実際の随時改定結果	7月の報酬月額計算結果の該当タイプ (有効日は6月)	8月の報酬月額計算結果の該当タイプ (有効日は7月)	9月の報酬月額計算結果の該当タイプ (有効日は8月)
1	該当なし	該当なし	定時決定	行は作成されません	行は作成されません
2-1	該当なし	候補者	定時決定 → 該当なし	行は作成されません	随時改定
2-2	該当なし	候補者	定時決定	行は作成されません	該当なし
3-1	候補者	該当なし	定時決定 → 該当なし	随時改定	行は作成されません
3-2	候補者	該当なし	定時決定	該当なし	行は作成されません
4-1-1	候補者	候補者	定時決定 → 該当なし	随時改定	随時改定
4-1-2	候補者	候補者	定時決定 → 該当なし	随時改定	該当なし
4-2-1	候補者	候補者	定時決定 → 該当なし	該当なし	随時改定
4-2-2	候補者	候補者	定時決定	該当なし	該当なし

労働保険の管理

労働保険ルールについて

この項では、次について説明します。

- 労働保険料の計算のために配布されたエレメント。
- 年齢による免除の決定のために配布されたエレメント。
- 短時間労働被保険者の管理のために配布されたエレメント。
- 配布エレメントの表示。

労働保険料の計算のために配布されたエレメント

PeopleSoft では、労働保険料に対する被保険者負担分および事業主負担分の計算のためのエレメントが配布されています。

被保険者負担分の労働保険料

被保険者負担分の労働保険料の計算には、次のエレメントが使用されます。

- 給与または賞与に対する労働保険料の控除処理で使用される控除エレメント LA EMP SAL および LA EMP BON。
- 業種 A、業種 B (農林水産、清酒製造業) および業種 B (建設) の 3 つの雇用保険の業種に対する変数。
- 賃金総額が 92,000 円 から 484,000 円までのときの、業種 A および B に対する雇用保険料率を決定するためのブラケット。
- 賃金総額がブラケット外の場合の雇用保険料の計算のための変数およびフォーミュラ。

事業主負担分の労働保険料

事業主負担分の労働保険料の計算には、次のエレメントが使用されます。

- 事業主負担分の計算を行うかどうかを決定する変数エレメント LA VR CALC ER FLG。デフォルト値は 0 (計算しない) です。
- 業種に対する変数。これらの変数は、被保険者負担分の計算で使用されている変数と同じです。
- 前述の 3 つの業種に対する事業主負担分の雇用保険料率を決定するためのブラケット。

- 労災保険料率を保持する変数 LA VR WKRCMP RT。
- 計算によって求められた事業主負担分の雇用保険料に対する変数 LA VR EMPL INS CO。
- 計算によって求められた労災保険料に対する変数 LA VR WKR COMP。
- 事業主負担分の労働保険料の計算結果 (LA VR EMPL INS CO および LA VR WKR COMP) を保持する書込み可能アレイ GPJP_WA_SCRPT。

年齢による免除の決定のために配布されたエレメント

PeopleSoft では、従業員が 4 月 1 日の時点で 64 歳に達しているかどうかを判定し、64 歳に達している場合には保険料を控除しないようにするための日付エレメント、デューレーション、フォーミュラ、変数およびジェネレーション コントロールが配布されています。

短時間労働被保険者の管理のために配布されたエレメント

レポート作成のために短時間労働被保険者情報を管理する変数が配布されています。従業員のステータスが短時間労働被保険者になったり、短時間労働被保険者から変更されたときに提出する区分変更届の作成や、被保険者離職証明書の内容の決定に、この情報が使用されます。

配布エレメントの表示

PeopleSoft では、日本用に設計されたすべての配布エレメントを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、*PeopleSoft グローバル ペイロール*で説明されています。

関連リンク

「配布エレメントの表示方法について」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

労働保険情報の入力

この項では、労働保険情報の設定の概要と、労働保険データの入力方法について説明します。

労働保険データの入力に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「労働保険データ管理 JPN」ページ	GPJP_LA_PYE_DATA	各従業員の雇用レコードすべてに対する労働保険データを入力します。

労働保険情報の設定について

労働保険料を計算する前に、いくつかのデータを入力する必要があります。

労働保険データを設定するには、次の手順に従います。

1. 「労働保険事業所」ページで労働保険事業所を定義します。

各労働保険事業所に対する業種を選択します。

2. 「労働保険データ管理 JPN」ページで、従業員の労働保険データを設定します。

複数の雇用レコードを持ち、それぞれの雇用レコードから個別に給与を支給される従業員の場合、それぞれの雇用レコードに対して個別に労働保険データを入力します。

労働保険料データは、従業員の雇用レコードごとに控除されます。

「労働保険データ管理 JPN」ページ

「労働保険データ管理 JPN」ページ (GPJP_LA_PYE_DATA) を使用して、各従業員の雇用レコードすべてに対する労働保険データを入力します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「受給者データ」、「社会保険」、「労働保険データ管理 JPN」、「労働保険データ管理 JPN」

画像: 「労働保険データ管理 JPN」ページ

次の例では、「労働保険データ管理 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

労災保険

労災保険区分

「常用労働者」、「役員で労働者」、「臨時労働者」、「適用外」から選択します。

役員報酬など、支給が労災保険の対象でない場合は、「適用外」を選択します。

雇用保険

労災保険区分

被保険者: 雇用保険の対象となる一般従業員です。

役員: 雇用保険の対象となる、従業員として勤務する役員です。

適用外: 1 週間の標準勤務時間が 20 時間未満の受給者など、雇用保険の対象外となる、その他のすべての受給者です。

注: 雇用保険区分が「役員」または「被保険者」の従業員は、支給の時点で 64 歳以上でないかぎり、雇用保険料の控除の対象となります。年齢は自動的に判定されます。「高年齢継続被保険者」チェック ボックスの値には影響されません。グローバルペイロール (日本) では、任意の高年齢継続被保険者はサポートしていません。

高年齢継続被保険者

受給者の雇用保険区分が「役員」または「被保険者」であり、概算・確定保険料申告書基礎資料で受給者を「高年齢継続被保険者」として分類する必要がある場合に、このチェック ボックスを選択します。高年齢継続被保険者として分類される従業員を判定するには、雇用保険免除者一覧表を使用します。

短時間労働者

受給者の雇用保険区分が「役員」または「被保険者」であり、短時間労働者として分類する必要がある場合に、このチェック ボックスを選択します。

労働保険レポート データの入力および確認

この項では、労働保険データの入力処理の概要と、労働保険レポート データの入力方法について説明します。

労働保険レポート データの入力および確認に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「労働保険レポート データ管理 JPN」ページ	GPJP_LA_PYE_RPT	労働保険レポートのためのデータを入力します。
資格取得届データ ページの表示	GPJP_LA_PYE_RPT1	資格取得届に転記可能なデータが表示されます。
氏名変更届および資格喪失届データの表示	GPJP_LA_PYE_RPT2	資格喪失届または氏名変更届に転記可能なデータが表示されます。

ページ名	定義名	用途
転勤届および区分変更届データの表示	GPJP_LA_PYE_RPT3	転勤届または区分変更届に転記可能なデータが表示されます。

労働保険レポート データについて

グローバル ペイロール (日本) では、手動による労働保険レポートの作成に使用するデータを取得するページが提供されています。データ取得が可能な労働保険レポートは次のとおりです。

- 資格取得届。
- 資格喪失届。
- 区分変更届。
- 転勤届。
- 氏名変更届。

レポート データを入力するには、次の手順に従います。

1. 「労働保険レポート データ管理 JPN」ページの関連するフィールドを設定します。

注: レポートの作成に使用されるフィールドを確認するには、「帳票種別」を選択して「レポートの表示」リンクをクリックします。

2. ページの下にある「レポートの表示」リンクをクリックします。

このリンクをクリックして表示されるページは、「労働保険レポート データ管理 JPN」ページで指定した「帳票種別」フィールドの値によって変わります。

3. レポートの内容を確認します。

日付データは、自動的に和暦に変換されます。また、「労働保険レポート データ管理 JPN」ページで指定した帳票種別に対応するレポート コードも表示されます。

入力内容が正しいことを確認したら、レポートにデータをコピーします。オンライン レポート ページには、政府によって定義されている OCR 帳票書式のデータ入力順とほぼ同じ順序でデータが表示されます。

注: 複数の雇用レコードから個別に給与が支給される従業員の場合、労働保険レポート データをそれぞれの雇用レコードに対して個別に入力します。

この項で使用する共通フィールド

被保険者になった年月日

「帳票種別」が「資格取得届」の場合に、「労働保険レポート データ管理 JPN」ページで入力した有効日が表示されます。

賃金月額

「労働保険レポートデータの管理」ページの「賃金月額」フィールドに入力した値が表示されます。この値は、端数なしの1,000円単位の値に変換されます。

標準勤務時間

「職務情報」ページに表示される受給者の標準勤務時間が表示されます。

「労働保険レポート データ管理 JPN」ページ

「労働保険レポート データ管理 JPN」ページ (GPJP_LA_PYE_RPT) を使用して、労働保険レポートのためのデータを入力します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「受給者データ」、「社会保険」、「労働保険レポート データ管理 JPN」、「労働保険レポート データ管理 JPN」

画像: 「労働保険レポート データ管理 JPN」ページ

次の例では、「労働保険レポート データ管理 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

帳票種別

「資格取得」、「氏名の変更」、「退職」、「転勤」の帳票種別から選択します。選択した値によって、「レポートの表示」リンクをクリックしたときに表示されるページが決まります。

資格取得理由

値は、「日雇から切替」、「新規雇用 (新卒)」、「新規雇用 (その他)」、「その他」、「出向元へ復帰」です。

「契約開始日」および「終了日」

「契約期間の定め」フィールドで「契約期間あり/契約の更新なし」または「契約期間あり/契約の更新あり」の条件を選択した場合、契約の開始日および終了日を指定する必要があります。

メモ	備考の入力に、このフィールドを使用します。たとえば、契約の更新をしない理由、保険の対象外になっている理由、または離職証明書が必要かどうかなどを入力します。
レポートの表示	このリンクをクリックすると、指定した帳票種別に対して入力したデータを確認できるページが表示されます。

資格取得届データ ページの表示

ナビゲーション

「労働保険レポートデータ管理 JPN」ページで「レポートの表示」リンクをクリックします。(このページで、「帳票種別」に「資格取得」を選択してください。)

「資格取得届」ページ (GPJP_LA_PYE_RPT1) を使用して、資格取得届に転記可能なデータを表示します。

注: このページで、「帳票種別」に「資格取得」を選択してください。

帳票種別	資格取得届の帳票種別 10101 が表示されます。(グローバルペイロール (日本) では、帳票種別 10162 はサポートしていません。)
取得区分	「労働保険レポートデータ管理 JPN」ページの「雇用形態」フィールドで指定した値によって、1 または 2 が表示されます。「新規雇用 (新卒)」または「新規雇用 (その他)」を選択すると 1 が表示され、その他の値を選択すると 2 が表示されます。
変更理由	「労働保険レポートデータ管理 JPN」ページの「資格取得理由」フィールドで指定した値によって、1、2、3、4 または 8 が表示されます。

氏名変更届および資格喪失届データの表示

「氏名変更/資格喪失レポート」ページ (GPJP_LA_PYE_RPT2) を使用して、資格喪失届または氏名変更届に転記可能なデータを表示します。

ナビゲーション

「労働保険レポートデータ管理 JPN」ページで「レポートの表示」リンクをクリックします。(このページで、「帳票種別」に「氏名の変更」または「退職」を選択してください。)

注: このページで、「帳票種別」に「氏名の変更」または「退職」を選択してください。

フリガナ (フリガナ)	「労働保険レポートデータ管理 JPN」ページに表示される有効日より前の時点のフリガナが表示されます。
新規フリガナ (新規フリガナ)	現在のフリガナが表示されます。
帳票種別	氏名変更届の場合は 10102、資格喪失届の場合は 10103 が表示されます。(グローバル ペイロール (日本) では、氏名変更の帳票種別 10190 および資格喪失の 10191 はサポートしていません。)
指定日	資格喪失届の場合、このフィールドには「労働保険レポート データ管理 JPN」ページで入力された有効日が表示されます。

転勤届および区分変更届データの表示

「転勤、区分変更レポート」ページ (GPJP_LA_PYE_RPT3) を使用して、転勤届または区分変更届に転記可能なデータを表示します。

ナビゲーション

「労働保険レポートデータ管理 JPN」ページで「レポートの表示」リンクをクリックします。(このページで、「帳票種別」に「転勤」または「区分変更届」を選択してください。)

注: このページで、「帳票種別」に「転勤」または「区分変更届」を選択してください。

帳票種別	転勤届の場合は 10106、区分変更届の場合は 10107 が表示されます。
転勤前の事業所番号 (前の労働保険事業所番号)	転勤が有効になる日より前の時点の労働保険事業所番号が表示されます。この番号は、労働保険受給者データ テーブルから取得されます。

労働保険レポートの実行

この項では、労働保険レポートの概要と前提条件について説明します。

労働保険レポートの実行に使用するページ

ページ名	定義名	用途
雇用保険料免除者一覧表 (GPJPLA01) について	GPJP_RC_LA01	雇用保険免除者一覧表 (GPJPLA01) を実行します。このレポートには、年齢のために労働保険料の支払いを免除される従業員がリスト出力されます。

ページ名	定義名	用途
概算・確定保険料申告書基礎資料 (GPJPLA02) について	GPJP_RC_LA01	概算・確定保険料申告書基礎資料 (GPJPLA02) を実行します。このレポートには、毎年 5 月に提出義務のある概算・増加概算・確定保険料申告書の作成に必要とされる労災保険および雇用保険の賃金情報が出力されます。
雇用保険資格取得届 (GPJPLA03) について	GPJP_RC_LA_PYE_RPT	雇用保険資格取得届ファイル (GPJPLA03)、データ ファイル、サマリ ログ ファイルおよび詳細ログ ファイルの作成を実行します。

雇用保険料免除者一覧表 (GPJPLA01) について

このレポートでは、ラン コントロール ページで選択した対象年度の 4 月 1 日時点で 64 歳以上になっている従業員がリスト出力されます。このレポートには、従業員 ID、部門、役職、生年月日および性別が記載されます。また、パラメータで部門や労働保険事業所を指定すると、指定した部門や事業所ごとの免除者の合計人数もリスト出力されます。

このレポートに出力される従業員の中に高年齢継続被保険者の従業員がいる場合は、「労働保険データ管理 JPN」ページで「高年齢継続被保険者」チェック ボックスを選択します。

概算・確定保険料申告書基礎資料 (GPJPLA02) について

このレポートは、毎年 5 月に提出する必要がある概算・増加概算・確定保険料申告書の作成に役立ちます。このレポートを実行する前に、保険年度 (4 月 1 日から 3 月 31 日) 内のすべての月で給与計算を実行し、確定しておく必要があります。

労災保険および雇用保険の両方について、加入している従業員数、給与および賞与に含まれる賃金、保険区分 (常用労働者、役員で労働者など) ごとの加入人数合計などを一覧にしたものが出力されます。また、高年齢継続被保険者を含めた加入者合計と、高年齢継続被保険者を除外した加入者合計も記載されます。

このレポートには、ラン コントロール ページで選択した対象年度の前年の 4 月 1 日から、選択した年の 3 月 31 日までのデータが一覧表示されます。

雇用保険資格取得届 (GPJPLA03) について

雇用保険資格取得届ファイル作成を実行すると、次のファイルが作成されます。

- PDF 形式の雇用保険資格取得届ファイル (GPJPLA03)。
- サマリ ログ ファイル (GPJP_LA03_sum.csv)。

このファイルには、労働保険事業所の詳細データ、ファイル作成日付、データ ファイル内の従業員数、およびデータ ファイル内で検出されたエラーの数が出力されます。

- データ ファイル (shutoku.csv)。

このファイルには、ラン コントロール日付時点で新しく資格を取得している従業員の詳細データが出力されます。

- 詳細ログ ファイル (GPJP_LA03_dtl.csv)。

このファイルには、従業員 ID、氏名、エラーのあるフィールドおよびエラーの詳細が出力されます。

公共職業安定所に資格取得データを提出するには、「労働保険レポート データの管理」ページで作成した資格取得届データを転記して、従業員ごとに個別の紙のレポートを作成します。このレポートのかわりに、csv 形式のデータ ファイル、雇用保険資格取得届 (GPJPLA03) およびサマリレポートの 3 つを提出することもできます。サマリレポートを作成するには、公共職業安定所から提供される、書式があらかじめ印刷されている用紙にサマリ ログ ファイルからデータを転記します。

雇用保険資格取得届ファイル作成の実行のための前提条件

雇用保険資格取得届ファイル作成を実行する前に、ファイル ハンドルを作成する必要があります。ファイル ハンドルの作成時にはファイル名を入力する必要がありますが、ファイルを作成する場合は、このファイル名は使用されません。次の表で記述されている名称指定規則が適用されます。

ファイル	名称指定規則
データ ファイル	shutoku + (ジョブ インスタンス) +.csv
サマリ ログ ファイル	gpjp_la03_sum_ + (ジョブ インスタンス) +.csv
詳細ログ ファイル	gpjp_la03_dtl_ + (ジョブ インスタンス) +.csv

関連リンク

[ファイル ハンドルの設定](#)

住民税の管理

住民税ビジネス プロセス処理について

PeopleSoft グローバル ペイロール (日本) では、次の目的に使用するルール、ページ、プロセスおよびレポートが提供されています。

- 住民税テーブルの設定。このテーブルには、従業員の自治体データおよび受給者番号データとともに、住民税の月額が保存されます。
- 自治体に提出する給与支払い報告書およびその総括表の準備。
- 手動またはデータロード プロセスによる、自治体から受け取った住民税額および個人番号のロード。
- 給与からの住民税額の控除。
- 自治体に提出する住民税納付先別一覧表の準備。

注: PeopleSoft では、日本用に設計されたすべての配布エレメントを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、*PeopleSoft グローバル ペイロール*で説明されています。

「[配布エレメントの表示方法について](#)」(「[PeopleSoft グローバル ペイロール](#)」)を参照してください。

「[年末調整レポートの実行](#)」を参照してください。

対象年度

対象年度とは、通常、処理を実行する対象の年度またはレポートを作成する対象の年度を指します。グローバル ペイロール (日本) では、対象年度を次のように定義して住民税について説明します。自治体は、6月1日から翌年の5月31日までを期間とする住民税を月額で通知します。この6月1日が含まれている年が、対象年度になります。

住民税テーブルの管理方法について

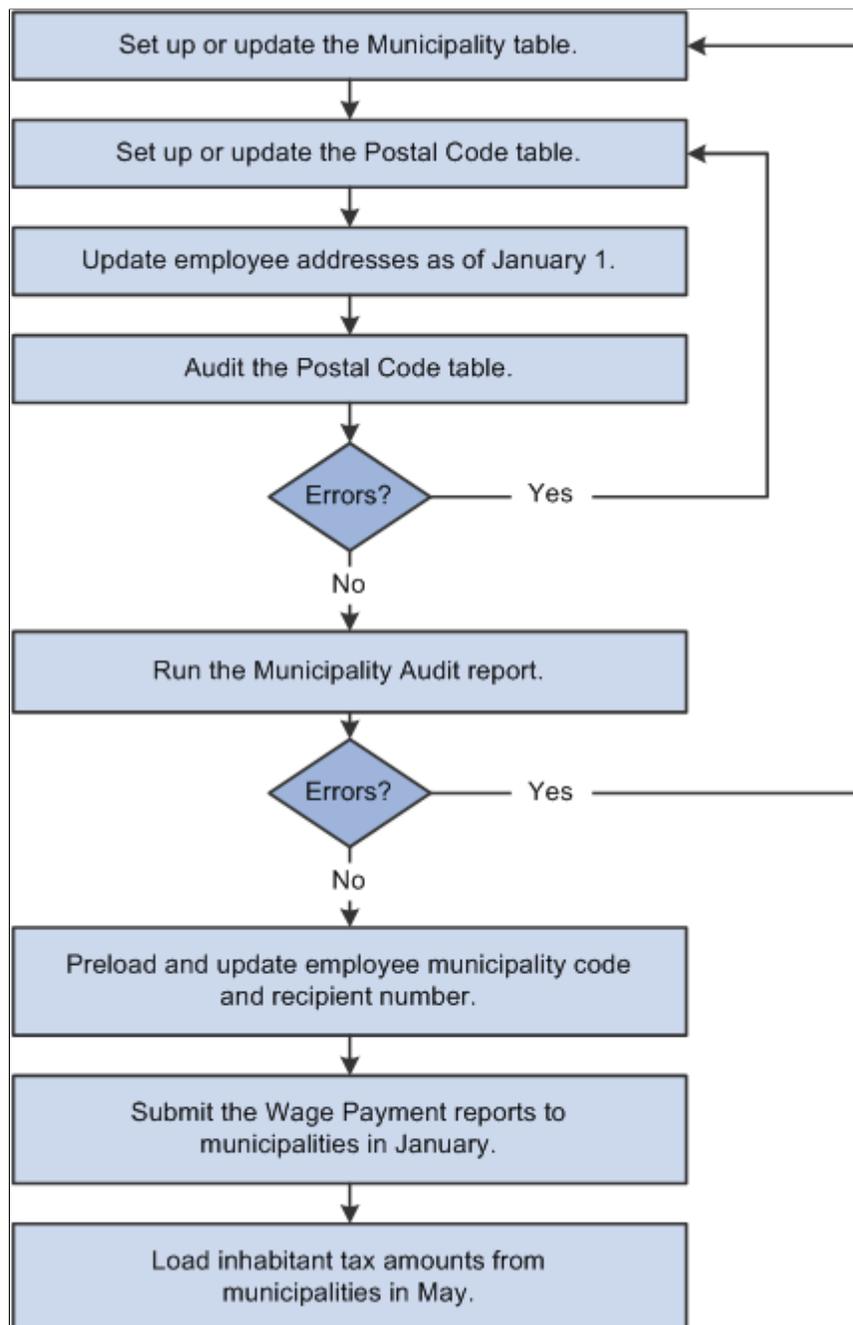
住民税テーブル (GPJP_IH_PYE_TAX) には、各従業員が徴収されている住民税に対する有効日付きの行が含まれています。この行には、従業員 ID、雇用レコード、受給者番号、個人番号、自治体コードおよび前職の徴収済月が含まれます。住民税は、従業員が複数の職務で支給を受けていても、1つの職務レコードからのみ控除されます。

従業員の住民税額を決定するには、まず従業員の住所の郵便番号と住民税を納める自治体の関連付けを行います。この関連付けを行うには、自治体テーブルと郵便番号テーブルの関連付けを行う必要があります。住民税納付先取得エラーレポートクエリーでは、自治体コードに関連付けられていない郵便番号が特定されます。この関連付けが確立されると、従業員と自治体が結び付けられます。

従業員と自治体の関連付けが確認できたら、住民税テーブルを作成できます。このテーブルには、住民税額ロードプロセス (GPJP_IHMUN2) を使用して電子的にデータをロードすることも、手動でデータを入力することもできます。

画像: 住民税テーブルの管理方法を説明するプロセス

次の図は、住民税テーブルの管理プロセスを表しています。



住民税テーブルの管理について、次に詳しく説明します。

1. 「自治体」テーブルで、自治体コードと給与支払い者整理番号および特別徴収義務者指定番号を関連付けます。
2. 「郵便番号 JPN」ページで、自治体コードを郵便番号に関連付けます。
3. 対象年度の1月1日時点での従業員の住所を更新します。
4. 住民税納付先取得エラーレポートクエリーを実行し、郵便番号テーブルの中で自治体コードが指定されていない郵便番号を特定します。

足りない自治体コードを「郵便番号 JPN」ページに追加します。

5. 従業員の住所の郵便番号に誤りがないか確認するために、住民税納付先取得エラーレポート JPN レポートを実行します。
 - a. 住民税納付先取得エラーレポートで報告されたエラーを訂正します。
 - b. エラーがなくなるまで、住民税納付先取得エラーレポートを再実行します。
 - c. 住民税額レコード初期作成プロセス (GPJP_IHMUN1) を実行する前に、すべてのエラーを訂正する必要があります。
6. 住民税額レコード初期作成プロセスを実行します。

このプロセスでは、各従業員の自治体コードと受給者番号が、対象年度の6月1日を有効日として住民税テーブルにロードされます。

必要に応じて「住民税データ管理 JPN」ページで、対象年度に対する受給者番号と雇用レコードを変更します。

7. 対象年度の1月末までに、更新済の給与支払い報告書を総括表と一緒に各自治体に送付します。
8. 対象年度の5月に自治体から提供される従業員の住民税額および個人番号をロードします。
 - 印刷されたリストからデータをロードするには、「住民税データ管理 JPN」ページで税額を手動で入力します。
 - 電子ファイルからデータをロードするには、住民税額ロードプロセス (GPJP_IHMUN2) を使用します。

関連リンク

[年末調整レポートの実行](#)

前提条件

住民税の処理の前に、次の手順を実行しておく必要があります。

1. 「自治体テーブル」ページで、自治体コードを給与支払い者整理番号および特別徴収義務者指定番号に関連付けます。
2. 「郵便番号 JPN」ページで、自治体コードを郵便番号に関連付けます。
3. 住民税テーブルに直接データをロードする、各自治体の電子ファイルのファイル ハンドルを定義します。「ファイル ハンドル JPN」ページを使用します。

住民税額を手動でロードする場合は、この手順を省略できます。

関連リンク

[住民税処理に関する設定](#)

住民税テーブルの設定

この項では、住民税額レコード初期作成プロセスの概要と関連アクティビティについて説明します。

住民税テーブルの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「クエリー マネージャ」ページ	QRY_SELECT	郵便番号 JPN テーブルに未登録の自治体コードを特定および訂正します。住民税納付先取得エラーレポート クエリーを実行し、郵便番号 JPN テーブルの中で自治体コードが指定されていない郵便番号を特定します。
「住民税納付先取得エラーレポート JPN」ページ	GPJP_RC_IH_AUD	郵便番号エラーのオーデイトおよび訂正を行います。住民税納付先取得エラーレポートを実行すると、法的住所または自宅住所の郵便番号が無効な従業員に対するエラー メッセージがリスト出力されます。
「住民税額レコード初期作成 JPN」ページ	GPJP_RC_IH_MUN1	住民税額レコード初期作成プロセスを実行して、対象年度の従業員 ID、自治体コード、受給者番号を住民税テーブルにロードします。

住民税額レコード初期作成プロセスについて

住民税額レコード初期作成プロセス (GPJP_IHMUN1) では、指定した給与支払い者整理番号によって従業員が選択されます。このプロセスでは、各従業員の自治体コードと受給者番号が、対象年度の6月1日を有効日として住民税テーブルにロードされます。「住民税データ管理 JPN」ページで、このプロセスの結果を表示、更新および訂正できます。

自治体コード

このプロセスでは、対象年度の1月1日時点における従業員の法的住所レコードの郵便番号に基づいて、郵便番号 JPN テーブルの自治体コードが選択されます。従業員に法的住所がない場合は、自宅住所レコードの郵便番号が使用されます。

雇用レコード番号

住民税データ行がすでに存在する場合、新しい行の雇用レコードは古い行の雇用レコードで更新されます。住民税データ行が存在しない場合は、新規に挿入される行に対する課税控除のために、税区分が甲種の所得税レコードの雇用レコードが選択されます。税区分が甲種の所得税レコードがない場合、新規に挿入される行に対する課税控除のために、給与計算システム フラグがグローバル ペイロールである職務レコードの最も小さい雇用レコードが選択されます。

受給者番号

このプロセスによって、各従業員の受給者番号が次のようにロードされます。

- 導入年度。

受給者番号として、従業員 ID がロードされます。受給者番号が従業員 ID と異なる場合は、受給者番号を手動で訂正する必要があります。

- 継続年度。

対象年度の自治体コードが検索されます。前年度の住民税レコードの従業員の自治体コードと、対象年度の住民税レコードの自治体コードが比較されます。

- 自治体コードが一致しない場合は、プロセスが従業員 ID を割り当てます。
- 自治体コードが一致した場合は、その受給者番号がそのまま使用されます。

プロセスを実行する際の注意

このプロセスを実行する前に、住民税納付先取得エラーレポートクエリと住民税納付先取得エラーレポート JPN レポートを実行して、すべての郵便番号エラーを訂正しておく必要があります。

このプロセスは、各給与支払い者整理番号および対象年度に対して1回のみ実行できます。2回実行しようとする、エラーメッセージが表示され、プロセスが中断されます。

郵便番号エラーのオーディットおよび訂正

対象年度の1月1日時点の従業員の住所レコードの郵便番号エラーを見つけるために、住民税納付先取得エラーレポート JPN レポートを実行します。郵便番号の検索では、最初に法的住所が参照されます。従業員に法的住所がない場合は、自宅住所が参照されます。

エラー メッセージ	訂正
自治体コードが自治体テーブルに存在しません。	その自治体コードが正しい場合は、自治体テーブルにこの自治体コードを追加して郵便番号 JPN テーブルの郵便番号と関連付けます。
住所に登録されている郵便番号が、郵便番号 JPN テーブルに存在しません。	個人住所テーブル上の、その従業員の郵便番号を訂正する必要があります。
住所に郵便番号が登録されていません。	従業員の住所データに郵便番号がありません。個人住所テーブルのその従業員のデータに、郵便番号を追加する必要があります。

「クエリー マネージャ」ページ

「クエリー マネージャ」ページ (QRY_SELECT) を使用して、郵便番号 JPN テーブルに未登録の自治体コードを特定および訂正します。

ナビゲーション

レポート ツール, 「クエリー」, 「クエリー マネージャ」, 「クエリー マネージャ」

住民税納付先取得エラー レポート クエリーを実行し、郵便番号 JPN テーブルの中で自治体コードが指定されていない郵便番号を特定します。

郵便番号 JPN テーブルに未登録の自治体コードを特定および訂正するには、次の手順に従います。

1. クエリー GPJP_AUDIT_BLANK_MUNIC を検索します。
2. クエリーを実行します。
3. 自治体コードが指定されていない郵便番号がリスト出力されます。

注: 住民税額レコード初期作成プロセスを実行する前に、郵便番号 JPN テーブルに未登録の自治体コードを訂正しておく必要があります。

「住民税額レコード初期作成 JPN」ページ

「住民税額レコード初期作成 JPN」ページ (GPJP_RC_IH_MUN1) を使用して、住民税額レコード初期作成プロセス (GPJP_IHMUN1) を実行し、自治体コードや受給者番号を更新します。このプロセスでは、対象年度に対する従業員 ID、自治体コードおよび受給者番号が住民税テーブルにロードされます。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「税」、「住民税額レコード初期作成 JPN」、「住民税額レコード初期作成 JPN」

画像: 「住民税額レコード初期作成 JPN」ページ

次の例では、「住民税額レコード初期作成 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

対象年度

デフォルト値は当年度です。

給与支払者整理番号

ここで入力した給与支払い者整理番号で自治体に報告するすべての従業員が選択されます。

関連リンク

[住民税額レコード初期作成プロセスについて](#)

住民税データのロード

この項では、住民税データのロードの概要について説明します。

住民税データのロードに使用するページ

ページ名	定義名	用途
「住民税データ管理 JPN」ページ	GPJP_IH_PYE_TAX	<p>住民税データを更新します。住民税額レコード初期作成プロセスの実行後に、受給者番号の確認および訂正を行います。</p> <p>必要に応じて、新規採用者の住民税データを入力します。</p> <p>この税を控除する必要がある雇用レコードを入力します。</p> <p>必要に応じて、雇用終了する従業員から一括徴収する残額を入力します。</p> <p>電子ファイルロードプロセスを使用しない場合は、自治体から入手した住民税額を手動で入力します。</p>
「徴収状況詳細」ページ	GPJP_IH_COL_STAT	従業員ごとの住民税の年間累計額を確認します。
「住民税額ロード JPN」ページ	GPJP_RC_IH_MUN2	電子ファイルから住民税額をロードします。住民税額ロードプロセスを実行して、自治体から送られてきた住民税額データをロードします (電子ファイルデータを使用する場合)。

住民税データのロードについて

手動で住民税額を入力することも、電子ファイルから税額データをロードすることもできます。

受給者の住民税データをロードしたら、再ロードプロセスを使用してデータを変更できます。ユーザーによる更新を行ったデータのみを選択して、データの上書きや削除が可能です。

住民税データのロードでは、次のことが可能です。

- 自治体から送られてきたファイルをテーブルにロードできます。
- 必要に応じて、ロードプロセスによってロードされた行を変更できます。
- 新規採用した従業員など、情報がまだ自治体に送られていない従業員に対する行を新規に作成できます。

「住民税データ管理 JPN」ページ

「住民税データ管理 JPN」ページ (GPJP_IH_PYE_TAX) を使用して、住民税データを更新します。

「住民税データ管理 JPN」ページ (GPJP_IH_PYE_TAX) は、住民税額レコード初期作成プロセスの実行後に、受給者番号の確認および訂正を行うために使用します。

住民税額レコード初期作成プロセスの実行後に、受給者番号の確認および訂正を行います。必要に応じて、新規採用者の住民税データを入力します。この税を控除する必要のある雇用レコードを入力します。必要に応じて、雇用終了する従業員から一括徴収する残額を入力します。電子ファイルロードプロセスを使用しない場合は、自治体から入手した住民税額を手動で入力します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「受給者データ」、「税」、「住民税データ管理 JPN」、「住民税データ管理 JPN」

画像: 「住民税データ管理 JPN」ページ

次の例では、「住民税データ管理 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Maintain Inhab Tax Data JPN

Hiromi Goto Person ID KJ1004

Inhabitant Tax Data Find | View All First 1 of 1 Last

'Effective Date' 06/01/2007 Empl Record 0

'Recipient Number' KJ1004

Individual Number

'Municipal Code' 000004 Minato-ku

Prev Employment Last Month

Tax Amount

Yearly Total 104400.000000

Tax Amount Details Personalize | Find | View All First 1-2 of 2 Last

'Begin Date'	'End Date'	One-Time Tax Amount	Updated/Processed
06/01/2007	06/30/2007	8700	User Modified
07/01/2006	05/31/2007	8700	User Modified

Collection Status

有効日

住民税額レコード初期作成プロセスによって、自治体に報告する従業員データの有効日は対象年度の6月1日に設定されます。新規採用者の住民税データの手動入力では、実際の入社日に関係なく、対象年度の6月1日を使用されます。

雇用レコード (雇用レコード番号)

住民税データを徴収する雇用レコードのレコード番号を選択します。

受給者番号

従業員 ID が正しい受給者番号ではない場合は、変更できません。

個人番号	住民税額ロード プロセスによってロードされた値が表示されま す。
自治体コード	対象年度の1月1日時点でのその従業員の住所の郵便番号 に基づいた値が表示されます。
前職の徴収済月	前職の事業主が最後に住民税を支払った月を入力します。こ のフィールドは、受給者が対象年度内に採用された場合に使用 します。
税額詳細	
徴収月額	開始日と終了日の間に支給される給与から控除される、従業 員の住民税月額を入力します。 新規採用者の税額を手動で入力する場合は、「開始日」フィー ルドと「終了日」フィールドに当月の最初の日付と最後の日付を それぞれ入力します。

「徴収状況詳細」ページ

「徴収状況詳細」ページ (GPJP_IH_COL_STAT) を使用して、従業員ごとの住民税の年間累計額を確認
します。

ナビゲーション

「住民税データ管理 JPN」ページの「徴収状況」リンクをクリックします。

画像: 「徴収状況詳細」ページ

次の例では、「徴収状況詳細」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Maintain Inhab Tax Data JPN			
Collection Status Details			
Name Hiromi Goto			
Individual Number			
Collection Status			
Object Year	2007	Begin Date	06/01/2007
		End Date	05/31/2008
Month Last Collected	June		
Special Collection Tax	8700.000000	To Date	8700
		To Be Collected	0
Municipality			
Municipal Code	000004	Minato-ku	
Specified Number			
Address as of January First	Country Japan		
	Address 248-0031 Kanagawa-Ken Kamakura-shi 2-20-2 Kamakurayama		
Current Address			
Current Address	Country	Japan	United States
	Address	248-0031 Kanagawa-Ken Kamakura-shi 2-20-2 Kamakurayama	

このページでは、特別徴収にかかる給与所得者異動届出書の作成に必要なデータがサマリ表示されます。

「住民税額ロード JPN」ページ

「住民税額ロード JPN」ページを使用して、電子ファイルから住民税額をロードします。住民税額ロード プロセスを実行して、自治体から送られてきた住民税額データをロードします (電子ファイル データを使用する場合)。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「税」、「住民税額ロード JPN」、「住民税額ロード JPN」

画像: 「住民税額ロード JPN」ページ

次の例では、「住民税額ロード JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

対象年度 デフォルト値は当年度です。

ファイル ハンドル 住民税テーブルにロードする自治体ファイルを識別するファイルハンドルを選択します。

注: PeopleSoft グローバル ペイロール (日本) では、モデルとして東京都のファイル形式が提供されています。アプリケーション デザイナを使用して、他の自治体の形式に修正できます。

レコード ロード オプション

ロード値のみ削除/上書きなし ユーザーによる変更や新規行を上書きせずに、自治体から送られてきたファイルをテーブルに再ロードする場合は、このオプションを選択します。

ロード値のみ削除/上書き ユーザーによる変更は上書きし、新規行は上書きせずに、自治体から送られてきたファイルをテーブルに再ロードする場合は、このオプションを選択します。

全て削除 ユーザーによる変更や新規行をすべて上書きして、自治体から送られてきたファイルをテーブルに再ロードする場合は、このオプションを選択します。

関連リンク

[ファイル ハンドルの設定](#)

住民税レポートの印刷

この項では、住民税納付先別一覧表の印刷に使用するページをリスト表示します。

住民税納付先別一覧表の印刷に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「住民税納付先別一覧表 JPN」ページ	GPJP_RC_IH_MNTH	住民税納付先別一覧表 (GPJPIH02) を出力すると、各自治体に納付する住民税の件数とその総額を支給期間別に確認できます。

住民税納付ファイルの管理

この項では、住民税納付ファイルの概要について説明します。

住民税納付ファイルの管理に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「住民税納付データロード JPN」ページ	GPJP_RC_IH_T_LDE	住民税納付ファイル作成用のデータをロードします。
住民税納付データの表示および管理	GPJP_IH_TAX_DATA	住民税納付データを自治体コード別に表示および修正します。
住民税納付ファイルの作成	GPJP_RC_IH_T_GEN	住民税納付ファイルを作成します。

住民税納付ファイルについて

従業員の住所がいくつかの自治体に限定されている場合は、自治体への住民税直接納付を適切に管理できます。一方、大企業では多くの場合、銀行サービスを利用して住民税納付を管理します。このような銀行サービスを利用する場合は、その旨を自治体に報告します。PeopleSoft グローバル ペイロール (日本) では、ファイルを作成して、銀行を利用した住民税納付を簡単に行うことができます。この機能では、全国地方銀行協会が定める定型書式をサポートしています。

給与計算が最終決定し、適切な調整を行ったら、住民税納付ファイル作成プロセスを実行して、住民税額を自治体別にソートしたファイルを作成します。このファイルには、給与と退職金の両方に基づいた住民税額が含まれます。この情報を 1 つの銀行に送信すると、その銀行から各自治体に住民税が振り込まれます。会社は、住民税の計算と控除を行った後、毎月 10 日までにこのファイルを転送する必要があります。

「住民税納付データ ロード JPN」ページ

「住民税納付データ ロード JPN」ページ (GPJP_RC_IH_T_LDE) を使用して、住民税納付ファイル作成用のデータをロードします。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「支給処理」、「住民税納付データ ロード JPN」、「住民税納付データ ロード JPN」

「住民税納付データ ロード JPN」ページをロードします(「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「支給処理」、「住民税納付データ ロード JPN」、「住民税納付データ ロード JPN」)。

画像: 「住民税納付データ ロード JPN」ページ

次の例では、「住民税納付データ ロード JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

給与支払者

住民税納付ファイル作成用のデータをロードする納付元事業所 ID を選択します。

対象年度

税金の支払い対象年度です。

月

税金の支払い対象月です。たとえば、6月に控除が行われ、7月10日までに納付する必要がある住民税の場合は6月を選択します。

送金元銀行

送金元銀行を選択します。

住民税納付データの表示および管理

「住民税ファイル データ管理 JPN」ページ (GPJP_IH_TAX_DATA) を使用して、住民税納付データを自治体コード別に表示および修正します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「支給処理」、「住民税ファイル データ管理 JPN」、「住民税ファイル データ管理 JPN」

画像: 「住民税ファイル データ管理 JPN」ページ

次の例では、「住民税ファイル データ管理 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

自治体コード	自治体テーブル ページの自治体コード ID が表示されます。
名称	自治体の名前です。
特別徴収者 (特別徴収義務者指定)	特別徴収義務者指定番号です。
異動	転送フラグです。
給与税額件数 (給与レコード)	給与に対する所得割税レコード数です。
所得割税額 (給与税額)	給与に対する所得割税額です。
退職税額件数 (退職レコード)	退職金に対する税レコード数です。
退職金税額 (退職合計)	退職金に対する税額です。
税件数 (税レコード)	税レコードの合計数です。
税額合計 (税額合計)	給与に対する税額と退職金に対する税額の合計額です。
退職者	退職者数です。
退職金額 (退職金額)	退職金額です。
税額 (税額)	自治体税額です。
都道府県税額 (都道府県税額)	都道府県税額です。

住民税納付ファイルの作成

「住民税データ ファイル作成 JPN」ページにアクセスします (「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」, 「支給処理」, 「住民税データ ファイル作成 JPN」, 「住民税データ ファイル作成 JPN」)。

画像: 「住民税データ ファイル作成 JPN」ページ

次の例では、「住民税データ ファイル作成 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

給与支払者	納付元事業所 ID を選択します。
対象年度	税金の支払い対象年度です。
月	税金の支払い対象月です。
送金元銀行 ID	税金の送金元銀行です。
ファイル ハンドル	出力フォーマットを選択します。

注: このプロセスを実行するには、事前にソース データをロードしておく必要があります。データがロードされていないと、エラー メッセージが表示されます。

源泉所得税

所得税の源泉徴収について

グローバル ペイロール (日本) では、給与と賞与の所得税額を算出し、それらを控除するためのルールが提供されています。また、複数雇用レコードを持つ従業員に対する所得税の計算を行うこともできます。

給与からの所得税

所得税の区分が甲種の場合に使用されるルールには、次の項目が含まれます。

- データ入力の各ページ、および扶養親族等の数と扶養控除の計算に使用するエレメント。
- 社会保険料控除後の給与等の金額の算出に使用するエレメント。
- 給与支払い者ごとに指定された、計算フォーミュラ IN FM SAL MAC KO または月額表による表引きフォーミュラ IN FM SAL TBL KO を使用した税額の決定。

所得税の区分が乙種の場合に使用されるルールには、次の項目が含まれます。

- 社会保険料控除後の給与等の金額の算出に使用するエレメント。
- 月額表による表引きフォーミュラ IN FM SAL TBL OT を使用した税額の決定。

注: 乙種の給与に対する扶養控除の適用がサポートされていますが、これが適用されることは非常にまれです。

賞与からの所得

賞与からの所得税は、通常は前月の給与に基づいて計算されます。賞与額が前月の給与額の 10 倍を超える場合、前月の給与額と賞与額の両方を使用して税金が計算されます。受給者が前月に給与を受け取っていない場合は、賞与額に基づいて税額が計算されます。

賞与に対する税額計算のルールでは、次の項目が実行されます。

- 前月の給与、前月の給与と賞与の両方または賞与のみのいずれに基づいて税額を計算するかの決定。
- 甲種の扶養親族等の数の算出。
- 甲種または乙種の賞与税率表を使用した賞与に対する税額の決定。

複数雇用レコードに対する所得税

複数雇用レコードを持つ従業員に対する所得税の計算に使用されるルールには、次の項目が含まれます。

- 各雇用レコードに対して所得税データを作成する必要があります。
- 各雇用レコードに対応する所得税データに基づいて所得税は計算されます。
- 税区分の甲種は、一度に1つの雇用レコードでのみ指定できます。一方、乙種または税率指定は、複数の雇用レコードで指定できます。
- 複数の雇用レコードで同一の扶養親族に対する控除を同時に認めることはできません。

従業員ごとに認められる控除は、扶養親族ごとに1つのみです。

前提条件

「納付元事業所」ページを使用して、給与支払い者整理番号を設定し、甲種の所得税の計算方法を指定します。

関連リンク

[納付元事業所と保険事業所の設定](#)

所得税の源泉徴収の準備

この項では、所得税の源泉徴収の準備および扶養控除の概要について説明します。

所得税の源泉徴収の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「所得税データ管理 JPN」ページ	GPJP_IT_PYE_TAX	給与支払い者整理番号、本人区分、障害情報など、従業員の所得税情報を入力します。
所得税の扶養親族データの入力	GPJP_IT_DEP_TAX	扶養親族データを入力します。

所得税の源泉徴収の準備について

所得税の源泉徴収の処理を開始する前に、次の情報をシステムに入力しておきます。

1. 各従業員の所得税データを「所得税データ管理 JPN」ページで入力します。
2. 扶養親族データを入力します。

- PeopleSoft HR の「扶養家族データ」ページで、扶養家族 ID、従業員との続柄、生年月日を入力します。
- 「所得税扶養家族データ管理 JPN」ページで、扶養親族が控除対象であるかどうか、扶養親族が受給者と同居する親であるかどうか、および障害区分を指定します。

扶養控除について

グローバル ペイロール (日本) では、源泉徴収税の観点に基づいて、従業員は 3 つのタイプに識別されます。従業員のタイプは、その従業員がどのような扶養控除等申告書を組織に提出しているかによって決まります。

提出された扶養控除等申告書の種類	「所得税データ管理 JPN」ページ:「税区分」フィールド	「扶養控除」ページ
主たる給与についての扶養控除等申告書。	「甲種」を選択します。	扶養控除等申告書で提出された扶養親族のデータを入力します。
従たる給与についての扶養控除等申告書。	「乙種」を選択します。	扶養控除等申告書で提出された扶養親族のデータを入力します。
扶養控除等申告書未提出。	「乙種」を選択します。	所得税扶養親族情報を入力しないでください。

注: 前述のテーブルの組合せに基づいて、扶養控除の計算が処理されます。「乙種」の税区分を選択し、「所得税扶養家族データ管理 JPN」ページで扶養家族情報を定義すると、従たる給与を対象として扶養控除が計算されます。受給者から扶養控除等申告書を受け取っていない場合、扶養控除に関する情報は入力しないでください。

「所得税データ管理 JPN」ページ

「所得税データ管理 JPN」ページ (GPJP_IT_PYE_TAX) を使用して、給与支払い者整理番号、本人区分、障害情報など、従業員の所得税情報を入力します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「受給者データ」、「税」、「所得税データ管理 JPN」、「所得税データ管理 JPN」

画像: 「所得税データ管理 JPN」ページ

次の例では、「所得税データ管理 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

税区分

「税率指定」、「甲種」、「乙種」から選択します。

複数雇用レコードを持つ従業員の場合、「甲種」を指定できるのは、全雇用レコードの中で1つのみです。複数のレコードで指定すると、エラーメッセージが表示されます。複数の雇用レコードで同時に税区分の甲種を指定することが認められないため、現在の甲種のレコードを甲種以外の値に更新してから、他の甲種以外のレコードを甲種にする必要があります。

税区分が甲種ではない場合、従業員はこの扶養親族データをセルフサービスのページで更新することはできません。

税率

「税区分」に「税率指定」を選択した場合にかぎり、このフィールドに値を入力します。税率が20%の場合は、「0.2」と入力します。

世帯主との続柄

世帯主に対する従業員の続柄を選択します。従業員自身が世帯主の場合、「本人」を選択します。

世帯主氏名

従業員が世帯主ではない場合、世帯主の氏名を入力します。

障害に関する情報

従業員によって扶養控除等申告書で申告された障害に関する情報を入力および編集します。

関連リンク

[年末調整控除データの入力](#)

所得税の扶養親族データの入力

「所得税扶養家族データ管理 JPN」ページ (GPJP_IT_DEP_TAX) を使用して、扶養控除データを入力します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「受給者データ」、「税」、「所得税扶養家族データ管理 JPN」、「所得税扶養家族データ管理 JPN」

画像: 「所得税扶養家族データ管理 JPN」ページ

次の例では、「所得税扶養家族データ管理 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

このページで選択する内容によって、年末調整処理での所得税に対する扶養控除や、所得税の源泉徴収に対する扶養控除が決まります。このアプリケーションでは、扶養親族の誕生日と受給者との続柄に基づいて控除が決定されます。

扶養家族データ ページの情報	基準日における年齢	適用可能な扶養控除
続柄が「配偶者」で、「控除対象」が選択されている。	70 歳以上。	老人控除対象配偶者

扶養家族データ ページの情報	基準日における年齢	適用可能な扶養控除
続柄が「配偶者」で、「控除対象」が選択されている。	70 歳未満。	一般の控除対象配偶者
続柄が「配偶者」以外で、「控除対象」と「受給者と同居する親」が選択されている。	70 歳以上。	老人扶養親族 (同居老親等)
続柄が「配偶者」以外で、「控除対象」と「受給者と同居する親」が選択されている。	70 歳未満。	一般の扶養親族
続柄が「配偶者」以外で、「控除対象」と「受給者と同居する親」の選択が解除されている。	70 歳以上。	老人扶養親族 (同居老親等以外の者)
続柄が「配偶者」以外で、「控除対象」が選択されている。	16 歳以上、23 歳未満。	特定扶養親族
続柄が「配偶者」以外で、「控除対象」が選択されている。	23 歳以上、70 歳未満。	一般の扶養親族
続柄が「配偶者」以外で、「控除対象」が選択されている。	16 歳未満。	一般の扶養親族
前述以外の組合せ。	任意の年齢。	該当なし

扶養家族詳細

所得税の扶養親族データは、雇用レコード番号と関連付ける必要があります。複数雇用レコードを持つ従業員の場合、「所得税データ管理 JPN」ページで「税区分」の「甲種」に関連付けられている雇用レコード番号が「雇用レコード番号」フィールドのデフォルト値になります。「税区分」が「甲種」のデータに関連付けられている雇用レコード番号がない場合、ゼロがデフォルト値になります。

注: 扶養親族との続柄がヒューマン リソース管理で「元配偶者」に変更された場合は、このページで「控除対象」チェック ボックスの選択を解除してください。

注: 新生児の場合は、子の生年月日を「有効日」フィールドに入力します。これにより、子が生まれた年の税額が正しく計算されます。

障害の内容

従業員によって扶養控除等申告書で申告された障害に関する情報を入力および編集します。

扶養親族データの削除

扶養家族情報のページで扶養親族データを削除した場合、サービス オペレーション DEPBEN_SYNC が有効であれば、このページの扶養親族データも同時に削除されます。

関連リンク

[年末調整控除データの入力](#)

所得税源泉徴収簿の処理

この項では、所得税源泉徴収簿の概要とレポートの実行方法について説明します。

所得税源泉徴収簿レポートの実行に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「所得税源泉徴収簿 JPN」ページ	GPJP_RC_IT_WHRG	<p>所得税源泉徴収簿レポート (GPJPIT01) を実行して、カテゴリ別 (従業員 ID データ、給与データ、賞与データ、有給休暇データ、前職データ、総支給額データ、年末調整データおよび退職金データ) に給与計算データを印刷します。</p> <p>「所得税源泉徴収簿 JPN」ページ (GPJP_RC_IT_WHRG) を使用して所得税源泉徴収簿レポート (GPJPIT01) を実行し、カテゴリ別 (従業員 ID データ、給与データ、賞与データ、有給休暇データ、前職データ、総支給額データ、年末調整データおよび退職金データ) に給与計算データを印刷します。</p>

所得税源泉徴収簿について

PeopleSoft アプリケーション エンジンプロセスによって、グローバル ペイロールでの給与計算結果が所得税源泉徴収簿テーブル (GPJP_IT_WH_REG) および所得税源泉徴収簿詳細テーブル (GPJP_IT_WH_REG2) にロードされます。

SQR プロセスでは、所得税源泉徴収簿レコードと、ヒューマン リソース管理およびグローバル ペイロールのレコードからデータが抽出され、出力されます。

指定した給与支払い者を持つ雇用レコード、特定の従業員または従業員全員に対し、所得税源泉徴収簿を出力します。このレポートは、年末調整後、または任意の時期に実行します。

注: 年末調整データを所得税源泉徴収簿に含める場合は、このレポートを実行する前に年末調整テーブルロードのアプリケーション エンジン プロセス (GPJP_YEALOAD) を実行する必要があります。

配布された所得税控除エレメントの参照

控除	説明
IN TAX SAL	所得税 (給与)
IN TAX BON	所得税 (賞与)

PeopleSoft では、日本用に設計されたすべての配布エレメントを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、*PeopleSoft グローバル ペイロール*で説明されています。

関連リンク

「兼務について」(「PeopleSoft ヒューマン リソース管理人事・労務管理」)

財形貯蓄控除の管理

財形貯蓄プランについて

Zaiki貯蓄口座は、従業員の資産の形成および蓄積を促す目的で、国が援助するプランです。住宅貯蓄や年金貯蓄があります。事業主は従業員への支給額(給与および賞与)から一定金額を控除します。Zaiki貯蓄の利息に対しては税の優遇措置が適用される場合があります。事業主がZaiki貯蓄プランに参加するかどうかは任意ですが、多くの場合、従業員にこの有利なプランを提供しています。

Zaiki貯蓄口座商品および制限

会社は、金融機関に代わってZaiki貯蓄プランを管理するための契約を金融機関と結びます。金融機関は、Zaiki貯蓄の制限に合わせて既存の商品を変更します。次のような制限があります。

- 新しい口座の作成は、従業員の勤務先の会社に限られます。
- 拠出は、給与および賞与からの控除を通してのみ行われます。
- 従業員による引出しは、勤務先の会社を通してのみ行われます。
- 口座の解約は、従業員の勤務先の会社に限られます。

受給者別エレメント割当てについて

Zaiki貯蓄のための給与および賞与からの控除は、グローバルペイロールの受給者別エレメント割当てコンポーネントを使用して設定されます。Zaiki貯蓄控除を設定し、それを従業員に割り当てる手順は、次のとおりです。

1. Zaiki貯蓄控除に対する新しいエレメントカテゴリを作成します。

注: このエレメントカテゴリは、Zaiki貯蓄控除のみでなく、すべての非公的控除に使用できます。

2. 上書きレベルを「受給者」に設定して、会社が提供する各Zaiki貯蓄商品の控除エレメントを定義します。
3. エレメントをZaiki貯蓄控除の累計のメンバーとして追加します。
4. エレメントを受給者に割り当てます。
5. 受給者に対する控除の有効日と金額を入力します。

提示されている例

この章の例で使用する控除エレメントは、サンプル データとして提供されています。例で使用するその他のエレメントは、慣例または法定のエレメントとして配布されています。例は各組織のニーズに合ったZaiki貯蓄控除エレメントを設定するためのテンプレートとを考えてください。組織が従業員に提供しているZaiki貯蓄プランごとに、控除エレメントを設定する必要があります。たとえば、組織が金融機関 A および B と契約を結び、金融機関 A が 3 つのZaiki貯蓄商品を、B が 4 つのZaiki貯蓄商品を提供している場合は、7 つの控除エレメントを設定する必要があります。

Zaiki貯蓄控除用の配布済サンプル データ

エレメント	エレメント タイプ	説明
ZK GENERAL	控除	一般Zaiki貯蓄控除。
ZK PENSION	控除	Zaiki年金貯蓄控除。
ZK HOUSING	控除	Zaiki住宅貯蓄控除。
DENL	エレメント カテゴリ	非法定控除エレメント カテゴリ (Zaiki貯蓄控除エレメント用)。
ZK GC RUN TYPE FLG	ジェネレーション コントロール	実行タイプ フラグ チェック。
ZK FM RUN TYPE FLG	フォーミュラ	Zaiki貯蓄実行タイプ チェック フラグ (プロセスの実行タイプをチェック)。
ZK AC SAVINGS	Zaiki貯蓄累計	Zaiki貯蓄のすべての控除エレメントはこの累計のメンバーである必要があります。この累計は、累計 ER AC TTL DED SAL (給与からの控除の総額) および累計 ER AC TTL DED BON のメンバーであり、その結果、Zaiki貯蓄控除は総支給額から控除されます。
ZK SE DED	Zaiki貯蓄控除セクション	配布されている、および慣例のZaiki控除エレメントは、このセクションに含まれている必要があります。このセクションは、次の既存のプロセスリストに含まれています。 <ul style="list-style-type: none"> • JPRSAL • JPRADJSAL • JPRBON • JPRADJBON

給与明細書およびレポートへのZaiki貯蓄控除の出力

Zaiki貯蓄控除の金額は、それぞれ給与支給と賞与支給を表す、JSALSLIP と JBONSLIP 給与明細書 ID に表示されます。金額が 0 (ゼロ) のときは、ラベルも金額も給与明細書に出力されません。

次の汎用レポートには、Zaiki貯蓄控除のセグメント累計が表示されます。

- JGR02 (累計リスト (給与))
- JGR04 (累計リスト (賞与))
- JGR05 (賃金元帳)

Zaiki控除の設定

この項では、Zaiki控除のエレメント カテゴリの設定方法について説明します。

注: この項では、控除コンポーネントのページのうち、Zaiki控除エレメントを設定するために変更または特定のフィールド入力が必要なものについてのみ説明します。入力が不要なページ、またはデフォルト設定のまま使用するページについては説明していません。次の例は、サンプル データで提供されている ZK GENERAL 控除エレメントを利用しています。

Zaiki控除の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>「カテゴリ」ページ</u>	GP_PIN_CATEGORY	Zaiki控除エレメント用にカテゴリを設定するか、既存のカテゴリを使用します。
<u>「カテゴリ別設定」ページ</u>	GP_ED_SETUP_CAT	メッセージ セット、メッセージ番号、および標準ページおよびポジティブ入力の上書きをカテゴリに対して定義します。
<u>「控除名」ページ</u>	GP_PIN	従業員に提供されている各金融商品に対してZaiki控除を定義し、「上書きレベル」グループ ボックスの「受給者」を選択します。
<u>「計算」ページ</u>	GP_ERN_DED_CALC	Zaiki控除に対して、控除の有効日を入力し、「計算ルール」オプションを「金額」に設定し、「金額タイプ」オプションを「受給者レベル」に設定します。
<u>「累計」ページ</u>	GP_ERN_DED_AC_ADDL	Zaiki控除の累計を指定します。

Zaikai控除のエLEMENT カテゴリの設定

Zaikai控除ELEMENTを設定する前に、Zaikai控除のエLEMENT カテゴリおよびカテゴリの共通設定を定義します。配布されているELEMENT カテゴリ DENL (非法定控除) を新しいELEMENT カテゴリ作成のテンプレートとして使用するか、または配布されているデータ カテゴリをZaikai控除ELEMENTに使用します。

「カテゴリ」ページ

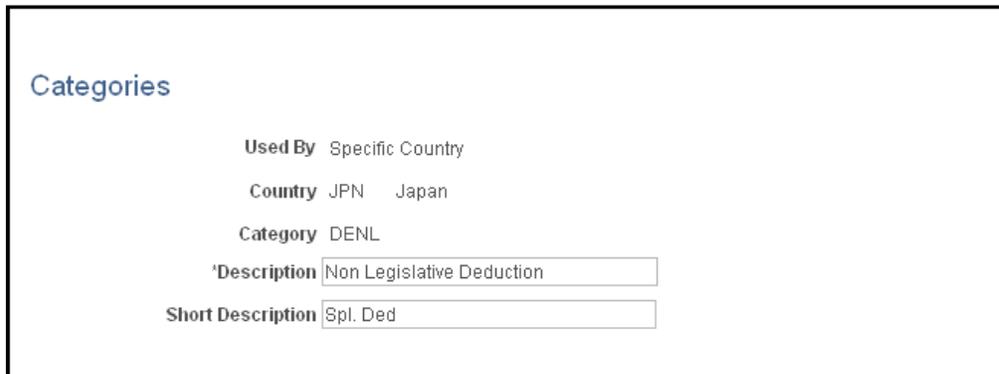
「カテゴリ」ページ (GP_PIN_CATEGORY) を使用して、Zaikai控除ELEMENT用にカテゴリを設定するか、既存のカテゴリを使用します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「ELEMENT」、「カテゴリ」

画像: 「カテゴリ」ページ

次の例では、「カテゴリ」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



The screenshot shows a form titled "Categories" with the following fields and values:

Used By	Specific Country
Country	JPN Japan
Category	DENL
Description	Non Legislative Deduction
Short Description	Spl. Ded

Zaikai控除ELEMENTを定義するための前提条件として、Zaikai控除ELEMENTのカテゴリ タイプを定義します。

「カテゴリ別設定」ページ

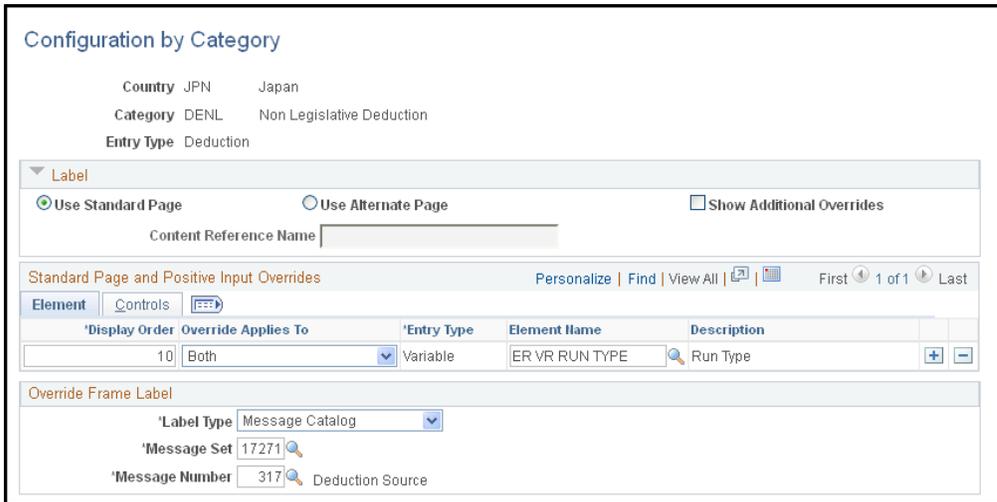
「カテゴリ別設定」ページ (GP_ED_SETUP_CAT) を使用して、メッセージ セット、メッセージ番号、および標準ページおよびポジティブ入力の上書きをカテゴリに対して定義します。

ナビゲーション

(「HCM 基本設定」,「製品/業務別定義」,「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」,「エレメント」,「給与計算エレメント」,「カテゴリ別設定」)。

画像: 「カテゴリ別設定」ページ - 「エレメント」タブ

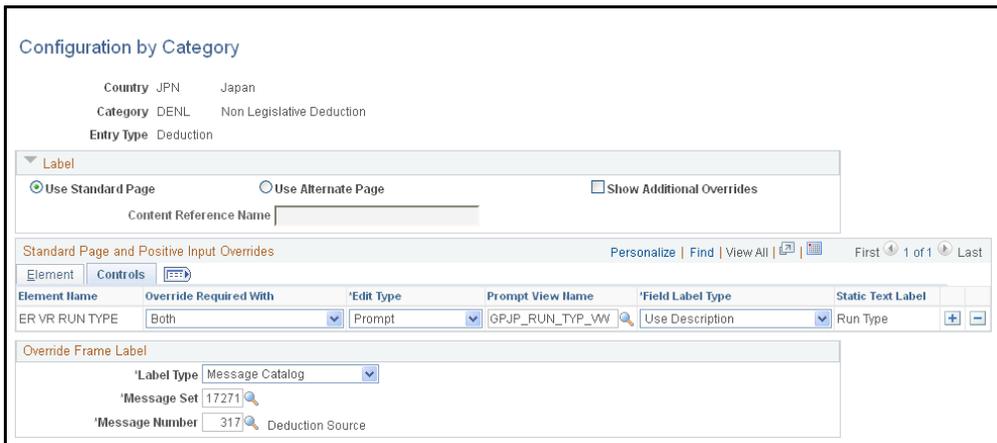
次の例では、「カテゴリ別設定」ページ - 「エレメント」タブのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



変数 ER VR RUN TYPE はユーザーが選択した実行タイプの名前を保持します。ジェネレーション コントロール フォーミュラ ZK GC RUN TYPE FLG がこの値とシステム エレメント RUN TYPE を比較し、控除を処理するかどうか決定します。

画像: 「カテゴリ別設定」 - 「コントロール」タブ

次の例では、「カテゴリ別設定」 - 「コントロール」タブのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



GPJP_RUN_TYP_VW プロンプト ビューにより、ユーザーはサンプル データに基づいて、日本固有の実行タイプである SAL (給与) か BON (賞与) のどちらかを選択できます。

「控除名」ページ

「控除名」ページ (GP_PIN) を使用して、従業員に提供されている各金融商品に対して財形貯蓄控除を定義し、「上書きレベル」グループ ボックスの「受給者」を選択します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「エレメント」、「給与計算エレメント」、「控除」、「控除名」

画像: 「控除名」ページ

次の例では、「控除名」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Deduction Name' configuration page. The top navigation bar includes tabs for Calculation, Rounding/Proration, Argars, Auto Generated Accumulators, Accumulators, Recipient, and Supporting Element Overrides. The main form is divided into several sections:

- Basic Information:** Name (ZK GENERAL), Description (Zaikai General), Definition As Of Date (Calendar Period End Date).
- Element Use:** Owner (PS Delivered / Not Maintained), Class (Customary), Used By (Specific Country), Country (JPN - Japan), Industry/Region, Category (DENL - Non Legislative Deduction).
- Override Levels:** Checkboxes for Pay Entity, Pay Group, Payee, and Calendar. Checked options include Via Elements, Element Definition, and Positive Input.
- Results:** Radio buttons for Store options: Always Store (selected), If Element Is Non-Zero, and If Element Or Comp Is Non-Zero.
- Resolution Parameters:** Driver Accumulator field.
- Version Information:** Last Updated (03/27/06 5:16:38.000000PM), Last Updated By (PPLSOFT), User Version, and Version (P_9.00.00).

「控除名」ページの「上書きレベル」グループ ボックスには、重要なZaikai控除設定が表示されます。選択できる上書きレベルは、次のとおりです。

- 受給者
- エレメント使用
- ポジティブ入力

結果は常に保存されます。

PeopleSoft グローバル ペイロールを参照してください。「支給エレメントおよび控除エレメントの定義」。

「計算」ページ

「計算」ページ (GP_ERN_DED_CALC) を使用して、Zaikai控除に対して、控除の有効日を入力し、「計算ルール」オプションを「金額」に設定し、「金額タイプ」オプションを「受給者レベル」に設定します。

ナビゲーション

(「HCM 基本設定」, 「製品/業務別定義」, 「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」, 「エレメント」, 「給与計算エレメント」, 「控除」, 「計算」)。

画像: 「計算」ページ

次の例では、「計算」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Calculation' configuration page for the 'ZK GENERAL' deduction element. The page is divided into several sections:

- Definition:** Includes 'Effective Date' (01/01/2001), 'Calculation Rule' (Amount), and 'Status' (Active).
- Specify Component Types with Element or Value:** A table with columns for 'Type' and 'Element'. The 'Amount Type' is set to 'Payee Level'.
- Generation Control:** Set to 'ZK GC RUN TYPE FLG'.
- Retro Recalculation Option:** Radio buttons for 'Always Recalculate' (selected) and 'Do Not Recalculate'.
- Frequency Option:** Set to 'Use Calendar Period Frequency'.

このページでのフィールド入力は、作成するすべてのZaiki控除エレメントで同じです。

計算ルール

「金額」オプションを選択します。

金額タイプ

「受給者レベル」オプションを選択します。

ジェネレーション コントロール

ジェネレーション コントロール フォーミュラ *ZK GC RUN TYPE FLG* が、システム エレメント *RUN TYPE* に基づいて、控除を処理するかどうか決定します。

「累計」ページ

「累計」ページ (GP_ERN_DED_AC_ADDL) を使用して、Zaiki控除の累計を指定します。

ナビゲーション

(「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」, 「受給者データ」, 「支給と控除の割当」, 「受給者別エレメント割当」)。

画像: 「受給者別エレメント割当」ページ

次の例では、「受給者別エレメント割当」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Element Assignment By Payee' interface for employee Hiroyasu Uzawa (ID J3001). It includes a 'Selection Criteria' section with fields for Category, Entry Type, and As of Date, along with search and clear buttons. Below is an 'Assignments' table with columns for Element Name, Description, Process Order, Begin Date, End Date, Active status, and Instance count.

Element Name	Description	*Process Order	Begin Date	End Date	Active	Instance
ZK GENERAL	Zaikei General	999	02/27/2013		<input checked="" type="checkbox"/>	2
ZK GENERAL	Zaikei General	999	02/27/2013		<input checked="" type="checkbox"/>	3

Zaikei控除を設定したら、各受給者に割り当てます。Zaikei控除ごとに2つのインスタンス (給与の実行タイプとして1つ、賞与の実行タイプとして1つ) が割り当てられます。

「エレメント詳細」ページ

「エレメント詳細」ページ(GP_ED_PYE_DTL_SEC)を使用して、割り当てる控除について、計算情報と実行タイプ情報を設定します。

ナビゲーション

(「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」, 「受給者データの定義」, 「支給と控除の割当」, 「受給者別エ
レメント割当」)。 「割当」グループ ボックスで「エレメント名」リンクをクリックします。

画像: 「エレメント詳細」ページ

次の例では、「エレメント詳細」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールド
およびコントロールの定義は後で説明します。

開始日

*Zaikai*控除が開始する日付を入力します。

注: *Zaikai*控除の金額は、支給日ではなく期間終了日付で定義されます。たとえば、月給からの*Zaikai*控除を始める際に、期間開始日を1月1日、期間終了日を1月31日、支給日を2月10日とする場合は、このページの「開始日」フィールドに1月31日を指定します。

年末調整の準備

年末調整について

グローバル ペイロール (日本) にあらかじめ用意されたルールを使用することで、年末調整の計算レポートが必要とされる、日本独自の法定要件や業務要件に対応できます。また、年末調整後に受給者の年税額に影響するイベントが発生したときに行う、単独年調の計算やレポートのルールも用意されています。

暦年の最後の給与あるいは賞与の支給時に年末調整処理を行うと、徴収された所得税と実際の支給額に対する所得税の差額が受給者ごとに計算され、その年の最後の支給でこの過不足税額が精算されます。単独年調処理では、過不足税額は未払いの所得税となり、次の対象年度の最初の支給で差し引かれる控除として繰り越されます。過不足税額により、所得税の源泉徴収額が実際の所得税額を超えていることが判明した場合、年末にその超過額が受給者に払い戻されます。この金額は翌年へ繰り越すこともできます。

この項では、次について説明します。

- 配布された年末調整エレメント。
- 配布エレメントの表示。
- 単独年調の過不足税額の繰越し。
- 年末調整レポート。
- セルフサービスによる年末調整データ収集。
- 印刷されたレポートからの年末調整データ収集。

配布された年末調整エレメント

グローバル ペイロール (日本) では、年末調整を処理するために次のエレメントが配布されています。

- 控除エレメント YE TAX DIF および YE TXDIF CY。

YE TAX DIF は、年末調整処理中に計算された過不足税額を表します。YE TX DIF CY は、単独年調処理の対象となった従業員の、翌年に繰り越される過不足税額を表します。

- プロセスリスト JPRADJSAL、JPRADJBON および JPRADJIND。

適切な給与計算プロセスリストを使用して、給与年調、賞与年調または単独年調の処理を行います。

配布エレメントの表示

提供されているクエリーを実行して、日本用に設計されたすべての配布エレメントを参照できます。このクエリーの実行方法については、*PeopleSoft グローバル ペイロール*で説明されています

関連リンク

「グローバル ペイロール データベースの設定データの確認」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

単独年調の過不足税額の繰越し

単独年調で計算された過不足税額によって所得税の控除不足が判明すると、控除エレメント YE TXDIF CY を使用して次の対象年度にこの不足税額が繰り越されます。プロセスリスト JPRSAL を使用した1月の通常の給与計算処理時に、受給者の支給額からこの金額が控除されます。不足税額が1月の受給者の支給額を超えている場合、または1月の給与から控除を行うことができない場合は、この不足税額は控除が行われるまでその翌月に繰り越され続けます。

デフォルトでは、還付額は繰り越されません。その年の最後の支給で従業員に支払われます。還付額を繰り越すには、変数 YE VR CYOVR FLG の値を1に設定します。

繰り越された過不足税額は、年末調整の給与明細書、所得税源泉徴収簿および繰越し過不足税額レポートに出力されます。

年末調整レポート

年末調整が完了し、データ テーブルの準備が整ったら、次のレポートを実行して年末調整のビジネス プロセスを完了します。

- 源泉徴収票 (GPJPYE01)。
- 源泉徴収票/給与支払い報告書 (GPJPYE01)。
- 法定調書合計表 (GPJPYE02)。
- 給与支払い報告書 (総括表) (GPJPYE03)。
- 繰越し過不足税額レポート (GPJPYE06)。

セルフサービスによる年末調整データ収集

グローバル ペイロール (日本) では、従業員の年末調整データ収集において、書類を利用する方法とセルフサービスによる方法の両方をサポートしています。

ePay-給与と eProfile-人材プロファイルのライセンスを所有している場合、セルフサービスの各ページを使用して従業員の年末調整データを収集できます。セルフサービスの年末調整データの収集および確認を行うには、次の手順に従います。

1. 給与計算管理者は、従業員がセルフサービストランザクションによってデータの確認と更新を行うことができる期間を指定します。
2. 従業員は、ePay-給与のメインの「年末調整情報」ページにアクセスします。
そのページから、次の年末調整データの確認と更新を行うページにアクセスします。
 - 所得税従業員情報 (世帯主や障害に関する情報など)。
 - 従業員個人情報 (氏名、住所、生年月日など)。(eProfile-人材プロファイルのライセンスも所有している場合にのみアクセス可能。)
 - 所得税扶養家族情報 (本人との続柄、障害のタイプなど)。
 - 生命保険 (個人年金の情報も含む)。
 - その他の保険 (損害保険、社会保険、小規模企業共済等掛金)。
 - 配偶者特別控除。
 - 住宅借入金等特別控除。
3. 給与計算管理者は、データを確認し、問題がなければ承認します。問題がある場合は、従業員に対して修正を要求します。
4. (オプション) 給与計算管理者は記録の管理のために、扶養控除等申告書、保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書を出力します。

印刷されたレポートからの年末調整データ収集

給与計算管理者は、次の手順を実行して、印刷されたレポートから年末調整データを収集します。

1. 従業員が各自で年末調整データを記入するために、次の2つのフォームを出力および配布します。
 - 扶養控除等申告書。
 - 保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書。

2. 記入済のフォームを従業員から回収します。

回収したフォームを使用して、グローバル ペイロール (日本) の所得税データ テーブルと年末調整控除データ テーブルにデータを入力します。

記入済のフォームは記録保持のために保管しておきます。

扶養控除等申告書および保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書の出力

この項では、扶養控除等申告書と保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書の概要および共通フィールドについて説明します。

扶養控除等申告書、保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書の出力に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「扶養控除等申告書 JPN」ページ	GPJP_RC_YEA04	扶養控除等申告書 (GPJPYE04) を実行します。手動でデータを収集する場合は、レポートを印刷して従業員に配布し、確認と更新を行います。セルフサービスによるデータ収集の場合は、従業員が ePay-給与および eProfile-人材プロフィールでデータを更新してから、記録保持のためにレポートを印刷します。
「保険料・配特控除申告書 JPN」ページ	GPJP_RC_YEA05	年末調整 - 保険/配偶者レポート (GPJPYE05) を実行します。手動でデータを収集する場合は、レポートを印刷して従業員に配布し、確認と更新を行います。セルフサービスによるデータ収集の場合は、従業員が ePay-給与でデータを更新してから、記録保持のためにレポートを印刷します。
「受給者リスト」ページ	GPJP_RC_YEA_SEC	レポートの対象となる従業員を選択します。このページと他の従業員選択条件を併用しないでください。

扶養控除等申告書と保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書について

データの収集方法によって、これらのレポートを実行するタイミングとレポートの内容が異なります。

印刷されたレポートからのデータ収集

次のレポートを使用して、後でシステムに手動で入力するためのデータを収集します。

- 扶養控除等申告書。

このレポートには、従業員とその扶養親族に関する最新の情報が出力されます。従業員はこのレポートの内容を必要に応じて修正または更新できます。

- 保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書。

このレポートには、基本的な従業員情報のみが出力されます。

記録保持のため、従業員が提出したレポートを保管しておきます。

セルフサービスによるデータ収集

セルフサービスによるデータ収集では、従業員によるデータ更新の後で、記録保持のためにレポートを出力します。このレポートでは、セルフサービス データが格納されているテーブルからデータが収集されます。

この項で使用する共通フィールド

印刷オプション

レポート上にビジネス ユニットおよび所在地を出力する場合は、「ビジネス ユニットと所在地を印刷」チェック ボックスを選択します。この情報は、レポートの下部に出力されます。

ソート基準

レポートに出力するソート基準を指定します。オプションには、「ビジネス ユニット」、「所在地コード」、「部門」および「役職 ID」があります。

「扶養控除等申告書 JPN」ページ

「扶養控除等申告書 JPN」ページ (GPJP_RC_YEA04) ページを使用して、扶養控除等申告書 (GPJPYE04) を実行します。

手動でデータを収集する場合は、レポートを印刷して従業員に配布し、確認と更新を行います。セルフサービスによるデータ収集の場合は、従業員が ePay-給与および eProfile-人材プロフィールでデータを更新してから、記録保持のためにレポートを印刷します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「年末調整」、「扶養控除等申告書 JPN」、「扶養控除等申告書 JPN」

対象年度

このフィールドの値によって、取得するレポート データの日付が決まります。扶養控除等申告書は、対象年度の最後の日付時点の情報に基づいて作成されます。このフィールドに「2004」と入力すると、レポートは 2004 年 12 月 31 日時点で有効なデータに基づいて作成されます。

受給者の住所については、このルールは当てはまりません。受給者の住所情報は、対象年度の最初の日付時点のデータが取得されます。対象年度が 2004 年の場合、住所情報に対して使用される指定日は 2004 年 1 月 1 日になります。

「保険料・配特控除申告書 JPN」ページ

「保険料・配特控除申告書 JPN」ページ (GPJP_RC_YEA05) を使用して、年末調整 - 保険/配偶者レポート (GPJPYE05) を実行します。

手動でデータを収集する場合は、レポートを印刷して従業員に配布し、確認と更新を行います。セルフサービスによるデータ収集の場合は、従業員が ePay-給与でデータを更新してから、記録保持のためにレポートを印刷します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」, 「年末調整」, 「保険料・配特控除申告書 JPN」, 「保険料・配特控除申告書 JPN」

対象年度

ePay-給与がインストールされていない場合、このフィールドの値によって、取得するレポート データの日付が決まります。保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書は、対象年度の最後の日付時点の情報に基づいて作成されます。このフィールドに「2004」と入力すると、レポートは 2004 年 12 月 31 日時点で有効なデータに基づいて作成されます。

ePay-給与がインストールされている場合、年末調整の設定ページの「指定日」フィールドに入力された日付を使用して、レポートデータが取得されます。

年末調整ステータス

このグループ ボックスは、ePay-給与がインストールされている場合にのみ表示されます。「送信済」、「承認済」または「グローバルペイロールへ送信済」から、適切な年末調整ステータスを選択します。

年末調整控除データの入力

この項では、年末調整控除データの入力および複数雇用レコードに対する手動による年末調整についての概要について説明します。

年末調整控除データの入力に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「年調セルフサービス データロード JPN」ページ	GPJP_RC_YEALOAD_SS	セルフサービスの控除データをロードします。給与計算の管理者は、年末調整セルフサービス データロード プロセス (GPJP_YEASSLD) を実行して、セルフサービスで更新された従業員個人情報、生命保険とその他の保険、配偶者特別控除、住宅借入金等特別控除に関する情報を、年末調整データ テーブルおよびこのテーブルに対応するページ (GPJP_YEA_PYEADJ) にロードします。
「年調セルフサービス データロード JPN」ページ	GPJP_RC_YEA_SEC	データをロードする従業員を個別に選択します。
「年末調整データ」ページ	GPJP_YEA_PYEADJ	保険料控除、配偶者特別控除および住宅借入金等特別控除データを入力し、年調区分を指定します。従業員が年末調整の対象者であるかどうかを指定します。
「前職データ」ページ	GPJP_YEA_PYEPRI	給与支払い金額、徴収税額、社会保険料、前勤務先の名称および住所などの前職データを入力します。
「所得税データ管理 JPN」ページ	GPJP_IT_PYE_TAX	レポートによって収集された本人区分、障害区分などの従業員の所得税情報や給与支払い者整理番号を入力します。
「所得税扶養家族データ管理 JPN」ページ	GPJP_IT_DEP_TAX	レポートによって収集された障害区分などの配偶者または扶養親族の控除に関する情報を入力します。

年末調整控除データの入力について

年末調整レポートを実行する前に、GPJP_YEA_PYEADJ テーブルに年末調整控除情報を入力し、GPJP_IT_PYE_TAX テーブルおよび GPJP_IT_DEP_TAX テーブルのデータが最新のものであることを確認する必要があります。

これらの情報の多くは、年末調整データのセルフサービスまたは手動による収集方法によって収集されます。データの収集方法によって、入力方法は異なります。

注: セルフサービスのページで入力されたデータを使用する場合でも、従業員の年調区分を変更するには、「年末調整データ」ページにアクセスする必要があります。また、前職データを入力するには、「前職データ」ページにアクセスする必要があります。

ロードされる給与計算テーブルのデータ	セルフサービスによるデータ収集	手動によるデータ収集
従業員の課税控除データ (GPJP_IT_PYE_TAX)	従業員が所得税従業員情報に関するセルフサービスのページでデータを入力して保存すると、自動的に更新されます。	年末調整扶養控除等申告書で収集したデータを、「所得税データ管理 JPN」ページ (GPJP_IT_PYE_TAX) で手動で入力します。
扶養控除データ (GPJP_IT_DEP_TAX)	従業員が所得税扶養家族情報に関するセルフサービスのページでデータを入力して保存すると、自動的に更新されます。	年末調整扶養控除等申告書で収集され、「所得税扶養家族データ管理 JPN」ページ (GPJP_IT_DEP_TAX) で手動入力されます。
保険料控除、配偶者特別控除、住宅借入金等特別控除データ (GPJP_YEA_PYEADJ)	年調セルフサービス データロード プロセス (GPJP_YEASSLD) を実行します。このプロセスによって、従業員個人情報、保険および控除に関するセルフサービスのページで従業員が入力したデータがロードされます。	保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書で収集したデータを、「年末調整データ」ページ (GPJP_YEA_PYEADJ) で手動で入力します。

税源泉徴収および年末調整ルールの変更

日本政府は、子供のいる親が、15 歳以下の子供の数に応じて政府から支給を受ける新しい福利厚生システムを導入しました。授業料を無料にするか (公立高校)、または減額 (授業料が高い私立高校) できるように、高校への資金提供も開始しました。

これらの新しい福利厚生の代償として、15 歳の子供がいる親の所得控除は廃止されました (2011 年 1 月 1 日から適用)。この同じ日から、16 歳から 18 歳の子がいる親は所得控除が減額されます。つまり、16 歳から 18 歳の子は特定扶養親族に分類されなくなり、一般の扶養親族とみなされるようになりました。

このことに対処するため、PeopleSoft では GPJP_IT_DEP_VW と呼ばれる新しい SQL ビューを作成しました。この SQL ビューでは GPJP_IT_DEP_TAX と DEP_BEN が結合されます。

配列要素 IN AR DEPENDENTS で、レコード名が GPJP_IT_DEP_TAX から GPJP_IT_DEP_VW SQL ビューに変更されました。BIRTHDATE が取得したアイテムとして追加されました。この新しい法定要件の前には税の源泉徴収について扶養親族の年齢を評価する理由がなかったため、BIRTHDATE はこの配列にありませんでした。

複数雇用レコードに対する手動による年末調整について

従業員に複数雇用レコードが設定されている場合、年末調整レポート データ JPN は、雇用レコードごとに個別にロードされます。データは常に、年末調整処理が行われる支給日時点で有効な税区分を使用してロードされます。その年の間に税区分が変更されている場合は、「前職データ」ページで手動による調整を行い、適切な給与額に基づいて年末調整レポートおよび源泉徴収票が作成されるようにします。

例: 1つの雇用レコードから毎月支給される従業員の場合

雇用レコード番号	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
0	甲種	甲種	甲種	甲種	未使用	未使用	未使用	未使用	甲種	甲種	甲種	甲種
1	未使用	未使用	未使用	未使用	甲種	甲種	甲種	甲種	未使用	未使用	未使用	未使用

支払い日を12月30日とします。この日の時点での従業員の税区分は甲種なので、年末調整に必要な他の条件を従業員が満たすならば、雇用レコード番号0で調整が処理されます。年末調整は、1月から4月までと、9月から12月までの間に、雇用レコード番号0に対して支給された給与に基づいて行われ、源泉徴収票が印刷されます。

雇用レコード番号1によって支給された5月から8月までの給与を年末調整処理に含めるには、雇用レコード番号0に対する年末調整処理を実行する前に、雇用レコード番号0の「前職データ」ページにアクセスして雇用レコード番号1に対する給与額および控除額を入力する必要があります。

「年調セルフサービス データ ロード JPN」ページ

「年調セルフサービス データ ロード JPN」ページ (GPJP_RC_YEALOAD_SS) を使用して、セルフサービスの控除データをロードします。

給与計算の管理者は、年末調整セルフ サービス データ ロード プロセス (GPJP_YEASSLD) を実行して、セルフサービスで更新された従業員個人情報、生命保険とその他の保険、配偶者特別控除、住宅借入金等特別控除に関する情報を、年末調整データ テーブルおよびこのテーブルに対応するページ (GPJP_YEA_PYEADJ) にロードします。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「年末調整」、「年調セルフサービス データ ロード JPN」、「年調セルフサービス データ ロード JPN」

「年末調整データ」ページ

「年末調整データ」ページ (GPJP_YEA_PYEADJ) を使用して、保険料控除、配偶者特別控除および住宅借入金等特別控除データを入力し、年調区分を指定します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「受給者データ」、「税」、「年末調整データ管理 JPN」、「年末調整データ」

画像: 「年末調整データ」ページ

次の例では、「年末調整データ」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Year-End Adjustment Data' page for employee Miyoko Ueno (Empl ID J1006). The page is divided into several sections for data entry:

- Header:** Employee name (Miyoko Ueno), Empl ID (J1006), and Empl Record.
- Year-End Adjustment Data:** Includes fields for *Effective Date (12/01/2001), *Object Year (2001), and *YEA Type (Subject).
- Insurance Premium Deduction:** A table of input fields for various insurance premiums:

Social Insurance Premium	Insurance Premium
Mutual Aid Fund Deduction	New Life Ins Premium
National Pens Premium	Old Life Ins Premium
Social Insurance Premium	Care Medical Ins Premium
Life Insurance Premium	New Pension Ins Premium
Non-Life Insurance Premium	Old Pension Ins Premium
	Long Term Non-Life Ins
- Spouse Deduction:** Fields for Spouse Special Deduction and Spouse Total Income.
- Housing Loan Deduction:** Fields for Housing Loan Deduction and Num of Housing Loan Spec Ded.
- Residence 1:** Fields for Start Date of Residence(1), Applied Class(1), and Loan Payable at Year-end(1).
- Residence 2:** Fields for Start Date of Residence(2), Applied Class(2), and Loan Payable at Year-end(2).

年調区分 (年末調整区分)

値を選択して、この従業員が年末調整の対象者であるかどうかを指定します。デフォルトは「年調対象」です。従業員を年末調整処理から除外するには、「年調対象外」を選択します。

「前職データ」ページ

「前職データ」ページ (GPJP_YEA_PYEPR) を使用して、給与支払い金額、徴収税額、社会保険料、前勤務先の名称および住所などの前職データを入力します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「受給者データ」、「税」、「年末調整データ管理 JPN」、「前職データ」

画像: 「前職データ」ページ

次の例では、「前職データ」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Prior Employment Data' page for employee Miyoko Ueno (Empl ID J1006). The page includes a search bar with 'Find | View All' and navigation controls 'First', '1 of 1', and 'Last'. The form contains the following fields and controls:

- Employer:
- Gross Income from Prior Employ:
- Withholding Tax from Prior Emp:
- Prior Social Insurance Premium:
- Prior Employment Term Date:
- Country:
- Address:

このページを使用して、前職の勤務先からの支給データおよび控除データを入力します。

「所得税データ管理 JPN」ページ

「所得税データ管理 JPN」ページ (GPJP_IT_PYE_TAX) を使用して、レポートによって収集された本人区分、障害区分などの従業員の所得税情報や給与支払い者整理番号を入力します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」, 「受給者データ」, 「税」, 「所得税データ管理 JPN」, 「所得税データ管理 JPN」

関連リンク

[所得税の源泉徴収の準備](#)

「所得税扶養家族データ管理 JPN」ページ

「所得税扶養家族データ管理 JPN」ページ (GPJP_IT_DEP_TAX) を使用して、レポートによって収集された障害区分などの配偶者または扶養親族の控除に関する情報を入力します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」, 「受給者データ」, 「税」, 「所得税扶養家族データ管理 JPN」, 「所得税扶養家族データ管理 JPN」

関連リンク

[所得税の源泉徴収の準備](#)

年末調整レポートの準備

この項では、年末調整レポート データ JPN の準備の概要について説明します。

年末調整レポートの準備に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「住民税額レコード初期作成 JPN」ページ	GPJP_RC_IH_MUN1	住民税額レコード初期作成プロセス (GPJP_IHMUN1) を実行して自治体コードや受給者番号を更新します。このプロセスでは、対象年度に対する従業員 ID、自治体コードおよび受給者番号が住民税テーブルにロードされます。
「住民税額ロード JPN」ページ	GPJP_IH_PYE_TAX	住民税額レコード初期作成プロセスの実行後に、受給者番号の確認および訂正を行います。
「年末調整レポート データ ロード JPN」ページ	GPJP_RC_YEALOAD	年末調整レポート データをロードします。

ページ名	定義名	用途
「年末調整データ確認/更新JPN」ページ	GPJP_YEA_TABLE	年末調整データテーブルを確認および更新します。年末調整データロードプロセスの結果を確認して、「税務署提出」チェックボックスや「摘要」フィールドを更新します。

年末調整レポート データ JPN の準備について

年末調整テーブルロードのアプリケーション エンジン プロセス (GPJP_YEALOAD) では、源泉徴収票、給与支払い報告書、法定調書合計表、所得税源泉徴収簿などのレポートの出力に必要なデータの大半を含む中間テーブルがロードされます。

データの収集方法 (セルフサービスまたは手動) にかかわらず、年末調整レポート データの準備は次の順序に従って行います。

1. 必要に応じて、従業員の住所を更新します。

セルフサービス トランザクションで年末調整データを収集した場合、この手順には「従業員個人情報」ページと年末調整セルフサービス データロード プロセス (GPJP_YEASSLD) を使用します。

2. 住民税額レコード初期作成プロセス (GPJP_IHMUN1) を実行し、住民税テーブルに自治体コードをロードします。
3. 必要に応じて、「住民税データ管理 JPN」ページで従業員の受給者番号を更新します。
4. 年末調整レポート データロード JPN プロセス (GPJP_YEALOAD) を実行します。
5. 必要に応じて、年末調整レポート データ JPN ページで「税務署申請」チェックボックスの変更や「摘要」フィールドの編集を行います。

「住民税額ロード JPN」ページ

「住民税額ロード JPN」ページ (GPJP_RC_IH_MUN2) を使用して、電子ファイルから住民税額をロードします。

住民税額ロード プロセスを実行して、自治体から送られてきた住民税額データをロードします (電子ファイル データを使用する場合)。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「税」、「住民税額ロード JPN」、「住民税額ロード JPN」。

注: データの初期作成を実行する前に、従業員の住所および郵便番号 JPN テーブルの更新およびオーディットを行っておく必要があります。

「住民税テーブルの設定」を参照してください。

「年末調整レポート データ ロード JPN」ページ

「年末調整レポート データ ロード JPN」ページ (GPJP_RC_YEALOAD) を使用して、年末調整レポート データをロードします。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」, 「年末調整」, 「年末調整レポート データ ロード JPN」, 「年末調整レポート データ ロード JPN」

画像: 「年末調整レポート データ ロード JPN」ページ

次の例では、「年末調整レポート データ ロード JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

従業員 ID 従業員 ID を選択すると、その従業員のデータ行のみが更新されます。

注: 雇用終了した従業員の年末調整データをロードするには、「雇用終了処理」メニューにあるプロセスを使用します。

関連リンク

[雇用終了従業員の処理](#)

「年末調整データ確認/更新JPN」ページ

「年末調整データ確認/更新JPN」ページを使用して、年末調整データ テーブルを確認および更新します。

ナビゲーション

(「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」, 「年末調整」, 「年末調整データ確認/更新JPN」, 「年末調整データ確認/更新JPN」)。

画像: 「年末調整データ確認/更新JPN」ページ (1/2)

次の例では、「年末調整データ確認/更新JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Rww/Update YEA Report Data JPN

Fusako Endo Employee Empl ID KJ1003 Empl Record 0

Withholding Tax Report Data Find | View All First 1 of 1 Last

Object Year 2007	<input type="checkbox"/> Submit to Tax Office
Recipient Number KJ1003	<input type="checkbox"/> Foreigner
Calendar Group ID KJ M200712	<input type="checkbox"/> Terminated by Death
Amt of Earnings 3,912,000	Total Amt of Income Deductions 1,181,708
Salary after Deductions 2,589,600	Amt of Withholding Tax 70,300

Deductible Dependents

Nbr of Dependents (Specified)	Nbr of Disability (Special)
Nbr of Dependents (Elderly)	Nbr of Disability (Other)
Nbr of Dependents (Other)	

Insurance/Spouse Deductions

<p>Social Insurance Premium</p> <p>Mutual Aid Ded</p> <p>Total SI Premium 801,708.000000</p> <p>Life Insurance Premium</p> <p>Earthquake Ins Premium</p> <p>Housing Loan Deduction</p> <p>Spouse Total Income</p>	<p>Insurance Premium</p> <p>New Life Ins Premium</p> <p>Old Life Ins Premium</p> <p>Care Medical Ins Premium</p> <p>New Pension Ins Premium</p> <p>Old Pension Ins Premium</p> <p>Long Term Non-Life Ins</p>
--	---

画像: 「年末調整データ確認/更新JPN」ページ (2/2)

次の例では、「年末調整データ確認/更新JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

The screenshot shows a web form titled 'Summary'. It is divided into two main columns: 'Deductible Housing Loan' and 'National Pens Premium'. Under 'Deductible Housing Loan', there is a sub-section 'Num of Housing Loan Spec Ded' which contains two rows: 'Residence 1' and 'Residence 2'. Each residence row has three input fields: 'Start Date of Residence(1/2)', 'Applied Class(1/2)', and 'Loan Payable at Year-end(1/2)'. Below these is an empty row with a small icon. At the bottom, there is an 'E-File Summary' section with a large empty text area and a small icon.

税務署提出

甲種の従業員の給与額が 500 万円を超えた場合、または乙種の従業員の給与額が 50 万円を超えた場合に、フォーミュラ YE FM SUBMIT によって、このチェック ボックスが選択されます。ただし、源泉徴収票を提出するかどうかの決定に必要なその他の条件 (従業員が役員かどうか、退職しているかどうか、災害の被害者かどうかなど) については、自動では確認されません。

摘要

控除対象の配偶者や扶養家族 ID、前職データ、居住開始年月日 (住宅借入金等特別控除を受けている従業員の場合) などが挿入されます。これらのデータは編集が可能です。

文字数制限のため、レポートにすべての摘要情報が出力されない場合があります。

年末調整レポートの実行

この項では、源泉徴収票の実行について説明します。

注: これらのレポートを実行する前に、年末調整レポート データ ロード プロセスを実行しておく必要があります。

年末調整レポートの実行に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「源泉徴収票 JPN」ページ	GPJP_RC_YEAWHRPT	源泉徴収票 (GPJPYE01) を実行します。
「給与支払報告書 JPN」ページ	GPJP_RC_YEAWGRPT	源泉徴収票/給与支払い報告書 (GPJPYE01) を実行します。
「法定調書合計表基礎資料 JPN」ページ	GPJP_RC_YEA	法定調書合計表 (GPJPYE02) を実行します。
「給与支払報告書 (総括表) JPN」ページ	GPJP_RC_YEA	給与支払い報告書 (総括表) (GPJPYE03) を実行します。
「過不足税額繰越 JPN」ページ	GPJP_RC_IT_TXDIF	繰越し過不足税額レポート (GPJPYE06) を実行します。

関連リンク

[雇用終了処理について](#)

「源泉徴収票 JPN」ページ

「源泉徴収票 JPN」ページ (GPJP_RC_YEAWHRPT) を使用して、源泉徴収票 (GPJPYE01) を実行します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」, 「年末調整」, 「源泉徴収票 JPN」, 「源泉徴収票 JPN」

画像: 「源泉徴収票 JPN」ページ

次の例では、「源泉徴収票 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

従業員

全従業員: 年末調整処理の後で、従業員すべての源泉徴収票を作成する場合に選択します。

税務署に提出する従業員: 源泉徴収票を税務署に提出する場合に選択します。「年末調整データ確認/更新JPN」ページの「税務署提出」チェック ボックスが選択されている従業員のみが選択されます。

注: 雇用終了した従業員のレポートを実行するには、「雇用終了処理」メニューにあるページを使用します。

「給与支払報告書 JPN」ページ

「給与支払報告書 JPN」ページ (GPJP_RC_YEAWGRPT) を使用して、源泉徴収票/給与支払い報告書 (GPJPYE01) を実行します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」, 「年末調整」, 「給与支払報告書 JPN」, 「給与支払報告書 JPN」

年末調整処理の終了後に、このレポートを自治体に提出します。「自治体コード」および「受給者番号」はオプションのパラメータです。これらのパラメータを使用して出力数を制限できます。

「法定調書合計表基礎資料 JPN」ページ

「法定調書合計表基礎資料 JPN」ページ (GPJP_RC_YEA) を使用して、法定調書合計表 (GPJPYE02) を実行します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「年末調整」、「法定調書合計表基礎資料 JPN」、「法定調書合計表基礎資料 JPN」

このレポートには、給与所得の源泉徴収票の金額が出力されます。また、退職所得の源泉徴収票の金額も出力されます。

- 会社および従業員の指定する銀行、支店、口座情報の指定。
- 送金元銀行の指定と資金レベルの定義。
- 振込み先銀行と振込みスケジュールの指定。

従業員は、支給タイプ (給与または賞与など) ごとに配分率 (パーセント) または金額を指定して支給額を分割し、複数の銀行口座に振り込まれるように指定できます。

銀行振込みの設定ステップは、コアのPeopleSoft グローバル ペイロールの「銀行振込みについて」のトピックで詳しく説明されています。ただし、日本用の銀行振込み処理に重要な次のステップについては、次に詳細を示します。

銀行振込み処理設定の詳細

ページ名	エレメント	説明
銀行テーブル	「銀行名フリガナ」。	半角カタカナで銀行名を入力します。
支店テーブル	「支店情報」グループ ボックス。	設定するすべての送金元銀行および振込み先銀行の支店情報を入力します。支店情報のない純支給が存在すると、FB プロセスが中断されてエラー メッセージが表示されます。
支店テーブル	「支店名フリガナ」。	半角カタカナで支店名を入力します。
送金元銀行口座	「口座名義フリガナ」。	半角カタカナで口座名義を入力します。
送金元銀行口座	「その他の必須情報」。	このリンクをクリックして「銀行の追加情報 JPN」ページにアクセスします。このページでは、入力が必要となっている口座タイプと会社コードを入力します。「口座タイプ」フィールドを指定しない場合、FB プロセスでは「普通」が使用されます。
銀行口座情報	「口座名義フリガナ」。	デフォルト値は、「個人データ」ページの「フリガナ」フィールドに指定されている名前になります。

注: フリガナ (AC) フィールドは、「プライマリ権限リスト基本設定」ページでフリガナの機能を有効にしている場合にのみ表示されます。

関連リンク

- 「国別プロセスでの金融機関関連データの使用」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)
- 「HCM ローカル インテグレーションの使用」(「アプリケーションの基礎」)

代替送金元銀行の設定

この項では、代替送金元銀行の概要と代替送金元銀行の定義方法について説明します。

代替送金元銀行の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「支給元の送金元銀行 JPN」ページ	GPJP_PE_ALT_SBANK	支給元および組織の代替送金元銀行を定義します。
「代替送金元銀行」ページ	GPJP_ALT_SBANK_SEC	組織リンクの代替送金元銀行を定義します。

代替送金元銀行について

必要に応じて、銀行振込み処理を実行する前に、支給元や組織の送金元銀行を複数定義します。複数の送金元銀行を定義することにより、各受給者の銀行口座に基づいて適切な送金元銀行を使用することが可能になります。

グローバル ペイロール (日本) の銀行振込み処理の実行中に、受給者の銀行と送金元銀行が一致しているかどうかは次の順序で確認されます。

1. 組織のデフォルトの送金元銀行。
2. 組織リンクの代替送金元銀行。
3. 支給元のデフォルトの送金元銀行。
4. 支給元の代替送金元銀行。

一致する送金元銀行が検出されたら、その後の銀行振込み処理でもこの値が引き続き使用されます。

「支給元の送金元銀行 JPN」ページ

「支給元の送金元銀行 JPN」ページ (GPJP_PE_ALT_SBANK) を使用して、支給元および組織の代替送金元銀行を定義します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「フレームワーク」、「組織」、「支給元の送金元銀行 JPN」、「支給元の送金元銀行 JPN」

画像: 「支給元の送金元銀行 JPN」ページ

次の例では、「支給元の送金元銀行 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

支給元レベルおよび組織リンクレベルの送金元銀行を入力します。グローバル ペイロール (日本) の銀行振込み処理では、これらの値によって、支給処理結果テーブル (GP_PAYMENT) の各支給行で使用されている送金元銀行が上書きされます。

「代替送金元銀行」リンクをクリックして、その組織リンクに関連付ける送金元銀行をさらに詳しく定義します。

銀行振込みの FB ファイルとレポートの作成

この項では、FB のプロセス フローと処理手順の概要および前提条件について説明します。

銀行振込みプロセスおよび FB プロセスの実行とレポートの出力に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「支給準備プロセスの実行 JPN」ページ	GPJP_RC_BA02	銀行振込みの詳細情報が格納された支給ファイルを作成するプロセスを実行します。
「ファイル ハンドル JPN」ページ	GPJP_FILE_HANDL	エクスポートする各ファイルに、ハンドルを割り当てます。

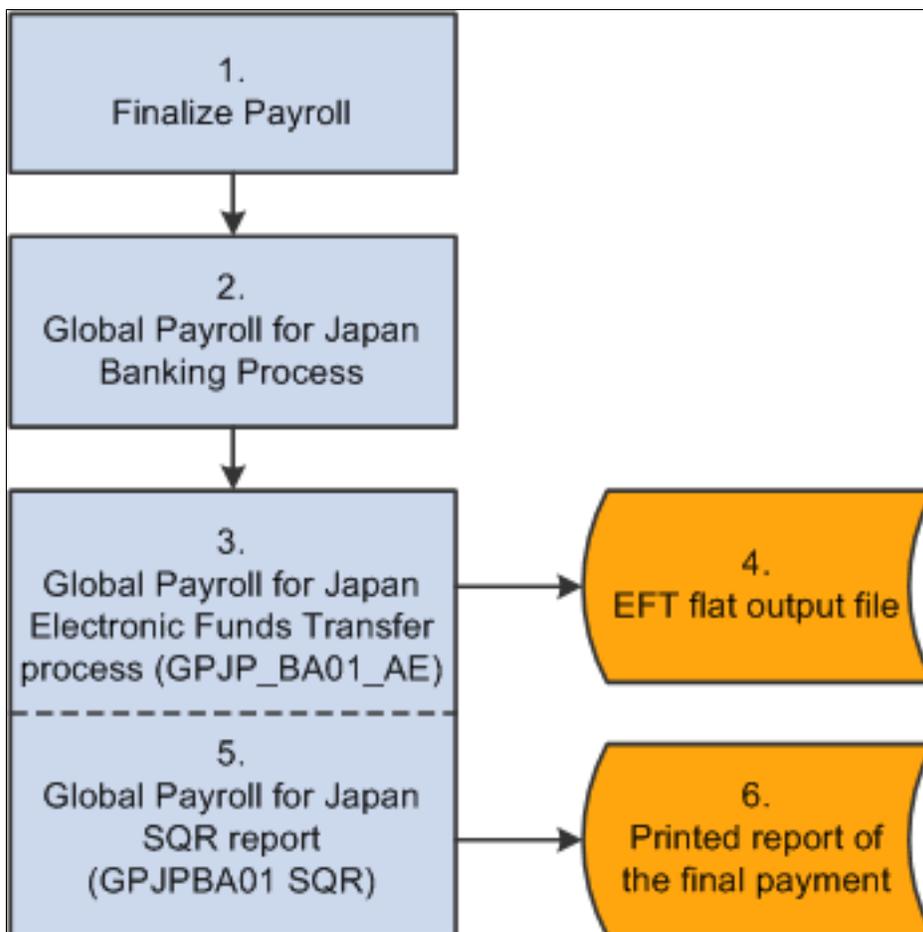
ページ名	定義名	用途
「給与振込 FB 作成 JPN」ページ	GPJP_RC_BA01	給与振込み FB を作成します。FB プロセスを実行すると、指定の銀行へ送信する FB フラットファイルが作成され、銀行振込みデータプルーフリスト (GPJPBA01) を出力する SQR プログラムが起動されます。

FB のプロセス フローについて

この図は、日本でのペイロール FB のプロセス フローを示しています。これには、ペイロールの最終決定からレポートの印刷またはフラット出力ファイルの作成までの、各手順の説明が含まれます。

画像: ペイロール FB のプロセス

最終支給のレポートの印刷またはフラット出力ファイルの作成までの各手順の説明を含む、日本でのペイロール FB のプロセス フロー。



処理手順について

この項では、前述の処理フロー図について説明します。各手順の番号は図内の番号に対応しています。

1. グローバル ペイロール コア アプリケーションで給与計算を実行します。
2. グローバル ペイロール (日本) の銀行振込み処理を実行します。

このプロセスにより、GP_PAYMENT レコードに値がロードされます。

注: 銀行振込み処理を実行するときは、支給準備プロセスの実行ページの「最終決定」チェック ボックスを選択します。このチェック ボックスが選択されていないと、次の手順でデータを使用できません。

3. グローバル ペイロール (日本) の FB プロセス (GPJP_BA01) を実行します。

このプロセスにより、支給ステータスが「最終決定済」で、指定されたカレンダー グループ ID、実行タイプ名、送金元銀行 ID を持つすべての行が GP_PAYMENT から選択されます。

また、次のレコードに値がロードされます。これらのレコードは、FB ファイルや出力したレポートのヘッダー、トランザクション、トレーラとして使用されます。

- GPJP_BA_HEADER: このレコードのデータは、振込み FB 作成ページで指定したラン コントロール パラメータから取得されます。

会社および送金元銀行の口座情報が格納されています。

- GPJP_BA_TRANS: このレコードのデータは、GP_PAYMENT と、あらかじめ設定しておいた送金元銀行情報および振込み先銀行情報から取得されます。

従業員情報、振込み先銀行の口座情報、振込み額などの詳細情報が格納されています。

- GPJP_BA_TRAILER: このレコードには、GPJP_BA_TRANS レコードのレコード件数や振込み額などの合計情報が格納されます。

このプロセスでは、GP_PAYMENT の行の支給ステータスが「最終決定済」から振込済に変更されます。

4. FB プロセスにより、前述の 3 つのレコードのデータが送金元銀行に送信する FB ファイルにまとめられます。

ファイル名と文字セットには、「ファイル ハンドル JPN」ページで定義した値が使用されます。

5. FB プロセスにより、SQR プログラム (GPJPBA01) が起動されます。
6. この SQR プログラムにより、前述の 3 レコードのデータを使用して、標準の文字セットを使用した銀行振込みレポートが FB ファイルとして出力されます。

関連リンク

「銀行振込みについて」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

前提条件

FB プロセスを実行するためには、最初に「ファイル ハンドル JPN」ページでファイル ハンドルを設定する必要があります。ファイル ハンドルにより、ファイルの作成に使用されるファイル名と文字セット (半角カタカナ) が参照されます。

関連リンク

[ファイル ハンドルの設定](#)

「支給準備プロセスの実行 JPN」ページ

「支給準備プロセスの実行 JPN」ページ (GPJP_RC_BA02) を使用して、銀行振込みの詳細情報が格納された支給ファイルを作成するプロセスを実行します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「支給処理」、「支給準備プロセスの実行 JPN」、「支給準備プロセスの実行 JPN」

画像: 「支給準備プロセスの実行 JPN」ページ

次の例では、「支給準備プロセスの実行 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Pay Group	Calendar ID	Payment Date
GD4P01	GD41 GD2008-06	06/30/2008
GD4P02	GD42 GD2008-06	06/30/2008

Stream Number	Empl ID From	Empl ID To	Calculated
			<input type="checkbox"/>

カレンダー グループ

プロセスを実行するカレンダー グループを選択します。給与計算処理で承認された、または最終決定したアイテム (セグメント) がすべて処理されます。

ストリーム番号

「ストリーム処理」チェック ボックスが選択されているときに「処理オプション」グループ ボックスの「計算」チェック ボックスを選択すると、処理対象のストリーム番号を選択する必要があります。

す。各ストリーム番号は、事前定義した受給者のグループを表します。

ストリーム処理

カレンダー グループの定義でストリーム処理の実行オプションを選択した場合には、この「ストリーム処理」チェック ボックスは自動的に選択されます。

処理フェーズとオプション

計算

給与計算処理で承認および最終決定された結果と銀行振込みの設定時に定義した情報との比較に基づいて支給ファイルを作成する場合に、このチェック ボックスを選択します。

計算フェーズは、銀行振込み処理を最終決定するまで繰り返し実行できます。

最終決定

すべての計算が完了してから、このチェック ボックスを選択します。計算フェーズでストリーム処理を使用した場合は、このカレンダー グループに対するすべてのストリームが同時に最終決定されます。

注: ストリームを使用しない場合、「計算」と「最終決定」の両方のチェック ボックスを同時に選択できます。

統計の更新

このチェック ボックスを選択すると、銀行振込みシステムから統計が出力され、データ管理者はシステムの処理効率を微調整できます。

ストリーム

このグループ ボックスには、カレンダー グループに関連付けられているすべてのストリームが表示されます。

カレンダー リスト

計算フェーズを実行すると、このグループ ボックスには、カレンダー実行の各カレンダーに関する情報が表示されます。

関連リンク

「処理ストリームの作成」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

「給与振込 FB 作成 JPN」ページ

「給与振込 FB 作成 JPN」ページ (GPJP_RC_BA01) を使用して、給与振込 FB を作成します。

FB プロセスを実行すると、指定の銀行へ送信する FB フラット ファイルが作成され、銀行振込みデータ プルーリスト (GPJPBA01) を出力する SQR プログラムが起動されます。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」, 「支給処理」, 「給与振込 FB 作成 JPN」, 「給与振込 FB 作成 JPN」

画像: 「給与振込 FB 作成 JPN」ページ

次の例では、「給与振込 FB 作成 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

プロセスを実行するには、ページ上のすべてのフィールドに値を指定する必要があります。

カレンダー グループ ID

FB プロセスでは、「カレンダー グループ ID」、「実行タイプ名」、「送金元銀行 ID」で指定した値に該当するデータが GP_PAYMENT テーブルから抽出されます。

ファイル ハンドル

「ファイル ハンドル JPN」ページで設定したファイル ハンドルです。このプロセスで使用するファイル名と文字セットを特定します。

支給タイプ

有効な値は、「給与」と「賞与」です、このデータは、FB ファイルのヘッダーに出力されます。

振込日

この日付は、FB ファイルのヘッダーとして出力されます。

第19章

給与明細書の作成

前提条件

給与明細書を作成するには、次の手順をあらかじめ実行しておく必要があります。

1. 給与明細書フォーム上でのデータ エLEMENTの配置を定義します。
2. 給与明細書テンプレートを定義します。
3. 給与明細書テンプレートを支給グループと実行タイプに割り当てます。

関連リンク

[給与明細書の設定](#)

配布エLEMENTの表示

PeopleSoft では、日本用に設計されたすべての配布エLEMENTを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、*PeopleSoft グローバル ペイロール*で説明されています。

関連リンク

[「配布エLEMENTの表示方法について」](#)（「PeopleSoft グローバル ペイロール」）

給与明細書の作成

この項では、給与明細書の作成の概要と給与明細書の実行方法について説明します。

給与明細書の作成に使用されるページ

ページ名	定義名	用途
給与明細書の作成/印刷ページ	GPJP_RC_PP01	給与明細書レポート (GPJPPP01) を実行すると、給与明細書 (標準の明細書)、賞与明細書、過不足税額レポート (年末調整明細書) または退職金明細書が出力されます。また、給与明細書の印刷オプションおよびソート基準を定義します。

給与明細書の作成について

給与明細書を作成する前に給与明細書テンプレートを設定して、レポートに含まれるデータエレメントとそれらのエレメントのページ上での配置場所を指定する必要があります。一番上のヘッダー部分には、部門 ID、従業員 ID、従業員名、レポート タイトル、注記、会社名の情報が常に出力されます。

「給与明細書ラン コントロール」ページを使用すると、次の明細書がすべて作成できます。

- 給与明細書 (標準の明細書)。
- 賞与明細書。
- 過不足税額レポート (年末調整明細書)。
- 退職金。

「給与明細書の作成/印刷 JPN」ページからは、2 つの処理が順番に開始されます。

1. アプリケーション エンジン プロセス GPJP_PP01 により、情報が収集され中間テーブルが作成されます。
2. Structured Query Report (SQR) GPJPPP01 により、給与明細書が出力されます。

PeopleSoft では、一般的な給与明細書のフォーマットが用意されています。現在使用している特定のフォーマットやプリンタを引き続き使用する場合は、SQR を修正する必要がある場合があります。独自のフォーマットの給与明細書が必要な場合は、SQR レポートのみの修正で対応できます。

「給与明細書の作成/印刷 JPN」ページのパラメータを設定し、選択したカレンダー グループ ID を持つ従業員から、さらに対象を限定します。カレンダー グループの実行タイプに対して指定された支給グループごとに、適切な給与明細書テンプレートが自動的に選択されます。

印刷オプションを定義するパラメータを入力したり、ソート基準を指定したりすることもできます。

注: カレンダー グループで持つことができる実行タイプは、それぞれ 1 つのみです。これは、通常の給与、賞与、年末調整または退職金のそれぞれの給与計算ごとに、固有のカレンダー グループ ID を設定する必要があることを意味します。

関連リンク

[給与明細書の設定](#)

給与明細書の作成/印刷ページ

給与明細書の作成/印刷ページ (GPJP_RC_PP01) を使用して給与明細書レポート (GPJPPP01) を実行すると、給与明細書 (標準の明細書)、賞与明細書、過不足税額レポート (年末調整明細書) または退職金明細書が出力されます。

また、給与明細書の印刷オプションおよびソート基準を定義します。

ナビゲーション

「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「給与明細書」、「給与明細書の作成/印刷 JPN」、「給与明細書の作成/印刷 JPN」

画像: 「給与明細書の作成/印刷 JPN」ページ

次の例では、「給与明細書の作成/印刷 JPN」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

レポートリクエスト パラメータ

カレンダー グループ ID

最終決定された給与計算実行のカレンダーグループ ID のみが使用可能です。

明細書タイトル

給与明細書の上部にタイトルとして出力されます。

受給者の選択

支給元

このパラメータしか指定しない場合は、選択したカレンダーグループと支給元を持つ従業員すべての給与明細書が出力されます。対象となる受給者グループをさらに限定するには、パラメータを追加指定します。

ビジネス ユニット

部門または所在地を指定する場合は、必須フィールドとなります。

所在地コード	特定の所在地に対して給与明細書を出力する場合、指定したビジネスユニットに定義されている所在地を選択します。
部門	特定の部門に対して給与明細書を出力する場合、指定したビジネスユニットに定義されている部門を選択します。
役職	特定の役職の従業員に対して給与明細書を出力する場合、指定したビジネスユニットに定義されている役職を選択します。
受給者リスト	<p>このリンクをクリックして「受給者リスト」ページにアクセスします。このページでは、給与明細書を実行する任意の数の従業員を個別に選択できます。ただし、「給与明細書の作成」ページで指定したカレンダーグループの従業員しか選択できません。</p> <p>受給者を選択して「給与明細書の作成」ページに戻ると、チェックボックスが自動的に選択されます。</p>

印刷オプション

ビジネスユニット、所在地、役職を出力する (ビジネスユニット、所在地、役職を含める)	給与明細書にビジネスユニット、所在地および役職を出力する場合は、「ビジネスユニット、所在地、役職を出力する」チェックボックスを選択します。
ソート基準	出力する給与明細書のソート基準を指定します。オプションには、「ビジネスユニット」、「所在地コード」、「部門」および「役職 ID」があります。

オフサイクル支給の管理

オフサイクル処理について

この項では、次について説明します。

- オフサイクル処理。
- オフサイクルトランザクションのタイプ。
- 配布エレメント。

オフサイクル処理

オフサイクル処理とは、通常の給与計算スケジュール以外の給与計算結果に対する支給処理および訂正処理を指します。オフサイクルのトランザクションは、過去の支給の訂正、手動支給の入力または雇用終了に伴う支給など、スケジュールされた次の給与計算前に実行する必要がある支給の場合に使用されるのが一般的です。

オフサイクル トランザクションのタイプ

オフサイクルトランザクションには、次の 4 つのタイプがあります。

- 手動支給

手動支給では、給与計算システム外で計算および支給された支給を入力できます。例としては、支給詳細の入力が通常の給与計算までに間に合わなかったために手書きの小切手によって支給された新規採用者の給与などがあります。

- 訂正

訂正では、最終決定された給与計算結果を訂正できます。例としては、支給する必要のあった傷病欠勤中の給与の支給などがあります。

- 不定期支給

不定期支給では、通常の給与計算処理外の 1 回かぎりの支給を入力できます。例としては、1 回かぎりの賞与や費用の払戻しなどがあります。

- 前払い

前払給与では、スケジュールされた通常の給与計算実行より前に受給者に対して支給を行うことができます。例としては、雇用終了に伴う給与の支給などがあります。

配布エレメント

PeopleSoft では、日本用に設計されたすべての配布エレメントを参照するために実行するクエリーが提供されています。このクエリーの実行方法については、*PeopleSoft グローバル ペイロール*で説明されています。

関連リンク

「配布エレメントの表示方法について」(「PeopleSoft グローバル ペイロール」)

手動支給について

この項では、手動支給についての概要を説明します。

手動支給

日本の受給者に対して手動支給を入力する場合、すべての計算をシステムの外で行ってから入力する必要があります。手動支給を入力する場合は、次のガイドラインに従います。

- 「手動支給」ページの期間/カレンダータブにある「支給期間/カレンダー」フィールドおよび「支給日」フィールドの値を選択します。

支給期間および支給日の選択は、慎重に考慮して行う必要があります。支給期間を選択する場合は、直前に最終決定したカレンダーまたは現在オープンしているカレンダーを選択する必要があります。支給日の選択は、エレメントの累計方法に直接影響します。たとえば、期間終了日に基づいて累計を行う累計の場合、支給日時点では累計残高が即座に更新されない場合があります。

- 「手動支給」ページでプロセス コントロールを指定します。

「期間開始日」と「期間終了日」は、「支給期間/カレンダー」を選択した後、デフォルトで設定されます。提供されている日本ルールは期間全体を使用して計算するように作成されており、部分的な期間が入力された場合に自動的に分割されないことがありますので、これらの日付は変更しないでください。

実行タイプは、「支給期間/カレンダー」フィールドの値によって設定されます。このフィールドもデフォルト値を使用してください。受給者の手動支給を確実に処理するには、該当する実行タイプ定義の「重複可」チェック ボックスが選択されている必要があります。このチェック ボックスの選択が解除されている場合、指定した期間に対するこの受給者の処理がすでに行われていると判断された場合、この受給者に対する再処理が行われない可能性があります。

「標準変換停止」を選択すると、プロセス リスト上のエレメントのうち、手動支給に入力されたエレメント以外のすべてのエレメントの変換を停止できます。通常の変換を行う場合は、分析を行ってサポートエレメントに与える影響を把握する必要があります。

限定エレメントセットはオフサイクル処理で変換されないため、限定エレメントセットを使用する場合は、すべてのエレメントが前処理フォーミュラまたは後処理フォーミュラで個別に計算されることを確認したうえで使用する必要があります。

注: 手動支給は、金額値の保存にのみ使用します。この方法を使用しても、休暇欠勤累計は更新されません。

訂正

最終決定した計算結果をユーザー エラーなどによる理由で変更する必要がある場合は、オフサイクル リクエスト コンポーネント (GP_OFFCYCLE_SETUP) の「訂正」ページを使用します。このページでは、日本用に配布された法定ルールに組み込まれている期間ロジックが使用されます。

訂正を入力する場合は、すべての支給エレメントおよび控除エレメントに期間ロジックが適用されている必要があります。この方法は、支給額累計の訂正にのみ使用します。休暇欠勤累計は訂正されません。

不定期支給

通常の給与計算処理外の 1 回かぎりの支給を処理する場合は、オフサイクル リクエスト コンポーネント (GP_OFFCYCLE_SETUP) の不定期支給ページを使用します。例としては、賞与や費用の払戻しなどがあります。このページでは、日本用に配布された法定ルールに組み込まれている期間ロジックが計算時に使用されます。

不定期支給を入力する場合は、次のガイドラインに従います。

- すべての支給エレメントおよび控除エレメントで期間ロジックが適用されている必要があります。
- 支給期間を選択する場合は、直前に最終決定したカレンダーまたは現在オープンしているカレンダーを選択する必要があります。
- このページは、金額値の保存にのみ使用します。

休暇欠勤累計は更新されません。

前払給与

通常のオンサイクルの給与計算実行前に従業員に支給を行う場合は、オフサイクル リクエスト コンポーネント (GP_OFFCYCLE_SETUP) の前払給与ページを使用します。例としては、雇用終了する従業員に対し、次のオンサイクルの給与計算実行ではなく、即座に雇用終了に伴う支給を行う必要がある場合などがあります。前払給与を行うときは、次の点に注意します。

- 常に、オープンしている次のカレンダーを選択します。カレンダーの順序を飛ばすと、累計の更新が正しく行われない場合があります。
- 選択したカレンダーグループに対する休暇欠勤累計は自動的に計算されます。

プログラムに対するエレメントのマッピング

プログラム エレメントのマッピングについて

プログラム エレメント マッピング コンポーネントを使用すると、アプリケーション エンジン プログラムのフィールドに対するエレメント割当てを追加、削除または変更できます。たとえば、グローバル ペイロール (日本) プログラム GPJP_YEA_LOAD (ロード GPJP_YEA_TABLE) は、GPJP_IT_EARNS フィールドに割り当てられたフォーミュラ YE FM TAX PAY ALL で提供されます。異なるフォーミュラまたは他のエレメントを GPJP_IT_EARNS フィールドに割り当てる場合は、プログラム エレメント マッピング コンポーネントを使用して行うことができます。プログラム自体を変更する必要はありません。

注: プログラム エレメント マッピング コンポーネントは、グローバル ペイロール (日本) に固有のものではありません。どのグローバル ペイロール 国別拡張機能でも、このコンポーネントを使用してプログラム エレメントをマッピングできます。

プログラム エレメントのマッピングの変更

プログラム エレメントのマッピングの変更に使用するページ

ページ名	定義名	用途
「プログラム エレメント マッピング」ページ	GP_PRINT_PARAM	アプリケーション エンジン プログラムのフィールドに対するエレメントの割当てを追加、削除または変更します。

「プログラム エレメント マッピング」ページ

この項では、アプリケーション エンジン プログラムのフィールドにエレメントを割り当てる方法を説明します。

「プログラム エレメント マッピング」ページ (GP_PRINT_PARAM) を使用して、アプリケーション エンジン プログラムのフィールドに対するエレメントの割当てを追加、削除または変更します。

ナビゲーション

「HCM 基本設定」、「製品/業務別定義」、「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「レポート」、「プログラム エlement マッピング」

画像: 「プログラム エlement マッピング」ページ

次の例では、「プログラム エlement マッピング」ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Entry Type	Element Name	Description	Field Name	Data Type Code
Deduction	IH MUNIC RET	Municipality Tax for Ret Alw	GPJP_IH_MUNIC	Yes
Deduction	IH PREFT RET	Prefecture Tax for Ret Alw	GPJP_IH_PREFT	Yes
Deduction	IN TAX RET	Income Tax for Retirement Alw	GPJP_IT_RET	Yes
Formula	ER FM DED AMT RET	Calc Deduction Amt of Ret Alw	GPJP_RA_DEDUCTION	Yes
Formula	ER FM TAX AMT RET	Ret Alw Taxable Amount	GPJP_RA_TAXABLE	Yes
Accumulator	ER AC RET ALW EAR	Ret Alw Earnings Accum	GPJP_RET_ALW	Yes

入力タイプ

割り当てるタイプ エlementを選択します。

Element名

割り当てるElementの名前を入力します。

フィールド名

Elementを割り当てるフィールドの名前を入力します。

データ種別 CD

各行が表しているデータの種別を指定します。値は次のとおりです。

あり: システム データを示します。

なし: ユーザー定義データを示します。

サンプル: サンプル データを示します。

第22章

グローバル ペイロール (日本) のレポート群

グローバル ペイロール (日本) のレポートについて

次の表は、レポート ID 別にソートされたグローバル ペイロール (日本) のレポートの一覧です。

これらのレポートの実行方法の詳細は、次を参照してください。

- この製品ドキュメントの対応するトピック。
- 『PeopleTools: PeopleSoft Process Scheduler』
- 『PeopleTools: BI Publisher for PeopleSoft』
- 『PeopleTools: SQL Language Reference for PeopleSoft』

これらのレポートのサンプルについては、このオンラインドキュメントで公開されている[レポート サンプル](#)をご確認ください。

グローバル ペイロール (インド) のレポート群

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
GPJPBA01 FB 銀行振込	FB プロセスの一部として生成されます。FB プロセスにより銀行に送信される情報が出力されます。	「グローバル ペイロール/休暇 欠勤管理」、「支給処理」、「給与振込 FB 作成 JPN」、「給与振込 FB 作成 JPN」	GPJP_RC_BA01
GPJPIH01 住民税納付先取得エラー レポート JPN レポート	法的住所または自宅住所の郵便番号および自治体コードが無効な従業員に対するエラー メッセージの一覧が出力されます。	「グローバル ペイロール/休暇 欠勤管理」、「税」、「住民税納付先取得エラー レポート JPN」、「住民税納付先取得エラー レポート JPN」	GPJP_RC_IH_AUD
GPJPIH02 住民税納付先別一覧表 JPN	各地方自治体に納付された住民税の件数とその総額が支給期間ごとに出力されます。	「グローバル ペイロール/休暇 欠勤管理」、「税」、「住民税納付先別一覧表 JPN」、「住民税納付先別一覧表 JPN」	GPJP_RC_IH_MNTH

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
GPJPIT01 所得税源泉徴収簿	従業員 ID、給与データ、賞与データ、有給休暇データ、前職データ、総支給額データ、退職金データ、年末調整データなどの給与計算データが出力されます。	「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「税」、「所得税源泉徴収簿 JPN」、「所得税源泉徴収簿 JPN」	GPJP_RC_IT_WHRG
GPJPLA01 雇用保険免除者一覧表	年齢のために労働保険料の支払いを免除される従業員の一覧が出力されます。	「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「社会保険」、「雇用保険免除者一覧表 JPN」、「雇用保険免除者一覧表 JPN」	GPJP_RC_LA01
GPJPLA02 概算・確定保険料申告書基礎資料	毎年 5 月に提出義務のある概算・増加概算・確定保険料申告書の作成に必要とされる労災保険および雇用保険の賃金情報が出力されます。	「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「社会保険」、「概算・確定保険料申告書基礎資料」、「概算・確定保険料申告書基礎資料」	GPJP_RC_LA01
GPJPLA03 新規加入従業員ファイル	新規従業員の一覧が作成されます。	「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「社会保険」、「雇用保険資格取得届ファイル作成 JPN」、「雇用保険資格取得届ファイル作成 JPN」	GPJP_RC_LA_PYE_RPT
GPJPPP01 給与明細書作成	通常の明細書 (給与明細書)、賞与明細書、退職金明細書または過不足税額レポート (年末調整明細書) が出力されます。	「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「給与明細書」、「給与明細書の作成/印刷 JPN」、「給与明細書の作成/印刷 JPN」	GPJP_RC_PP01
GPJPSC01 社会保険月額変更届	随時改定に該当する従業員の社会保険および報酬月額情報の一覧が出力されます。	「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「社会保険」、「月額変更届 JPN」、「月額変更届 JPN」	GPJP_RC_SC01
GPJPSC02 社会保険月額算定基礎届	定時決定に該当する従業員の社会保険および報酬月額情報の一覧が出力されます。	「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「社会保険」、「算定基礎届 (年間) JPN」、「算定基礎届 (年間) JPN」	GPJP_RC_SC03
GPJPSC03 社会保険月額算定総括表	随時改定および定時決定に該当する従業員情報の総括表が出力されます。	「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「社会保険」、「算定基礎届総括表基礎資料 JPN」、「算定基礎届総括表基礎資料 JPN」	GPJP_RC_SC03

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
GPJPSC04 厚生年金保険資格喪失者一 覧表	年齢が 70 歳になったために 厚生年金の資格を失った従 業員の一覧が出力されます。	「グローバル ペイロール/休暇 欠勤管理」, 「社会保険」, 「厚 生年金 70 歳到達者レポート JPN」, 「厚生年金 70 歳到達 者レポート JPN」	GPJP_RC_SC04
GPJPSC06 賞与支払届	賞与支給の詳細が出力され ます。	「グローバル ペイロール/休 暇欠勤管理」, 「社会保険」, 「社会保険賞与支払届 JPN」, 「社会保険賞与支払届 JPN」	GPJP_RC_SC_BNS
GPJPSC07 社会保険チェックレポート	社会保険料照会レポートが作 成されます。	「グローバル ペイロール/休暇 欠勤管理」, 「社会保険」, 「社 会保険料照会レポート JPN」, 「社会保険料照会レポート JPN」	GPJP_RC_SC_CHK
GPJPSC08 SI サマリレポート	従業員すべての社会保険料 情報のサマリが出力されま す。	「グローバル ペイロール/休 暇欠勤管理」, 「社会保険」, 「社会保険料サマリレポート JPN」, 「社会保険料サマリレ ポート JPN」	GPJP_RC_SC_GRD
GPJPUC01 離職証明書	離職証明書が出力されます。	「グローバル ペイロール/休 暇欠勤管理」, 「雇用終了処 理」, 「離職証明書 JPN」, 「離 職証明書 JPN」	GPJP_RC_UC_RPT
GPJPWC01 60 歳時賃金証明書	60 歳到達時等賃金証明書が 出力されます。	「グローバル ペイロール/休 暇欠勤管理」, 「社会保険」, 「60 歳到達時等賃金証明書 JPN」	GPJP_RC_UC_RPT
GPJPYE01 源泉徴収票/給与支払報告書	所得、控除、保険料のレポート です。年末調整処理の完了 後に、すべての従業員にこの レポートを配布します。年度途 中に退職した従業員につい ては、退職後に配布します。ま た、特定の条件に該当する従 業員のレポートについては、税 務署に対しても送付します。	<ul style="list-style-type: none"> 「グローバル ペイロー ル/休暇欠勤管理」, 「年 末調整」, 「源泉徴収 票 JPN」, 「源泉徴収票 JPN」 「グローバル ペイロー ル/休暇欠勤管理」, 「雇 用終了処理」, 「源泉徴 収票 JPN」, 「源泉徴収 票 JPN」 	GPJP_RC_YEAWHRPT
GPJPYE01 源泉徴収票/給与支払報告書	源泉徴収票と同じ SQR プロ セスですが、データの選択、 ソート、レポートに異なるパラ メータが使用されます。	「グローバル ペイロール/休暇 欠勤管理」, 「年末調整」, 「給 与支払報告書 JPN」, 「給与 支払報告書 JPN」	GPJP_RC_YEAWGRPT

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
GPJPYE02 法定調書合計表基礎資料	税務署に提出する法定調書合計表に必要な情報が出力されます。	「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「年末調整」、「法定調書合計表基礎資料 JPN」、「法定調書合計表基礎資料 JPN」	GPJP_RC_YEA
GPJPYE03 給与支払報告書 (総括表) 記入のための基礎資料	自治体に提出する給与支払い報告書 (総括表) に必要な情報が出力されます。	「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「年末調整」、「給与支払報告書 (総括表) JPN」、「給与支払報告書 (総括表) JPN」	GPJP_RC_YEA
GPJPYE04 扶養控除等申告書	手動でデータを収集する場合は、レポートを印刷して従業員に配布し、確認と更新を行います。セルフサービスによるデータ収集の場合は、従業員が ePay-給与でデータを更新してから、記録保持のためにレポートを印刷します。	「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「年末調整」、「扶養控除等申告書 JPN」、「扶養控除等申告書 JPN」	GPJP_RC_YEA04
GPJPYE05 年末調整 - 保険/配偶者	手動でデータを収集する場合は、レポートを印刷して従業員に配布し、確認と更新を行います。セルフサービスによるデータ収集の場合は、従業員が ePay-給与でデータを更新してから、記録保持のためにレポートを印刷します。	「グローバル ペイロール/休暇欠勤管理」、「年末調整」、「保険料控除/配偶者特別控除申告書」、「保険料控除/配偶者特別控除申告書」	GPJP_RC_YEA05

グローバル ペイロール (日本) の汎用レポートの実行

グローバル ペイロールでは、基本的な給与計算結果の汎用レポートを定義するためのフレームワークが用意されています。

日本用の汎用レポート テンプレート

PeopleSoft には、日本の給与計算レポート用に特化された、次のテンプレートが用意されています。

- JGR01 - 支給/控除リスト (給与)。
- JGR02 - 累計リスト (給与)。
- JGR03 - 支給/控除リスト (賞与)。
- JGR04 - 累計リスト (賞与)。

- JGR05 - 賃金元帳。
- JGR06 - 休暇欠勤/超過勤務リスト。
- JGR07 - 源泉徴収税額 (退職者)。
- JGR08 - 退職金。

「汎用レポートについて」 (「PeopleSoft グローバル ペイロール」) を参照してください。

